

報告事項 1 令和2年度重点方策及び重点事業報告

少子超高齢社会の人口及び疾病構造の変化に伴い、様々な社会保障制度改革が進められている。兵庫県においても、2025年を見据えて、地域医療構想の実現と地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが進んでおり、令和2年度、兵庫県看護協会では、「地域包括ケアにおける看護提供体制構築・推進」を重点事業の一つに掲げ、在宅医療を支える人材育成、関係機関・団体との連携体制の構築、看一
看連携や多職種とのネットワーク事業等を進めるなど、これまで取り組んできた重点事業を引き続き展開することとしていた。

しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、多くの事業について中止または延期、規模を縮小するなど計画通りの実施は困難であった。このため「新型コロナウイルスの感染拡大を予防するひょうごスタイル」を参考に本会の「新たな事業様式」を定め、安全に配慮しつつWebを活用し、感染拡大の状況に合わせて可能な限り効果的に事業を実施した。

また、凶らずも、新型コロナウイルス感染症の拡大・まん延に対応し、県民の命と健康を守る、そしてその最前線で働く看護職の命と健康を守ることの大切さに直面し、会員や会員施設に対する支援や県の感染症対策への協力など新たな課題に対応した取り組みを進めることになった。

このような、厳しい状況下であったが、令和2年度には、これまで取り組んできた4つの重点事業に加え、2040年を展望し、看護職が地域社会で質の高い看護を提供し続けられるよう、看護協会活動がどうあるべきか、方向性を明確にするために、新たに「5 組織力の強化」を掲げ、「兵庫県看護協会活動の今後のあり方」について検討を行った。

【令和2年度重点方策】

- 1 時代のニーズに対応できる看護職の人材育成
- 2 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進
- 3 看護職が健康で安全に働き続けられる環境づくりの推進
- 4 災害等健康危機管理体制の整備
- 5 組織力の強化

【令和2年度重点方策・事業】

1 時代のニーズに対応できる看護職の人材育成

看護の質向上に向け、看護のキャリアに応じた継続教育を基本とする研修を実施し、これからの社会に求められる看護の機能・能力開発、役割拡大を支援するため、JNA ラダーの示す看護実践能力の向上につながる人材育成を行なった。

また、特定行為研修修了者の役割について普及啓発を行うとともに、本会の認知症認定看護師教育課程に特定行為研修を組み入れた新たな認定教育課程B課程開設に向けて準備を進めた。

1) あらゆる場で働く看護職の看護実践力の向上

(1) 認定看護管理者教育課程

新型コロナウイルス感染症拡大状況への対応として、ファーストレベルⅠ期は中止し、新規でⅣ期を追加した。Ⅱ期(週末コース)は日程を変更して全日程集合研修で開催した。中小規模病院、介護福祉施設、訪問看護ステーションからの応募が年々増加している。また週末コースであるため外来の看護師や認定看護師も増えている。

Ⅲ、Ⅳ期は全授業をリモートで実施した。

セカンドレベルは、直前に感染拡大期2と判断されたため、31日中11日間をリモートで講義を実施した。途中警戒期となり集合研修に変更した。拡大期2に入ったことで受講ができなくなった受講生には次年度への変更を可とした。

サードレベルは、新カリキュラム基準初の研修であった。

(2) 一般研修の実施状況

年間計画として105研修を企画していたが、35研修を中止した。福祉施設等を対象とした感染対策研修、コロナ禍における新人看護師育成に関する研修、研修室収容定員縮小に対応するため複数開催とした研修、中止となった研修の代替研修として、計16研修を追加し、85研修を実施した。

令和3年1月以降はオンラインでの受講を導入した。これにより新たに募集した研修については定員を大幅に超える応募があり、当日の欠席も減少した。1年間を通して研修のねらいの達成度、内容の理解、今後への活用は100%に近い結果であった。

インターネット配信研修は、本会での研修の中止、受信会場1カ所の受け入れ不可により、延べ36研修のみの開催となった。令和3年度からオンライン研修システムを導入することにより、配信研修は令和3年度末で一旦休止とする。

(3) 専任教員養成講習会は開始時期を延期し、令和2年4月27日に開講してe-ラーニングを実施した。6月1日より本会での受講を開始し、12月25日に終了し、22名が修了した。

2) 特定行為研修開設準備(新規)

(1) 令和2年5月に厚生労働省へ特定行為指定研修機関の申請をし、8月末に指定を受けた。

(2) 令和2年8月には日本看護協会へ認定看護師教育機関B課程の申請を行い、11月に認定を受けた。

(3) 入講審査(小論文・面接)を令和2年12月26日、27日に実施し、令和3年1月6日に合格発表を行った。

出願者64名、受験者61名、合格者20名と、出願倍率は3倍であり、認知症看護認定看護師養成への期待の高さがうかがえた。

2 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進

全世代を対象とした地域包括ケアシステムの充実に向け、切れ目ない看護ケア提供体制を構築・推進することを目的に、地域ケア・地域看護推進委員会を設置するとともに、兵庫県在宅看護連携強化事業により、訪問看護推進会議や研修会を開催した。

また、地域のあらゆる場で働く看護職がつながることで、顔の見える関係を築き、地域を支える看護の推進を図ることを目的として、異なる機関・職種の看護職が相互の理解を深め、地域の課題解決に向けた取り組みを行った。

1) 地域包括ケアシステムにおける多職種連携の推進

多職種連携においては、コロナ感染症対策に向けシンポジウム（退院調整看護師・介護支援専門員・訪問看護師・施設看護師・行政）を開催した。

2) 地域の特性に応じた看護ネットワーク機能強化

地域ケア・地域看護推進委員会において、支部ごとの看護連携の実態を確認し整理した。

また、地域別看護職員ネットワークづくり事業を支部活動で実施し、看-看連携、多職種連携を図りながら安心して暮らせる地域づくりのためのネットワーク強化に取り組んだ。

3 看護職が健康で安全に働き続けられる環境づくりの推進

ヘルシーワークプレイスを周知、活用し、健康で安全な職場づくりを支援した。

また、多様な職場への就業促進と離職防止については、ナースセンターにおいて事業を展開した。

1) 離職防止、就業促進・定着促進のためのナースセンター事業強化

看護職が健康で安全に働き続けられる環境づくりでは、看護職の就業促進につながる事業について、感染防止対策を考慮した上で、一部、計画を修正し予定通り実施した。就業に至った看護職数は前年比で7%増加した。

2) プラチナナースの活動支援（新規）

新型コロナウイルス感染症拡大により限定的であったが、プラチナナースの雇用促進を目的とした施設訪問や研修、チラシ配布を実施した結果、プラチナナースの新規登録が20名となった。

3) 勤務環境改善の支援

勤務環境改善支援では、委員会活動とナースセンターによる相談を実施した。まず、委員会では、新型コロナウイルス感染症拡大が現場に与えた影響を鑑み、計画していたワークライフバランスインデックス調査を中止とし、2施設におけるワークライフバランス推進事業の実践報告会を実施した。併せて実施する研修会では、現場の看護職の心身の負担をふまえ、レジリエンスに関する研修会を開催した。

次に、ナースセンターにおいて看護職からの勤務環境に関する相談に対応した。内容としては、コロナ禍の影響を受けたものがほとんどであったが、相談者はほぼスタッフであり、看護管理者からの相談はなかった。スタッフの相談内容から、勤務環境改善が重要であり、そのためには看護管理者への支援が必要だと考える。しかし、地域差を考慮すると、地域内の看護管理者間で相互支援ができるための支援が求められ、その体制整備が課題である。

4 災害等健康危機管理体制の整備

全国各地で自然災害が頻発しており、いつどこで災害が発生しても、対応できるよう体制を整える必要がある。そのため、研修、マニュアル作成等、災害対応力向上の支援を行った。

また、各施設でのBCP、受援マニュアル等を活用して、災害時支援調整機能を発揮する看護管理者を対象とした研修、災害看護の理解を深める研修を行うなど、災害や健康危機発生時の体制整備を図

った。

さらに、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化により、医療機関、保健所、施設等にも大きな影響があった。これまで経験したことのない未知のウイルスとの闘いについて、看護職はそれぞれの立場で向き合い、一丸となって尽力した。本会においても、感染症対策の充実強化の取り組みを緊急に優先して実施した。

1) 災害等発生時の支援体制の整備

「大規模災害発生時の受援マニュアル作成ガイド」を作成したほか、看護管理者を対象に「災害看護における看護管理の役割」についての研修を実施した。

また、「災害支援ナース」養成登録の見直しを行い、災害看護への意識の向上、モチベーションの維持につながるよう支援（災害支援ナースの登録数 250名⇒350名）を行った。

2) 災害支援に関わる関係機関等との連携強化と対応訓練の充実

「合同防災訓練」の他、地域の防災訓練等には、近隣の災害支援ナースを派遣し、災害支援に関わる関係機関等との連携強化につながるよう工夫し、顔の見える関係づくりにつながった。JMATチームの一員として活動ができる災害支援ナースを養成するため、トリアージ訓練への参加や、EMISやJ-SPEEDの理解等、訓練を通じて理解を深めた。

3) 新型コロナウイルス感染症への対応（追加）

県内の感染状況の情報収集、看護職が不足する病院やコールセンター、宿泊施設、保健所への看護師確保、不足するPPEの調達・配布、看護管理者や感染管理認定看護師の意見交換会や病院・福祉施設を対象にした種々の研修会、シンポジウム等を随時、緊急で実施した。

5 組織力の強化（新規）

将来を睨み、社会情勢の変化等に対応するための兵庫県看護協会活動の2040年を見据えて、今後のあり方について、幅広い検討を進めるとともに、会員の確保、拡大に向けた取り組みの強化を図った。

また、各種委員会活動と支部活動の連携を図り、地域の特徴に応じた支部活動を基盤として本会の組織力の強化に努めた。

1) 兵庫県看護協会活動の今後のあり方検討

2040年の兵庫県を展望し、“看護”に関わる社会の変化を踏まえ、2040年に向けての本会の取り組みの課題を明確化するため、「兵庫県看護協会活動のあり方検討会」を設置して有識者を交えて検討を行い、方向性をまとめた。

2) 入会促進への取り組み

毎年、4～5月に県内新規採用者を対象に研修会を開催し、本会への入会促進の機会としていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症まん延の影響により実施できなかった。

大学での講義や進学説明会、就職説明会の機会に本会についての説明を行うなど学生の頃から働きかけた。また、ナース川柳“ひょうご”を学生枠でも募集するなど、早いうちから看護への関心を持てるように工夫した。

このほか、広報誌、ホームページ、チラシ等についても、若い層にも興味を持てるような内容を心掛けた。

令和2年度事業報告

事業計画は、定款第4条に規定する次の9つの事業に沿って掲載した。

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
2. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業
3. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
4. 地域ケアサービスの実施及び促進に関する事業
5. 災害・健康危機支援に関する事業
6. 看護の国際交流に関する事業
7. 看護の普及啓発に関する事業
8. 施設の貸与に関する事業
9. その他本会の目的を達成するために必要な事業

事業内容の太文字は重点事業、新下線は新規事業

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業〈重点1〉 定款第4条第1項 (69,700千円)

看護基礎教育や継続教育、資格認定教育等を通して看護の質向上や人材育成を推進するとともに、看護研究や学会等学術の振興を図る。

事業内容	実施状況
1) 資格認定教育に関する事業〈重点1〉	
(1) 認定看護管理者教育課程	5研修 延べ日数116日 延べ修了者数 217名 ファーストレベルⅠ期 一定員60名〔中止〕 令和2年5月25日～6月17日 18日間 105時間 ファーストレベルⅡ期 (週末コース) 令和2年6月25日～8月7日 105時間 18日間〔延期〕 令和2年9月24日～10月30日 18日間 105時間 応募者数 41名 修了者数 38名 ファーストレベルⅢ期 令和2年12月1日～12月24日 18日間 105時間 応募者数 84名 修了者数 60名 <u>新</u> ファーストレベルⅣ期 令和3年1月13日～2月5日 18日間 105時間 応募者数 63名 修了者数 59名 セカンドレベル 令和2年8月19日～10月2日 31日間 180時間 応募者数 54名 修了者数 35名 サードレベル 令和2年10月14日～11月27日 31日間 180時間 応募者数 28名 修了者数 25名 ファーストレベルⅠ期フォローアップ研修〔中止〕 ファーストレベルⅡ期フォローアップ研修〔4月予定〕

(2) 認定看護師教育課程 (認知症課程は休講)

看護管理実践報告会令和2年12月参加者75名(発表者含)
2研修 延べ日数2日 延べ定員数 120名
認定看護師フォローアップ研修 [中止]
・災害、減災における認定看護師の役割を考える
認知症看護認定看護師フォローアップ研修 [中止]
新 Hyogo リソースナース net 事業
・登録者リストの作成、登録者数増加への活動・チラシ配布・施設代表者会・理事会・委員会等で説明
令和3年3月31日現在 登録者数138名
認定看護師98名 専門看護師25名 認定看護管理者14名 感染制御実践看護師1名
・リソースナース派遣
高齢者施設感染対策研修支援 派遣28名
介護施設クラスター発生施設初動支援 派遣17名
精神科病院感染対策支援 派遣16名
・リソースナース登録者依頼 9名
・講師起用 専門看護師5名 認定看護師13名
認定看護管理者 32名
・説明会 [中止]
・B課程概要・入講審査応募要綱配布
・本会開講の研修等で啓発活動

新 (3) 認知症看護認定教育課程 (B課程)
開講準備

2) 継続教育に関する事業 <重点1>

(1) 社会ニーズに対応する能力支援のための研修

27研修 延べ日数34日 延べ受講者数727名
インターネット配信研修8研修

新 病棟ナースが知っておきたい在宅療養の実際

新 高齢者施設における看護 4研修

インターネット配信研修 (5か所)

新 災害が発生したらどう対応しますか?

新 実践に生かす看護理論 [中止]

新 今日から使えるアンガーマネジメント

—イライラ、怒りの感情と上手につき合う方法—

新 臨床における看護研究と支援のポイント

—研究の過程を楽しめることを目指そう—

新 准看護師のための看護過程と急変対応

・介護職員等によるたんの吸引等 2研修 (県受託)

・新生児蘇生法 (NCPR) Sコース

・院内助産・助産師外来研修

・保健師資質向上研修

(2) 診療報酬に関連した研修

6研修 延べ日数20日 延べ受講者数331名

・看護職員認知症対応力向上研修 2研修 (県受託)
「認知症ケア加算2」に対応 (神戸・姫路)

・医療安全管理者養成研修

・糖尿病重症化予防 (フットケア) 研修

(3) 研修会・講演会

2研修 延べ日数2日 延べ受講者数192名

・施設代表者等研修会 (8・3月) [中止]

・シンポジウム

<p>(4) ラダーと連動した継続教育</p> <p>①看護師のクリニカルラダー (JNA ラダー)</p> <p>②助産実践能力習熟段階 (CLoC MiP)</p> <p>(5) 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育</p> <p>①看護管理者を対象とした研修</p> <p>②これから看護管理を担う人々を対象とした研修</p> <p>(6) 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育</p> <p>①JNA ラダー活用のための研修</p> <p>②施設内の教育体制の充実に向けた研修等</p> <p>③教員・実習指導者を対象とした研修</p>	<p>「新型コロナウイルス感染症対応の実際」 10月開催 97名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定行為に係る研修修了者の実践報告〔中止〕 ・CNS/CN/看護管理者実践報告会〔中止〕 ・看護実践研究会 令和2年11月21日参加者数83名 口演発表のみ 実践報告12題 研究報告7題 メインテーマ・「輝かせよう実践の知」 教育講演：講師 山本則子 氏 (東京大学大学院医学系研究科教授) <p>15研修 延べ日数51日 延べ受講者数567名 インターネット配信研修3研修</p> <p><u>新在宅療養支援における外来看護管理者の役割</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人看護職員集合研修 4研修 ・新人助産師集合研修 ・医療安全における看護記録 ・ケアの質を高める看護倫理 ー患者・家族の意思決定を支えるー <p>6研修 延べ日数6日 延べ定員数240名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産記録・周産期に関する倫理・臨床推論等〔中止〕 <p>21研修 延べ日数23日 延べ受講者数502名 インターネット配信研修1研修</p> <p><u>新看護管理者の業務管理の秘訣</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ー忙しさからの解放、段取りアップー <p><u>新面接対話力の向上とモチベーション・マネジメント</u></p> <p><u>新災害看護における看護管理者の役割</u></p> <p><u>新論文の書き方</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ー論理的思考・記述力アップー (5・10月) ・主任、副看護師長のための人材育成 2研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ファーストレベル公開講座 4研修〔中止〕 ・セカンドレベル公開講座 3研修 ・サードレベル公開講座 6研修 <p>1研修 延べ日数1日 延べ定員数100名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JNA ラダー活用推進に向けた研修〔中止〕 <p>4研修 延べ日数14日 延べ受講者120名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新人看護職員卒後臨床研修事業 教育責任者研修・教育担当者研修・実施指導者研修 <p><u>新ウィズコロナ社会に対応する新人看護師教育の再建</u> 研修会 2回開催 延べ受講者数119名</p> <p><u>新職場適応につながる！社会人基礎力を育てる具体的な方法</u> 受講者数105名</p> <p><u>新小冊子「ウィズコロナ社会に対応する新人看護師教育のヒント」</u> 発行 会員施設等へ1000部送付</p> <p>1研修 延べ日数1日 延べ受講者数92名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後輩指導・学生指導をとおして自分も育つ〔中止〕 ・兵庫県看護学校協議会共催研修1研修 受講者数92名 ・専任教員養成講習会(8か月) 修了者数22名
--	---

<p>3) 看護研究等学術振興に関する事業</p> <p>(1) 令和2年度看護実践研究会の実施・評価 (再掲)</p> <p>(2) 日本看護協会主催の学会参加促進</p> <p>4) 図書室運営に関する事業</p> <p>(1) 図書・雑誌・文献の充実</p> <p>(2) 図書室の効果的・効率的運営</p> <p>(3) 文献学習等の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規購入図書 227 冊、雑誌の検討 ・新刊案内 ・Library News (7回) の発行 ・図書室の利用者増加に向けた取り組み ・会員アンケート調査 ・利用状況調査
---	---

2. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事項

＜重点2＞ **定款第4条第2項**

(483千円)

現場で働く保健師、助産師、看護師及び准看護師が、自らその課題を把握し改善するため、それぞれの専門にかかわる業務の実態調査・研究等を行い、各職能における業務改善や看護制度改善に向けた提言をすることにより、看護の質向上を図る。

事業内容	実施状況
<p>1) 保健師業務に関する事業</p> <p>(1) 保健師の資質向上、専門性の追求</p> <p>(2) 看護職、多職種とのネットワークの強化</p>	<p>定例会 年6回</p> <p>交流会 若手保健師交流研修会 11月 [中止]</p> <p>産業保健分野交流会 [中止]</p> <p>調査等 日本看護協会が実施する実態調査</p>
<p>2) 助産師業務に関する事業</p> <p>(1) 助産実践能力の強化</p> <p>(2) 子育て世代包括ケアシステムの推進</p>	<p>定例会 年4回</p> <p>講演会 近畿地区助産師職能合同研修会 12月</p> <p>助産師関連研修 9回 [中止]</p> <p>新人助産師研修 4回 [中止]</p> <p>交流会 助産師職能交流会 1月 [中止]</p> <p>調査等 産後ケア実態調査</p>
<p>3) 看護師業務に関する事業</p> <p>【看護師業務Ⅰ】</p> <p>(1) 看護管理者のネットワーク構築</p> <p>(2) 地域包括ケアの現状整理・可視化</p>	<p>定例会 年4回</p> <p>交流会 看護師職能ⅠⅡ・支部合同交流会 10月 [中止]</p> <p>調査等 日本看護協会が実施する実態調査</p>
<p>【看護師業務Ⅱ】</p> <p>地域包括ケアシステムの構築にむけた連携・協働の推進</p>	<p>定例会 年7回</p> <p>看護協会との共催シンポジウム(Web併用) 11月7日 「withコロナ在宅療養支援における感染対策」</p>

研修会 看護師職能Ⅱ委員会研修 (Web併用)
 令和2年12月12日
 「コロナ禍における高齢者施設等の感染対策」
 ～認知症や精神症状のある方への対応～

※三職能合同

- ①保健師助産師看護師職能集会
新三職能合同集会
- ②保健師助産師看護師・支部合同交流会
- ③支部における活動等

令和2年6月18日〔中止〕
 「働き方改革～もっと働きやすい職場をつくる～」
 さかうえ社会保険労務士事務所 坂上和芳 氏
 令和2年9月26日 定員100名〔中止〕
 テーマ「看護職間の連携・協働のこれから～地域での暮らしを支えるために～」
 ＊各支部の計画参照

4) 看護制度に関する事業

- (1) 兵庫県看護学校協議会への出席と情報交換
- (2) 看護業務、看護制度に関する意見収集、調査の実施
 - ①令和元年度看護職員需要・離職調査の実施と分析
 - ②各支部から意見・提言の集約
 - ③各委員会活動から意見・提言の集約
 - ④看護師職能ⅠⅡ・支部合同交流会、保健師助産師看護師支部交流会、准看護師交流会からの課題収集、政策提言
- (3) 看護業務、看護制度に関する国・兵庫県・神戸市・日本看護協会等への政策提言
- (4) 准看護師養成・准看護師制度に関する取組

- ・令和2年5月25日 1,602施設に発送
 病院316、施設730の結果分析中
- ・令和2年12月合同委員会 開催
- ・令和2年12月理事会報告
- ・令和2年8月 国・兵庫県・神戸市要望書提出
- ・令和2年10月 兵庫県知事要望書説明・予算要望
 神戸市議会議員 要望書説明・予算要望
- ・准看護師研修会・交流会 年1回
 進学相談実施時に准看護師制度の説明および進学に関する情報提供と相談の実施、情報収集

5) 医療安全の推進に関する事業

- (1) 医療事故調査制度における支援団体としての事業
 - ①相談への対応
 - ②院内調査に必要な専門家の派遣と調査員の人材育成
 - ③兵庫県医療事故調査支援委員会との連携
- (2) 医療安全研修の実施 (支部研修は除く)
- (3) 神戸市医療安全推進協議会への出席

- ・医療事故調査支援委員会への出席
- ・医療安全管理者養成研修 (再掲)
- ・医療対話推進者養成研修 (再掲)
- ・医療安全における看護記録 (再掲)

3. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
<重点3> 定款第4条第3項 (53,176千円)

患者や利用者が安心して療養生活を送ることができるよう、全ての看護職が安心して働き続けられる労働環境を整備し、確保・定着促進を図ることで看護師不足を解消し、地域の医療資源の充実を図ることにより、人々の健康及び福祉の増進を図る。

事業内容	実施状況
<p>1) 働きやすい労働環境づくりに関する事業 <重点3></p> <p>(1) ヘルシーワークプレイスの推進</p> <p>①看護職の健康と安全に配慮した、労働安全衛生ガイドラインの周知</p> <p>②ヘルシーワークプレイス推進のための企画・運営</p> <p>③関連機関との連携の強化</p> <p>(2) 働き方改革に伴う、労働環境改善の取り組み施設の紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務環境改善に関する情報提供・周知・浸透現状把握のための計画作成 ・勤務環境改善取り組み施設への支援 後期実施予定〔次年度に延期〕 ヘルシーワーク推進 Web 研修会 ・令和3年3月6日54名 インデックス調査施設のワークライフバランス取り組みの成果報告 講演「レジリエンスを高めて元気になろう！」 講師：喜田菜穂子 氏 ・医療労務管理アドバイザー等と連携しパワーハラスメント等を含む防止策を周知する。〔中止〕 ・ヘルシーワークプレイス推進の現状調査 調査計画立案 ・兵庫県医療勤務環境改善支援センターと連携 ・勤務環境改善取り組み施設への支援〔中止〕 ・行政、ひょうご仕事と生活センターとの連携 1施設にコンサルテーションを依頼し実施
<p>2) 看護職の確保定着の促進に関する事業 <重点3></p> <p>(1) 看護職の確保の促進に関する事業</p> <p>①求職者および求人側への無料就業斡旋（マッチング業務）</p> <p>②地域における看護師確保の推進</p> <p>③相談機能の充実に関する事業</p> <p>④ナースセンター（支所及びサテライト含む）広報の継続</p> <p>⑤ホームページを用いた広報の継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・NCCS システムによる求人・求職情報の登録・管理・支援 ・新プラチナナースの活用支援 普及啓発 セミナー開催 各会議等での広報 クリアファイル作成 リーフレット配布（会員施設） 施設訪問 21 件 ・ナースセンターの運営強化 ・新プラチナナースの確保及び活用 ・施設訪問（介護施設・訪問看護ステーション・未登録施設）

⑥ハローワークとの連携強化

⑦二次保健医療圏域における行政と連携した確保
定着対策の強化

(2) 看護職員離職防止対策研修の実施
看護職員離職防止のための看護管理者研修

3)看護師等の需給・就業動向の実態把握に関する事業〈重点3〉

(1) 届出者への情報提供

(2) **新**プラチナナースの確保及び活用 (再掲)

(3) 令和元年度看護職員需要・離職調査の実施
(再掲)

- ・合同就職説明会
- ・相談体制の充実
看護なんでも相談 4,280件
メンタルヘルス相談 60件
認知症・高齢者専門相談 166件
- ・「県民だよりひょうご」等行政広報紙による広報強化 8月号広告掲載
- ・神戸市営地下鉄(山手線)県庁前コンコース内看板設置(令和3年2月終了)
- ・特設バナーの設置
- ・SNSの周知とフォロワー獲得 Twitter590 フォロワー
- ・看護相談員による出張相談及びナースセンター連携 206件
ハローワーク神戸:第1・3木曜日
ハローワーク姫路:第3月曜日
ハローワーク西宮:第2木曜日
ハローワーク加古川:第4月曜日
ハローワーク伊丹:第4水曜日
ハローワーク尼崎:第3金曜日
ハローワーク明石:第1火曜日
- ・二次保健医療圏域で開催される委員会検討会等への参加 年2回 書面・Web 3回
- ・行政との情報交換

辞めない組織作りのためのコミュニケーション術
講師 奥山美奈氏

令和2年12月10日(参加:来館30名、Web105名)

- ・制度の普及・啓発、相談対応
届出数5,537名(うち新規797名)
- ・就業支援
- ・研修企画・実施
- ・マッチング(新型コロナウイルス軽症者宿泊療養施設、健康福祉事務所等への就業 65名)
- ・施設代表者会等中止のため広報として会員施設へ資料送付し、離職時登録を推進した。(9月県内イオンにチラシ配架3,500枚)
- ・プラチナナース支援研修 令和2年9月8日10名
~~求人施設対象研修 令和2年2月25日〔中止〕~~

4)看護職の就業の促進に関する事業〈重点3〉

(1) 看護職再就業支援研修の実施

新1日コースの設定(シリーズ化)

1クール 3回

(2) 施設で実施する再就業支援研修の支援

(3) 本所合同就職説明会

就職に関する相談、訪問看護師になる為の相談コーナー等の設置

(4) 支部合同就職説明会開催の支援

(5) 看護基礎技術研修およびBLS研修の開催

(6) 看護基礎技術(採血)、静脈注射研修

- ・姫路支所
- ・サテライト北播

(7) BLS研修の開催(姫路支所)

(8) 看護師確保のための広報活動

新たに1日コースを設け、受講者が参加しやすい環境を設定

連続5日間コース 令和2年9月1～5日 Web併用 15名

1日コース 年6回 定員各15名延べ79名
7月21日12名/7月28日10名/8月25日12名
10月20日15名/11月17日15名/12月15日15名

- ・協会ホームページに掲載し広報
- ・研修企画支援
- ・本所合同就職説明会
年2回延 80名
令和2年9月5日 41ブース63事業所(Web)
参加者89名(既卒者:47名、学生42名)
令和2年2月6日 32ブース62事業所
参加者37名(既卒者:26名、学生11名)
- ・地域における合同就職説明会開催:3支部
阪神南圏域合同就職説明会
令和2年3月13日 2部入替制
24施設 求職者 101名
北播磨圏域合同就職説明会
令和2年9月6日 12施設、求職者19名
中・西播磨合同就職説明会1月17日〔中止〕
- ・BLS研修 週1回 39回 延数102名
- ・看護基礎技術研修 週1回 39回 延172名
- ・サテライト 2回/月 36回 延20名
支所 2回/月 36回 延41名
- ・BLS研修 月1回 7回 延16名
- ・看護専門学校・看護系大学へ出張講義 6箇所
- ・高校の進路指導担当者への看護進学に関する情報提供 6月26日 21校22名(新規15校)

4. 地域ケアサービスの実施及び促進に関する事業〈重点2〉

定款第4条第4項

(346,138千円)

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう訪問看護や居宅介護支援事業等を実施するとともに、まちの保健室事業等様々な場で健康相談に応じることにより、県民自ら取り組む健康づくりを支援する。

事業内容	実施状況
1) 地域看護活動の開発と推進に関する事業 〈重点2〉 (1) まちの保健室事業の推進	

- ①拠点、出前相談、講座等の活動の強化
- ②県民のライフサポーターとしての「まちの保健室」拠点の拡充
- ③理学療法士会・栄養士会・歯科衛生士会・薬剤師会等関係団体・他職種との協働の強化
- ④看護ボランティアの確保と質向上

(2) 神戸市委託事業

- ①サポーター研修（公開講座）開催
- ②いきいき健康サポート事業実施の強化

③地域拠点型一般介護予防事業における介護予防講座支援事業

(3) 認知症・高齢者に関する電話相談の継続

(4) 地域包括ケアシステムの推進

①地域別看護職員ネットワークづくり事業（再掲）

(5) **新**チーム医療推進に関する事業 〈重点2〉

- ①多職種参加型支部共同研修の実施
- ②先駆的な地域連携推進事例報告
- ③看-看連携研修の実施
- ④特定行為に係る看護師の研修制度の推進

(6) 看護提供体制の推進 〈重点2〉

- ①保健師助産師看護師支部交流会の実施
- ②地域別看護職員ネットワークづくり事業

③**新**地域包括ケアにおける看護提供体制の構築
～JNAの取り組み～

2) 訪問看護ステーションに関する事業
〈重点2〉

(1) 協会立訪問看護ステーションの運営

- ①尼崎訪問看護ステーション
 - ・訪問看護・居宅支援・訪問介護一体運営によるサービスの充実
 - ・実習及び体験実習等の受け入れ強化

- ・全拠点の認知症相談対応能力の向上および思春期・青年期等若年層の健康増進活動の強化
- ・地域の特性を活かした活動と意思決定の支援
- ・行政・他団体との連携強化と地域包括ケアシステムへの参画

・活動拠点 100カ所（週2回）

・延べ件数 160件

・令和3年2月27日研修開催 第1部 テーマ：オンラインコミュニティづくり～ウィズコロナ時代の地域支援～兵庫県立大学 林 知里氏 第2部「コロナ禍におけるまちの保健室活動を考える」グループディスカッション 参加者 45名

・サポーター交流会 令和2年12月15日 10名
長田区、垂水区のみサポート事業実施

・いきいき健康サポーター 延べ人数 25名
相談者延べ人数 144名

・テーマ：(仮) いつまでも地域で暮らすために、介護予防に活かせる体力測定を学ぶ
講師：兵庫県理学療法士会

・理学療法士会・栄養士会・歯科衛生士会・薬剤師会等他職種との協働〔中止〕

・令和2年10月に8拠点が開始

週2回 延べ件数 54件 参加者延べ人数 478名

・認知症・高齢者電話相談 166件

・特定行為に係る研修修了者の実践報告〔中止〕

・阪神北「看護職同士の顔の見える関係構築」

・神戸東部「高齢者フレイル予防」

・神戸中部「回復期リハビリ看護の質向上」

・西播「コロナ禍で地域を支える看護連携」

・但馬「看護Ⅱ領域の看護職等の感染症理解を深める」

・看-看連携研修生受け入れなし

<ul style="list-style-type: none"> ・教育ステーションとしての活動 ・機能強化型訪問看護ステーションとしての役割の推進 ・尼崎市認知症集中支援チームとして活動 <ul style="list-style-type: none"> ②神戸訪問看護ステーション <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護・居宅支援・訪問介護一体運営によるサービスの充実 ・実習及び体験実習等の受け入れ強化 ③出石訪問看護ステーション <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護・居宅支援・訪問介護一体運営によるサービスの充実 ・実習及び体験実習等の受け入れ強化 (2) 介護職員等の医療的ケア指導者研修の実施〈重点2〉 <ul style="list-style-type: none"> ①介護職員等によるたんの吸引等研修事業指導者講習会（再掲） ②介護職員によるたん吸引等研修事業指導者講習会フォローアップ研修（再掲） 3) 在宅ケアサービスの推進に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> 〈重点2〉 (1) 在宅看護体制機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ①在宅看護ネットワーク推進 <ul style="list-style-type: none"> ・看-看連携研修の県内全域実施 ・機能強化型訪問看護ステーションへ向けた取り組みに関するセミナー&訪問看護管理者交流会 ②訪問看護実践研修会開催 <ul style="list-style-type: none"> ・管理者運営・管理能力向上研修 ・訪問看護導入研修 年2回実施 ③訪問看護ステーションの機能強化支援 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護推進会議 ・新卒訪問看護師の育成と人材確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・セカンド実習の受け入れ6名（延べ日数2日） ・OJT訪問実施せず。コロナ関係の研修等を含み5回実施 ・まちの保健室活動は自粛 ・他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣 5回（Web） ・ヘルスアップ尼崎（尼崎市との共同事業）〔中止〕 ・支援対象者27件、うち新規依頼22件 ・他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣 10回（対面・Web） ・看-看連携研修生受け入れ3名（延べ日数6日） ・看護学生受け入れ10名（延べ日数32日） ・看護学生受け入れ4名（延べ日数19日） ・看-看連携研修 研修協力施設数（前年比） 病院 19施設（-46%）ステーション 28施設（-60%） 施設 4施設（-20%）参加者 44名 病院→訪看 35名、病院→病院 1名、訪看→病院 6名、 訪看→訪看 2名、介護関連施設からの参加なし ・機能強化型訪問看護ステーション普及セミナー 令和2年8月8日 62名 ・ほやほや管理者研修 令和2年10月17日・24日 参加者 44名 10月24日のみ参加者 7名 ・訪問看護管理者研修 令和2年12月12日参加者 57名 ・導入研修 令和2年9月12日参加者 33名 11月28日参加者 73名 ・訪問看護推進会議 4回（Web併用）、内容：新卒訪問看護師育成プログラム改定、広報活動、在宅でのCOVID-19情報共有 ・電話対応（経営相談等63件、COVID-19関連等26件）
---	--

<p>(2) 訪問看護 e-ラーニング受講者への支援</p> <p>(3) 兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会との連携</p> <p>①兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会事務局を担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会開催 ・会議開催 <p>(4) 訪問看護師・訪問介護員の安全確保・離職防止対策</p> <p>①暴力対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴力電話相談 ・暴力対策検討会議開催 ・研修会 <p>(5) 日本訪問看護財団との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「看護ひょうご」に掲載 ・病院、訪問看護ステーション、介護施設との看-看連携研修の継続 ・令和2年5月23日～10月23日 47名 実習16名 ・総会 令和2年7月11日 選挙（書面決議） ・理事会 年4回 ・訪問看護部会 年5回 Web併用で実施 ・電話相談 月～金 13:00～16:00 14件 ・会議年3回 令和2年7月13日、12月1日（Web併用） ・研修年2回 令和2年10月5日 Web研修会 150名参加 令和3年2月27日 Web研修会（ロールプレイ） 介護9施設、看護8施設参加 ・新型コロナウイルス感染症情報交換
---	--

5. 災害・健康危機支援に関する事業 <重点4> 定款第4条第5項 (17,180千円)

災害や健康危機発生時の看護活動支援に備え、平時から県・市町や日本看護協会、関係団体とのネットワークや連携を図り、体制の整備と受援・支援活動を行うことにより、県民の命と健康を守る。

事業内容	実施状況
<p>1) 災害時看護に関する事業 <重点4></p> <p>(1) 災害・健康危機管理体制基盤の構築</p> <p>①災害・健康危機対策委員会の開催</p> <p>②災害・健康危機体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に係る物品の備蓄と整備 ・協会内災害防災訓練の実施 <p>③支部での体制整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支部における健康危機対策の強化 ・支部における連携構築の推進 <p>④施設での体制整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業継続計画（BCP）マニュアルの検討支援 <p>⑤新型インフルエンザ等感染症対策 （体制整備、人材育成等）</p> <p>⑥受援体制整備の推進</p>	<p>年6回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時受援マニュアル策定ガイドの検討 ・新型コロナウイルス感染症に関する現場の課題、対応について情報交換 ・支援活動の強化推進のための検討 ・研修企画、実施 <p>協会内災害訓練の実施 アクションプランの周知確認</p> <p>支部のWeb環境の整備 圏域内の関係会議、防災訓練等への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BCPの整備活用状況について委員会内で聞き取り 受援マニュアル策定ガイドの作成 ・BCP推進研修1回 [中止]

<p>(2) 災害看護研修、災害支援ナース育成研修等</p> <p>(3) 災害支援ナース活動支援</p> <p>(4) 地域における防災訓練・連携会議への参加</p> <p>(5) まちの保健室等での地域住民への防災・減災教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザ等感染症対応研修 令和2年10月29日 テーマ「新型コロナウイルス感染症研修」 参加者：321名（会場65名、リモート256名） 講義「感染症発生時の行政の対応」 兵庫県健康福祉部感染症対策課 米田和代 氏 講義「新型コロナ感染症での看護職の活動」 宝塚第一病院 雪田智子 氏 ・災害支援ナースの指導的役割が果たせる人材の育成と訓練等を通じた実践能力の向上 ・災害看護研修1回〔中止〕 ・災害支援ナース養成研修（基礎編）2回（4回に分けて実施）参加者123名 ・災害支援ナース養成研修（実践編）2回 参加者91名 ・JMAT 実践研修への派遣 10名 ・地域における減災教育教材の活用 ・兵庫県・阪神南地域合同防災訓練5名 ・関係各団体等へ災害支援ナースの広報による災害支援ナースの活動拡大 ・災害支援ナース交流・研修会の開催 参加者24名 ・ひょうご安全の日1.17のつどいへの派遣〔中止〕 ・災害支援ナース登録システムの活用
<p>2) 健康危機発生時への対応整備に関する事業 〈重点4〉</p> <p>(1) 日本看護協会との連携</p> <p>(2) 近畿地区看護協会災害支援活動の推進</p> <p>(3) 兵庫県防災協定による活動</p> <p>(4) 市町等の防災訓練、防災会議への参加</p> <p>(5) ひょうご安全の日推進県民会議との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害看護担当者会議への出席 令和2年11月4日 Web 出席本会から報告 「災害支援ナース派遣調整合同訓練について」 ・災害支援ナース派遣調整合同訓練 令和2年12月8日～12月10日 会員施設の参加（連絡体制の確認等） ・近畿地区看護協会災害看護担当者会 年1回開催（兵庫県が担当県）繰り越し ・兵庫県防災会議への出席および役割遂行 ・合同防災訓練に係る会議への出席 ・合同防災訓練への参加 ・支部代表の参加 ・地域での連携体制推進 ・ひょうご安全の日推進県民会議への出席 ・ひょうご安全の日1.17のつどいへの参画〔中止〕 ・災害支援ナースの救護所等開設訓練への参加

<p>(6) 新型インフルエンザ等に係る会議への出席</p> <p>(7) 日本災害看護学会等学会との連携</p> <p>(8) 兵庫県医師会との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催地の支部からの訓練への参加 ・災害支援ナースの参加 ・DMAT チームのトリアージ訓練に参加 ・県民への防災減災の周知 ・兵庫県新型インフルエンザ等対策有識者会議への出席 ・神戸市新型インフルエンザ等対策行動計画有識者会議への出席 ・神戸市新型インフルエンザ対策協議会への出席 ・組織会員会としての活動継続：第22回年次大会 ・JMATの要請により災害支援ナースを派遣 ・JMAT実務者研修への派遣
---	---

(注) 新型コロナウイルス感染症に係る取り組みは、P32参照

6. 看護の国際交流に関する事業 定款第4条第6項 (0千円)

海外の同職能団体等との交流や国際協力機構（JICA）、世界保健機関（WHO）神戸センターとの連携を図り、看護の国際交流を推進する。

事業内容	実施状況
<p>1) 外国人看護師候補者受け入れに関する事業 (1) WHO 神戸センター協力員会委員および幹事として役割遂行</p> <p>2) 他国看護学会等との連携に関する事業 (1) JICA 海外研修生の研修協力</p>	<p>WHO 神戸センター協力委員会への出席</p> <p> Bangladesh 看護サービス人材プロジェクトへの協力、Web 会議出席</p>

7. 看護の普及啓発に関する事業 <重点5> 定款第4条第7項 (4,699千円)

「看護の日」記念事業や介護の日の関連事業（看護フェア）を通して、将来看護現場を支える若い世代を含め、広く県民に「看護のこころ」、「ケアのこころ」等看護に対する理解と関心を深め、県民の公衆衛生の向上を図る。

事業内容	実施状況
<p>1) 看護教育制度の広報に関する事業 (1) 進学説明会の実施</p> <p>(2) 進学希望者へのパンフレットの送付</p> <p>(3) 就職フェアにおける進学希望者への相談対応</p> <p>(4) 高等学校進路指導担当者説明会の実施</p>	<p>令和2年8月23日 Web 開催 参加者 17名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初申込の130名に学校一覧表を送付 ・高校・中学の進路指導担当者への看護進学に関する情報の提供 <p>令和2年6月26日 21校 22名</p>

<p>2) 看護のこころ普及に関する事業</p> <p>(1) 看護の日週間事業イベントの開催</p> <p>(2) ふれあい看護体験事業の実施</p> <p>(3) 看護フェアの開催</p> <p>(4) 看護の出前授業の強化</p> <p>関連事業</p> <p>(1) 兵庫県看護大会</p> <p>(2) 神戸市看護のともしび賞表彰式</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年5月9日〔中止〕 看護フェアで看護の歴史・白衣の展示 ・年1回開催 参加施設：6施設（応募106施設中） 参加者28名 ・看護フェア 令和2年11月14日 健康相談会 in まちの保健室 15名 ・中学校、高等学校への出前授業 6カ所 ・看護専門学校、看護系大学への出張講義 年6カ所（再掲） <p>令和2年9月10日 兵庫県公館 規模を縮小して開催 令和2年11月—兵庫県看護協会—〔中止〕</p>
---	---

8. 施設の貸与に関する事業 定款第4条第8項 (1千円)

本会の事業に支障のない範囲で、広く公益的事業を実施する団体等に施設を貸与することにより、地域社会への貢献を図る。

事業内容	実施状況
<p>(1) 会館協議会</p> <p>(2) 教育設備・備品の整備</p> <p>(3) 設備等定期検査</p> <p>(4) 建物施設の管理運営（警備・清掃・防災）</p> <p>(5) 維持・修繕</p>	

9. その他本会の目的を達成するために必要な事業 重点5 定款第4条第9項 (3,471千円)

定時総会、理事会、支部活動や関係団体との連携等を通じて協会の円滑な運営を図り、会員にとってさらに魅力のある看護協会を目指し、事業活動の充実と組織の強化を図る。

事業内容	実施状況
<p>1) 円滑な組織運営 重点5</p> <p>(1) 組織運営のための諸会議の開催</p> <p>①定時総会</p> <p>②理事会</p> <p>③業務執行理事会</p> <p>④職能委員会（保健師・助産師・看護師Ⅰ、Ⅱ）</p> <p>⑤委員会</p> <p>⑥理事・委員会合同会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年6月18日 会館ハーモニーホール 〔感染拡大防止のため規模を縮小して実施〕 ・11回開催 ・3回開催 ・職能委員会報告参照 ・委員会活動報告参照 ・2回開催 令和2年7月4日 令和2年12月5日

⑦施設代表者会

⑧支部会員会

(2) 代議員・予備代議員会

①代議員・予備代議員会議

②支部会員会における代議員・予備代議員選出のための支援

(3) 支部との連携、支部間の連携強化

①支部担当事務の配置と連携

- ・支部会員会等関連会議への出席
- ・支部運営マニュアルの適宜見直し
- ・電話等による支部活動支援

②支部運営会議、支部会員会、支部委員会への支援

③助成金の交付

(4) 日本看護協会諸会議への出席

①通常総会

②理事会

③地区別法人会員会

④都道府県職能委員長会議

⑤全国職能別集会

⑥都道府県支部役員等研修会

⑦その他会議

(5) 関係団体との連携・協働

①看護協会

日本看護協会、近畿2府4県看護協会、他都道府県看護協会

②兵庫県看護学校協議会

③兵庫県助産師会、日本精神科看護協会兵庫県支部

④日本看護連盟、兵庫県看護連盟

兵庫県看護連盟との役員合同会議

⑤医療・福祉・介護関連団体

- ・兵庫県医師会、兵庫県歯科医師会、兵庫県薬剤師会
- ・兵庫県医療職団体協議会（放射線技師会、臨床検査技師会、栄養士会、臨床工学技士会、理学療法士会、歯科衛生士会、作業療法士会、言語聴覚士会、薬剤師会、介護支援専門員協会）合

・令和2年8月6日〔中止〕

・令和3年3月4日（Web併用）参加者163名

・日本看護協会重点施策・重点事業

・本会重点方策・重点事業（事業報告）

・兵庫県医務課からの情報提供

・発表「コロナ禍における基礎教育の現状と課題」

発表者 兵庫県立大学 看護学部 教授 大野かおり 氏

・令和3年2月〔規模を縮小して開催〕

※支部活動報告 参照

・令和2年6月6日〔中止〕

・令和2年6月11日福岡県〔書面による議決権行使〕

・年5回開催 Web会議

・令和2年10月19日20日 奈良県

・政策責任者会議、事務担当者会議、会員情報管理担当者会議、教育担当者会議、医療安全推進会議、准看護師制度担当役員会議、日本看護学会運営会議、広報担当者会議、災害担当者会議、訪問看護担当役員会議、ナースセンター事業担当者会議 他

近畿地区看護協会会長会議

近畿府県看護協会人材育成担当者会議

近畿府県看護協会災害担当者会議

近畿府県看護協会人材確保・定着担当者会議

近畿地区看護協会事務局長会議

幹事団体：看護協会

令和3年2月—医療職団体合同研修会〔中止〕

同研修

- ・兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会
- ・介護・福祉関係団体

⑥行政

- ・兵庫県、神戸市、西宮市、姫路市、尼崎市、明石市、各市町、兵庫労働局、ハローワーク等
- ・関西広域連合 ほか

2) 協会組織の強化 〈重点5〉

(1) 会員数増加の促進

- ①未加入者への働きかけ
- ②看護系大学・看護専門学校への出前授業等による働きかけ
- ③看護系大学・看護専門学校の入学式・卒業式等への出席および祝電・メッセージ
- ④見学実習等の積極的受け入れ

(2) 新入会員研修の実施

(3) セカンドキャリア支援

3) 広報活動 〈重点5〉

(1) 広報活動の充実に関する事業

(2) 広報誌等による広報

(3) ホームページの効果的運営

- ①理事会議事録（要約）の掲載
- ②看護関連情報および協会の事業活動の更新

③ホームページ上の各支部ページの充実

④ホームページの活用に関する評価

(4) マスコミを通じた広報活動

- ・新入会員研修会の開催—9会場—対象：1,200名
〔中止〕

- ・神戸市看護大学看護管理学実習
令和3年2月18日 学部生3名
- ・神戸市看護大学看護政策実習
令和3年3月12日 大学院生2名
- ・協会活動の紹介
- ・セカンドキャリアの活用促進
新型コロナウイルス関連 採用者16名
- ・登録推進と協会事業への参画
プラチナナース登録者数 92名
- ・総会、研修会、イベント等への参加への働きかけ

- ・「看護ひょうご」の発行による会員等への情報提供
（年4回発行：新春・春・夏・秋）
- ・広報誌「看護ひょうご」のホームページ掲載の継続
- ・協会ガイド内容の充実
- ・県民向け広報誌「ささえ」vol.7の発行
- ・「看護師をめざすあなたへ」冊子配布拡大

- ・看護の日・看護週間イベントの広報活動
- ・看護の出前事業の広報活動
- ・ナース川柳“ひょうご”の募集と表彰
- ・ナースシップに関する広報の強化
- ・「看護ひょうご」に入会案内を掲載

<p>①取材依頼への積極的対応</p> <p>②協会事業のマスコミへのPR活動</p> <p>(5) 社会貢献活動の広報</p> <p>①関連イベントへの協力</p> <p>(6) 「看護の日・看護週間」事業による看護の心の普及促進</p> <p>(7) 会員募集(新入会・継続入会)に関する広報</p> <p>4) 会員の表彰・福利厚生等</p> <p>(1) 叙勲・表彰等候補者の推薦</p> <p>(2) 兵庫県看護協会会長表彰等の実施</p> <p>(3) 慶弔見舞、災害見舞</p> <p>(4) 看護職賠償責任保険制度加入の推進</p> <p>(5) 協会・支部出務に係る保険運用</p>	<p>・看護の日PRイベント〔中止〕</p> <p>・叙勲・褒章</p> <p>・日本看護協会会長表彰</p> <p>・兵庫県看護功績賞</p> <p>・神戸市看護のともしび賞〔中止〕</p> <p>・兵庫県看護協会会長表彰</p> <p>・兵庫県看護協会会長感謝状</p> <p>・まちなの保健室ボランティア表彰 等</p>
---	---

兵庫県看護協会の新型コロナウイルス感染症への取り組み

(令和2年2月~3月含む)

1 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う健康危機対策支援本部の設置

感染症の発生動向を踏まえ、幹部会（健康危機対策本部会議）で、協議検討し対応してきたが、兵庫県の感染拡大に伴い、本会内の対応を円滑に進めるため、意思決定、実効性、機動力のある組織として「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う健康危機対策支援本部」を設置した。

- 1) 設 置：令和2年4月6日～令和3年3月31日
- 2) 構成員：会長（本部長）、専務理事（副本部長）、常務理事2名、事務局長、
ナースセンター部長、健康危機担当、教育担当 計8名
- 3) 開催回数：47回
- 4) 主な協議事項
 - (1) 本会の感染対策の基本方針、活動方針、活動指針、基準、要望事項等
 - (2) 本会内感染対策の具体策、感染対策を徹底した事業推進
 - (3) 会員・会員施設等への情報収集、支援策検討、情報発信
 - (4) 新型コロナウイルス感染症に関する兵庫県委託事業・補助事業等の検討
 - (5) Web環境の整備
 - ①会議・業務用パソコン、関連機器の整備
 - ②WEB会議システム（ZOOM）の導入
 - ③各支部に研修用パソコンの整備

2 新型コロナウイルス感染症に係る看護職員の確保（ナースセンターの求人求職・復職支援強化）

- 1) ナースセンター復職支援 新型コロナウイルス感染症対策のための潜在看護師確保
令和2年度

求職者数	求人数	紹介人数	採用数
216	192	139	65

* 主な紹介先 医療機関、健康福祉事務所、コールセンター等

- 2) 保健師バンク（県補助事業）
 - (1) 登録開始：令和3年2月1日～
 - (2) 登録者数：100名（令和3年3月31日現在）
 - (3) 紹介による復職者：6名
 - (4) 主な紹介先：市町、健康福祉事務所、CCC、自宅待機者電話観察等
- 3) ワクチン接種のための看護職確保、復職支援

3 新型コロナウイルス感染症に係る各種相談窓口の設置・対応

- 1) 専門職による緊急メンタルヘルス相談
 - (1) 期 間：令和2年3月～6月
 - (2) 相談件数：4件
 - (3) メール相談：0件
- 2) 新型コロナウイルス感染症電話相談
 - (1) 期 間：令和2年4月～

- (2) 相談件数：7件
- (3) 主な相談内容：感染対策、看護職の確保策 等
- 3) 新型コロナウイルス感染症に関する看護職のための電話・メール相談（県委託事業）
 - (1) 期 間：令和3年2月15日～4月末
 - (2) 相談件数：電話24件 メール7件
 - (3) 主な相談内容：職場対応の不満 38.9%、職場の人間関係 8.3%、
心身の不調 11.1%、その他（感染対策、ワクチン接種 等）
- 4) 県民向け「まちの保健室電話相談」
 - (1) 期 間：令和2年5月～11月
 - (2) 相談件数：10件
 - (3) 主な相談内容：健康づくり 等
- 5) その他、常設の「看護なんでも相談」、「訪問看護ステーション電話相談」等においても、感染症に関連する相談に対応した。

4 兵庫県コールセンター・宿泊療養施設・自宅待機者健康観察への支援

- 1) 兵庫県コールセンター（24時間電話）への専門職派遣・看護職確保調整（県委託事業）
 - (1) 期 間：令和2年2月28日～8月末
 - (2) 派遣人数：

看護協会	実人数 18名	延べ人数 44名
大学・養成所	実人数 40名	延べ人数 117名
プラチナナース等	実人数 25名	延べ人数 219名
- 2) 健康福祉事務所電話相談への専門職派遣（県委託事業）
- 3) 患者入院調整コーディネーター（CCC）への専門職派遣
- 4) 宿泊療養施設開設サポート（感染管理認定看護師による支援）
- 5) 宿泊療養施設運営サポート（緊急対応フローの作成）
- 6) 自宅待機者・療養者健康観察（県委託事業）
 - (1) 期 間：令和3年2月2日～3月末現在
 - (2) 対応件数：実人数 83名
延べ件数 839名×2回/日=1,678回

5 医療施設への対応（情報交換、情報提供等）

- 1) 情報交換
 - (1) コロナ受け入れ病院看護管理者意見交換会 開催日：令和2年6月11日 参加者：11名
 - (2) コロナ受け入れ病院感染管理認定看護師意見交換会
開催日：令和2年6月30日 参加者：11名
 - (3) 県内の感染管理認定看護師意見交換会（Web併用）
開催日：令和2年8月11日 参加者：33名（会場10名、Web23名）
- 2) シンポジウム
 - 「新型コロナウイルス感染症対応の実際」
開催日：令和2年10月21日 参加者：97名
 - 兵庫県の情報提供：兵庫県健康福祉部健康局医務課 課長 元佐龍 氏
 - シンポジスト： 県立尼崎総合医療センター 副院長兼看護部長 三浦智恵 氏

高砂市民病院 福田純子 氏
中播磨健康福祉事務所 健康参事兼課長 春藤由里子 氏
神戸赤十字病院 看護部長 松本ゆかり 氏

3) 研修

- (1) 「弁護士・社会保険労務士から聞く」 開催日：令和2年10月3日 参加者：70名
講師：弁護士 森脇正 氏、社会保険労務士 畑中美和 氏
- (2) 「新型コロナウイルス感染症研修」(Web 併用)
開催日：令和2年10月29日 参加者：322名(会場66名、Web256名)
講師：兵庫県健康福祉部感染対策課 米田和代 氏、
宝塚第一病院 感染管理認定看護師 雪田智子 氏

4) 実態調査

新型コロナウイルス感染に関する緊急調査 令和2年8月

5) ワクチン接種リスト作成への協力(訪問看護ステーションへの情報提供)

6 高齢者施設・福祉施設・精神科領域・在宅領域等への対応

1) 電話相談窓口開設

(1) 高齢者施設での感染対策相談(県補助事業)

- ① 期 間：令和2年4月～令和3年3月
- ② 相談件数：30件
- ③ 主な相談内容：施設の感染症対策 等

(2) 福祉施設での感染対策相談(県委託事業)

- ① 期 間：令和3年2月～令和3年3月
- ② 相談件数：6件
- ③ 主な相談内容：施設の感染症対策 等

2) 新型コロナウイルス感染症発生時の感染管理認定看護師派遣(県補助事業)

- (1) 期 間：令和2年12月～令和3年3月
- (2) 派 遣：11施設 派遣延べ数17名
- (3) 主な指導内容

- ① 感染発生状況確認、PCR実施状況の確認
- ② 施設の職員経路確認
- ③ 施設の感染対策実施状況の確認
- ④ 感染対策アドバイス(食事介助時の注意、ゾーニング、防護具、手指消毒、休憩室注意等)

3) 研修・シンポジウム

(1) シンポジウム「With コロナ在宅療養支援における感染症対策」(Web 併用)

- ① 開催日：令和2年11月7日 参加者：100名
- ② 講師：笹生病院 大塚美紀 氏
西宮市社会福祉事業団訪問看護課 山崎和代 氏
- ③ シンポジスト：
県立西宮病院地域医療連携センター 磯沖文誉 氏
本山東部あんしんすこやかセンター 大下眞美 氏
宍粟市訪問看護ステーション 荒尾和美 氏
介護老人保健施設マリア・ヴィラ 上月昭宏 氏

兵庫県健康福祉部感染症対策室 米田和代 氏

(2) 「新型コロナウイルス感染症の対応と予防策」(県補助事業)

①開催日：令和2年6月27日 講師：神戸労災病院 吉川美智代 氏 参加者 90名

②開催日：令和2年9月28日 講師：市立川西病院 西田左恵子 氏 参加者 98名

(3) 「介護施設職員応援に向けた新型コロナウイルス感染予防対策研修」(県補助事業)

開催日：令和2年9月9日 講師：だいもつ病院 長友美緒 氏 参加者：19名

(4) 「福祉施設等での感染対策」(県委託事業)

開催日：令和3年3月8日、3月23日 講師：姫路聖マリア病院 今川嘉樹 氏 参加者：266名

4) 施設への感染管理認定看護師講師派遣

高齢者施設への感染対策研修講師派遣 28名

精神科病院への感染対策支援講師派遣 16名

リソースナース感染予防研修講師派遣 9名

5) 情報提供

感染対策DVD作成(県補助事業)

7 看護教育・人材育成等への対応(日本財団補助事業)

1) 県内看護師養成所の新型コロナ対応の実態調査

(1) 開催日：令和2年5月

(2) 対象：看護学校養成所教員

(3) 回答 19校/21校

2) 情報交換会

(1) 県内看護大学教員ディスカッション 開催日：令和2年7月14日 参加者：13大学 15名

(2) コロナ禍における次年度新人看護師育成の検討会議

開催日：令和2年8月24日

参加者：17名(看護管理者、看護教員、臨床看護師、老健施設看護師)

3) 研修会

(1) 「With コロナ社会に対応する新人看護師教育の再建」

①開催日：令和3年1月7日 参加者：61名

令和3年1月8日 参加者 58名

②講師：兵庫県立大学 教授 大野かおり 氏

県立総合衛生学院 副校長 村本洋子 氏

明和病院 看護部長 矢吹浩子 氏

県立がんセンター 日野千奈美 氏

大久保病院 看護部長 矢野尾ひとみ 氏

(2) 「職場適応につなげよう！社会人基礎力を育てる具体的な方法」(Web 併用)

①開催日：令和3年3月12日 参加者：109名

②講師：聖マリアンナ医科大学 ナースサポートセンター・センター長 高橋 恵 氏

4) 小冊子作成

「ウイズコロナ社会に対応する新人看護職教育のヒント」

①部数：1,000部

②配布先：医療機関、看護系大学、看護専門学校、都道府県看護協会等

8 県民への支援

- 1) ~~1日まちの保健室 With コロナ~~ 開催日：令和2年8月9日 中止
- 2) 看護フェア「介護予防 With コロナ」 開催日：令和2年11月14日 参加者：15名
- 3) 「ひょうごスタイル普及啓発・対策推進補助事業」（県補助事業）
 - (1) フレイル予防体操 動画作成・配信
 - (2) ホームページ県民向けページ作成
 - (3) 啓発グッズ作成
 - (4) 医療従事者への感謝とエール ポスター作成、動画作成・配信
 - (5) 広報誌、リーフレット等による情報提供
 - (6) 市民団体への健康講話 講師派遣

9 兵庫県知事・神戸市長への要望

- 1) 「新型コロナウイルス感染症拡大への対応について」（緊急要望）：令和2年3月27日
 - ・医療機関の役割分担
 - ・PPEの確保
 - ・訪問看護事業への支援
 - ・誹謗中傷、風評被害防止 等
- 2) 「看護職員の処遇等に対する措置」：令和2年4月24日
 - ・危険手当の支給
 - ・妊娠中の職員の休業に伴う代替職員確保
 - ・PPEの確保 等
- 3) 「地方創生臨時交付金活用による看護職員等に対する措置」（兵庫県知事）：令和2年5月21日
 - ・危険手当等特別な手当の支給 等
- 4) 「地方創生臨時交付金活用による看護職員等に対する措置」（神戸市長）：令和2年6月3日
 - ・危険手当等特別な手当の支給 等
- 5) 「第2次補正予算における慰労金の対応」：令和2年7月8日
 - ・慰労金5万円の支給
- 6) 「令和3年度予算編成に対する要望」：令和2年7月10日
- 7) 「令和3年度予算編成に対する重点要望」：令和2年12月2日
- 8) 「新型コロナウイルス感染症にかかわるワクチンの訪問看護・介護・福祉施設職員への早期接種に関する要望」：令和3年1月22日

10 産学看護連携事業（県立大学との協定に基づく支援事業 商工会議所等との連携）

- 1) 「看護職応援サポート事業」 令和2年8月～
- 2) 「企業から医療現場のニーズに応える提案」 募集：令和2年9月 情報提供：令和2年10月
- 3) 「食のサポート」事業 令和2年9月、12月

11 防護具等の確保・配布、寄附

- 1) 会員施設の在庫状況等現状調査 令和2年6月

2) 民間企業、日本看護協会、兵庫県等からの寄贈品等の配送

(50音順・敬称略)

	ご芳名	内容
寄贈品	株式会社大町 DAGASHI で世界を笑顔にする会 (2回)	駄菓子
	花王プロフェッショナルサービス株式会社	入浴剤・ハンドクリーム等
	一般社団法人敬愛まちづくり財団	菓子
	サンスター株式会社	健康飲料サラナ
	株式会社セイワ・プロ	マスク
	大陽日酸株式会社	サージカルマスク
	チューリッヒライフ	マスク
	株式会社ファンケル	クレンジングオイル
	東洋羽毛関西販売株式会社	マスク・保湿ローション
	株式会社ファーストリテイリング	アイソレーションガウン
	株式会社ファンケル 大丸神戸店	クレンジングオイル
	株式会社ホテルオークラ神戸	パン・ケーキ
	ユニチカトレーディング株式会社	アイソレーションガウン
	株式会社吉岡徳仁デザイン事務所	フェイスシールド
	株式会社リタニアル バイオサイエンス	サプリメント のど飴
	日本看護協会 (2回)	防護服、ガウン、マスク、アルコール等
	兵庫県	ガウン、マスク、アルコール等
	寄付金	東洋羽毛株式会社
中村暉彦		300,000 円
西宮市立甲武中学校女子バレーボール部		220,000 円
日本ビジネスデータプロセッシングセンター 中国銀行神戸支店		200,000 円
匿名		200,000 円
その他	スマイル・プロジェクト・ジャパン	手作りマスクカバー・ケーキ
	匿名	アルコール・マスク

12 兵庫県、神戸市、関係団体等の感染対策に係る会議等への出席

※ 令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対応に取り組んでいます。

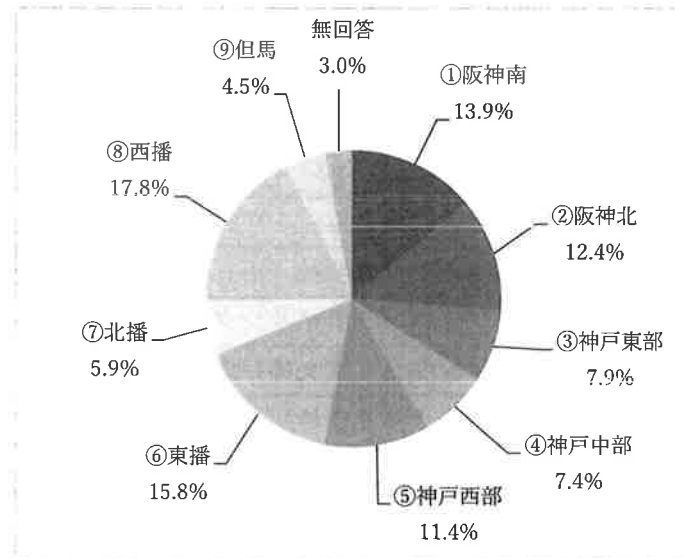
新型コロナウイルス感染症に関する緊急調査結果（全体）

2020.10

新型コロナウイルス感染症に関する緊急調査を兵庫県内の会員施設の看護管理者あてに8月末郵送で依頼した。9月10日の期限までに、222通の返信があり、そのうち、病院以外の施設からの回答も含まれていたため、病院からの202通を集計した（県内病院数348の58.0%・有効回答90.9%）。

1. 支部別回収数・率

①阪神南	28	13.9%
②阪神北	25	12.4%
③神戸東部	16	7.9%
④神戸中部	15	7.4%
⑤神戸西部	23	11.4%
⑥東播	32	15.8%
⑦北播	12	5.9%
⑧西播	36	17.8%
⑨但馬	9	4.5%
無回答	6	3.0%
合計	202	100%



設置主体は、①国公立・公的病院は、46（22.7%）、民間病院は、156（76.8%）、病床数は、①200床未満は、134（66.3%）、200~499床は、56（27.7%）、500床以上は、9（4.5%）であった。

2. 新型コロナ患者の受け入れ

新型コロナ患者を受け入れた施設は、全体では、43（21.3%）で、156（77.2%）は受け入れていなかった。

うち国公立・公的病院で、コロナ患者を受け入れた施設は、46施設中31（67.4%）で、15（32.6%）は、受け入れていなかった。

民間病院で受け入れた施設は、12（7.7%）で、9割の民間病院は新型コロナ患者を受け入れていなかった。

9月の時点で、5月と比べて、新型コロナ患者受け入れベッドを増やした施設は、12（27.9%。国公立・公的病院9施設、民間病院3施設）で、7割近くの受け入れ病院は、5月の段階と同じベッド数であった。

3. 感染管理認定看護師

感染管理認定看護師がいる施設は、61（30.2%）で、140施設。7割近い施設は、感染管理認定看護師がいない。国公立・公的病院の31（67%）には配置されているが、民間病院は30（2割弱）しか配置されていない。

感染管理認定看護師が複数名配置されているのは、全体で19施設・3割程度で、国公立・公的病院の14（45%）には複数名、配置されている。

4. 発熱外来

全体の92（46%）施設は、発熱外来を設置しており、国公立・公的病院は26施設、民間病院は66施設が、発熱外来を設置している。そして、PCR検査を実施しているのは、73施設で、8割、うち37施設と4割近い施設は、自施設で実施していた。1か月の延べ検査数は、4割近い施設は、100人以下の人

数であった。国公立・公的病院では、月400人以上実施している施設が4施設あった。PCRの検体採取は、医師が6割、看護師3割、検査技師が1割程度実施している。国公立・公的病院では、医師が実施は8割弱で、看護師3割強、検査技師1割であった。民間病院は、医師が5割、看護師3割強、検査技師1割強、唾液自己採取のみという施設もあった。

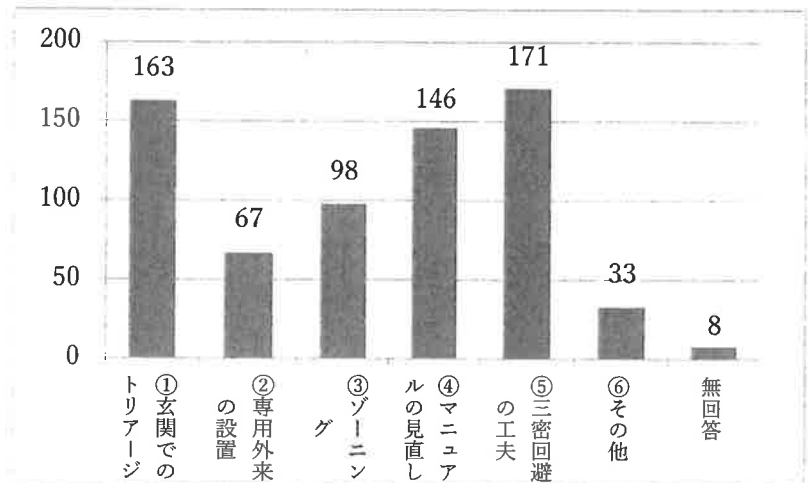
5. コロナ病棟や発熱外来への看護師配置による他部署への影響

人員不足があったのは、病棟40施設(19.8%)、外来76施設(37.6%)救急部門10施設(5%)であった。病棟・外来の看護師を、やりくりしてコロナ病棟や発熱外来に、配置している様子が見える。

6. 職場の感染対策

対策を強化した施設は、148施設(73%)、ある程度強化した施設は48施設(24%)で、全ての施設が何らかの対策をとっていた。

①強化した	148	73%
②ある程度強化した	48	24%
③特段の強化はしていない	0	0%
無回答	6	3%
N=202		



【対策の強化内容】

< 3密の工夫 >

①休憩室

- ・ 休憩室を増やす。
- ・ 休憩のとり方、休憩分散、休憩時間の指導
- ・ 休憩室の椅子の配置、レイアウトの変更

②食事

- ・ 食事場所の拡大(研修室の使用)、食堂の椅子の配置、席数を減らす、対面しない
- ・ 食事以外マスク着用
- ・ スタッフの食事時間の変更、場所確認

③会議・研修会

- ・ 会議や研修の人数減・開催減、リモート等、院内会議は全て院内専用PCを活用
- ・ 会議参加者の人数制限、場所は広い部屋、研修会等中止
- ・ 換気、席の距離、会議室の空間作り
- ・ 会議の中止、制限
- ・ 院内研修方法の変更

④面会制限(人数・時間)

- ・ 病棟面会禁止、外来椅子の間隔
- ・ 面会時間制限(オンライン)、Skype面会他
- ・ 荷物の受け渡しについて

⑤待合い

- ・ 待合の椅子の間隔、外来待合室のシートの距離を空けた
- ・ 待合室のレイアウト変更、受付ビニールカーテン設置

⑥急変時対応

- ・ CPA対応は完全PPE(マスク・ガウン・手袋・ゴーグル or フェイスガード)、CPAで亡くなった方=必ず抗原 or PCR検査、入り口一部閉塞し入り口を専用化
- ・ 介護の人数制限

⑥その他

- ・パーティションの設置
- ・受付・薬局・処置室・診察室の透明フィルムの設置
- ・窓口・休憩所に仕切り板設置
- ・処置毎のベッド・座椅子の消毒
- ・大部屋を少人数で仕様（5人部屋→3名、4人部屋→2名、2人部屋→1名）
- ・食事・休憩方法、会議方法、研修会の方法等、マニュアル作成し対応
- ・入浴方法変更、ポスター掲示
- ・病棟・外来スタッフの動線を分けた。
- ・フェイズを作成し対応等職員へ周知。職員についても行動制限等感染対策を行っている。
- ・業者の出入りは最少で、体調管理、カンファレンスは最小単位、できるだけ大きな部屋で

【その他】

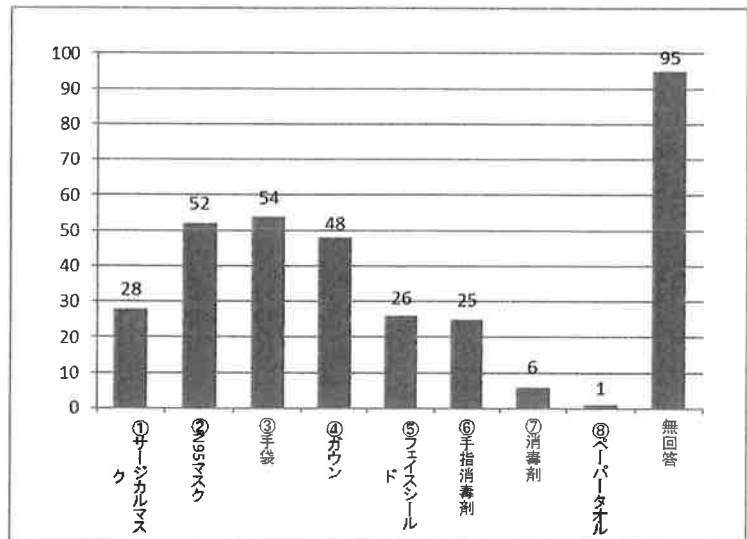
- ・職員の自粛（外出・旅行・出張等）首都圏への出張中止。状況に応じた職員行動指針の配布
- ・PPEの確保（ビニール袋エプロンの作成）。マスク・ゴーグルは全職員必須
- ・発熱待合の設置。発熱センサーの設置、玄関での検温
- ・病院独自の緊急事態宣言、公共交通機関利用者へ車の貸出・送迎、行事の中止
- ・コロナ会議（1日/W）、1回/W、ICT会議を持ち検討、新型コロナウイルス感染対策委員会の設置
- ・活用範囲（職種）拡大
- ・マニュアルの作成
- ・職員の検温、体調チェック
- ・環境清拭の徹底、ベッドやドアノブなどの掃除専用の人を雇用
- ・サーキュレーター等を設置
- ・有熱者の転院日時調整

7. 物品の充足

使用量を勘案して、在庫が逼迫しているもの（9月末までの在庫がない）

①サージカルマスク	28	13.9%
②N95マスク	52	25.7%
③手袋	54	26.7%
④ガウン	48	23.8%
⑤フェイスシールド	26	12.9%
⑥手指消毒剤	25	12.4%
⑦消毒剤	6	3.0%
⑧ペーパータオル	1	0.5%
無回答	95	47.0%

N=202 複数回答可



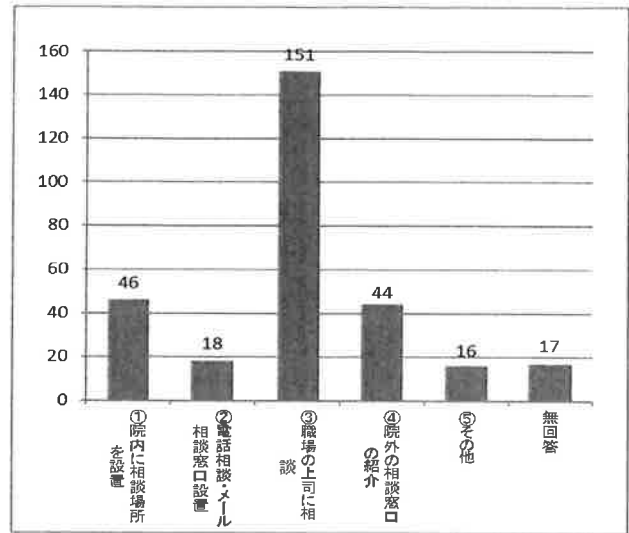
8. 精神衛生面への影響

1) 職員のメンタルフォロー体制

①院内に相談場所を設置	46	22.8%
②電話相談・メール相談窓口設置	18	8.9%
③職場の上司に相談	151	74.8%
④院外の相談窓口の紹介	44	21.8%
⑤その他	16	7.9%
無回答	17	8.4%

N=202

- ・看護協会等発信のサポート情報を提供
- ・公的な相談窓口を紹介した。
- ・組合内病院リエゾン看護師への相談・対応
- ・陽性者の復職支援
- ・精神科医、リエゾンがラウンド
- ・相談者に定期的に電話
- ・感染管理認定看護師への相談、感染委員で対応
- ・ストレスチェック後、産業医面接を院内で実施
- ・産業医に相談(法人内、心療内科受診(院内で))、労働安全の Dr を配属
- ・法人コロナ対策委員会、法人衛生委員会
- ・ストレスチェックを早めに実施、アンケート調査を行った。
- ・総務と看護部長が対応

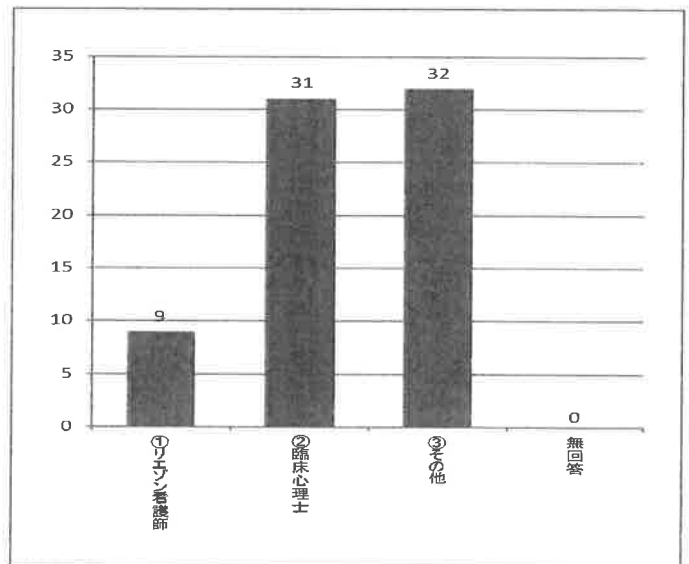


2) 相談対応職種

①リエゾン看護師	9	4.5%
②臨床心理士	31	15.3%
③その他	32	15.8%
無回答	0	0.0%

N=202

- ・精神科医・心療内科医
- ・こころのケアチーム (心療内科医、臨床心理士、看護師)
- ・安全衛生委員会、ICT
- ・厚生課・法人衛生委員会事務局
- ・看護師 MSW、産業看護師
- ・看護部長、看護管理者、部門管理者
- ・産業医、産業カウンセラー、第一種衛生管理者
- ・CNS、CN、保健管理室、CNIC



9. 退職相談

1) 相談者数

●全体

N=202

①看護師長・看護部に退職の相談があった	91	45.0%
②退職者があった	17	8.4%
③その他	81	40.1%
無回答	75	37.1%

4~8月の延べ相談件数

①1~5人	13	17.3%
②6~10人	3	4.0%
③11~15人	2	2.7%
④16~20人	0	0.0%
⑤21人以上	1	1.3%
無回答	56	74.7%

4～8月の退職者数

①1～5人	67	73.6%
②6～10人	12	13.2%
③11～15人	6	6.6%
④16～20人	3	3.3%
⑤21人以上	0	0.0%
無回答	3	3.3%

うち、今年の新卒			うち中途採用者		
①1～5人	15	16.5%	①1～5人	42	16.5%
②6～10人	1	1.1%	②6～10人	4	1.1%
③11～15人	0	0.0%	③11～15人	2	0.0%
④16～20人	0	0.0%	④16～20人	0	0.0%
⑤21人以上	0	0.0%	⑤21人以上	0	0.0%
無回答	75	82.4%	無回答	43	82.4%

- ・相談・退職はあるがコロナに関連しない。
- ・育児休暇延長相談が増加
- ・9月に2人退職予定。家族の反対があったもの
- ・コロナに関連する退職はなかった。むしろ延期したものが3名
- ・産休及び病休が多く、人数不足とコロナ対策で職場環境は非常に厳しい。
- ・コロナのため育休明けの出勤ができない。
- ・7月に経営方針を大きく変更。その際人員整理を行った。そのため7月～8月の退職が増加した。

【国公立・公的病院】

4～8月の退職者数（全体）N=15			うち 新卒退職者数			うち中途採用者退職者数		
①1～5人	10	66.7%	①1～5人	6	40.0%	①1～5人	2	13.3%
②6～10人	3	20.0%	②6～10人	0	0.0%	②6～10人	0	0.0%
③11～15人	1	6.7%	③11～15人	0	0.0%	③11～15人	0	0.0%
④16～20人	1	6.7%	④16～20人	0	0.0%	④16～20人	0	0.0%
⑤21人以上	0	0.0%	⑤21人以上	0	0.0%	⑤21人以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%	無回答	9	60.0%	無回答	13	86.7%

【民間病院】

4～8月の退職者数（全体）N=76			うち 新卒退職者数			うち中途採用者退職者数		
①1～5人	57	75.0%	①1～5人	9	11.8%	①1～5人	40	52.6%
②6～10人	9	11.8%	②6～10人	1	1.3%	②6～10人	4	5.3%
③11～15人	5	6.6%	③11～15人	0	0.0%	③11～15人	2	2.6%
④16～20人	2	2.6%	④16～20人	0	0.0%	④16～20人	0	0.0%
⑤21人以上	0	0.0%	⑤21人以上	0	0.0%	⑤21人以上	0	0.0%
無回答	3	3.9%	無回答	66	86.8%	無回答	30	39.5%

10. 妊娠者への配慮

①新型コロナウイルス感染の危険性から部署異動した	13	6.3%
②予定より早めに産休に入った	40	19.2%
③その他	16	7.7%
無回答	139	66.8%

11. 不当と思われる経験

①特にそのような経験はしていない	128	63.4%
②SNSなどが拡散して「感染している」などと噂になった	6	3.0%
③こどもが学校や保育園などでいじめを受けたことがある	3	1.5%
④こどもが学校や保育園などで登校を拒否された	30	14.9%
⑤家族が職場で不当な噂を流されるなどの扱いを受けた	15	7.4%
⑥近所のお店などで買い物などを拒否された	4	2.0%
⑦そのほか、不当と思われる経験をした	29	14.4%
無回答	12	5.9%

N=202 複数回答可

<不当と思われる経験の内容>

◆近所

- ・ 病院の風評被害に関連した住民から感じる違和感
- ・ マンションで自宅から出るなど貼り紙をされた。
- ・ 一般市民の方と思われるが、病院玄関で「この病院にはコロナ入院している」と大声で叫ばれることがあった。
- ・ 当院でコロナの患者がいるという噂が流れている。
- ・ 関連病院でコロナが発生し、同法人でも被害を受けている。
- ・ 近所の人たちから避けられるようになった。外で出会っても遠ざかる等
- ・ 5月頃は外部から病院への問い合わせが多かった。

◆家族(配偶者・両親)

- ・ 夫の職場から、コロナ病棟で妻（Ns）が勤務しているなら出勤しないでほしいと言われた。
- ・ 配偶者の職場から、配偶者が濃厚接触になる可能性があるため、自宅ではなく指定する施設（ホテル）で生活するように言われた。
- ・ 病院勤務ということで、ご主人（会社員）自宅待機命令。父親の職場より看護師（嫁）同居の場合、別居しなければ、父親が勤務に行くことができない。
- ・ 家族（夫）が妻の就業先の施設名と感染患者を診ているかどうかを申請しないとイケない。
- ・ 家族が仕事の制限を受け収入が減った。
- ・ 家族が当院の職員（医療機関）ということで、本人が会社から休むよう指示された。
- ・ 家族が受診を拒否された。
- ・ 配偶者の職場で勤務自粛を要請された。

◆こども

- ・ 保育園に迎えに行ったら自分の子どもだけ別室で一人でいた。
- ・ 職員が子どもの卒業式に参加できなかった。
- ・ 保母さんより子どもが虐められても責任とれませんよと言われた。
- ・ 延長保育ができないと言われた。

◆看護師・職員

- ・ 結婚式中止（式場からの連絡）、タクシー乗車拒否、家族の職場からの通勤停止
- ・ 当院の看護師がかかりつけ医を受診しようとしたが断られた。
- ・ ダブルワークで夜勤専従の職員が、他方の職場より当院での勤務を禁止された。
- ・ 入職してきた職員が希望した病院に内定を取り消されたため当施設を選んだ。取り消された理由は、前職場でコロナが発生したということがあったためだが、その職員とは直接関係なかった。
- ・ 家族を気にしてホテル宿泊希望したがホテルから拒否された。
- ・ 受診拒否された。
- ・ 母親同士で集まることを拒否された。
- ・ 事務員がユニフォームで買い物を指摘された。自転車に「コロナ」と貼り紙をはられた。
- ・ 家族（夫）から帰宅しないようにいわれた職員があった。子どもに触れるなどとも言われた。

- ・ クラスター発生の病院ということで、受診拒否、ope 延期（そのことにより筋腫増大し尿管損傷となる）
- ・ 陽性になったスタッフが SNS などで叩かれた。
- ・ どの病院に勤務しているのかを再々聞かれる。
- ・ 職員同士で「熱があるのになぜ出てきたの!」と強く言われたということがあった。
- ・ 患者にコロナ陽性者が出たあと、当院の看護師の配偶者の職場から妻の PCR 検査の実施、2 週間の別居を宣告された。
- ・ 病院よりタクシー乗ると「おるんやろ」と言われ、根掘り葉掘り聞かれて、嫌な思いをした。
- ・ 家族から病院がコロナを受け入れているのか問われ、受け入れるならば辞めるよう言われた職員がいる。
- ・ 家庭内での別居状態となった。
- ・ 職員がコロナ感染症に罹患したニュースが新聞に流れたあと、訪問看護を受けている職員宅に「どうされますか」と問い合わせがあった。質問に驚いたという職員もいた。患者を退院させる前に PCR を受けさせてくださいと電話で高圧的に言われた。
- ・ 訪問診療で患者さんから訪問拒否された。

12. 患者受け入れ、職員発症による風評被害

①特に、そのような被害はない	117	57.9%
②「患者」に感染者がいないにも関わらず、感染者がいると風評が流れた	34	16.8%
③「職員」に感染者がいないにもかかわらず、感染者がいると風評が流れた	9	4.5%
④感染以外の内容を関連付けた風評が流れた	3	1.5%
⑤その他、職場自体が被害的な圧力を受けた	18	8.9%
無回答	30	14.9%

N=202 複数回答可

◆近所

- ・ 3月は「コロナ患者を受け入れるな」「病院職員はバスに乗るな」などの電話が病院にかかってきました。
- ・ 入院しているかどうか確認してくる人が多かった。感染予防対策を強くすればするほど聞いてくる人は増えた。
- ・ ドライブスルー外来を検討するにあたり、設置場所に対して近隣住民より苦情が入っている。
- ・ 発熱者の診察時、ガウンやフェイスシールドを装着し、院外テントで診察。その姿を見た近隣の方が「コロナ患者」がいると早とちりした。
- ・ F37.0 度以上の職員は自宅待機の措置をしていたら（リハが4名いた）、地域からコロナの患者がでた病院と噂された。また LINE で回っていた。

◆患者

- ・ 患者さまから「感染対策の不足」について理不尽にクレームがある（怒鳴る。しつこく対応を迫られる）。無理難題な感染防止対策の要求。TEL 対応窓口担当、地域連携室に脅迫を思わせる TEL。怒鳴る。入院患者職員の陽性者の有無に関する問い合わせ。本来業務が停止する（TEL 数）。
- ・ 外来通院者に感染者が入院しているのではないかと執拗に問いただす人が多かった。
- ・ 患者の病棟を教えろ、職員の病棟を教えろと、通院患者・家族から対応を迫られた。
- ・ 感染者が7人いるという噂を聞いたと、外来患者からいわれる。
- ・ 病院には感染者がいるため病院には行かない。うつされる!!
- ・ 病院で陽性患者が一人発生。公開して対応してきたが、看護師が陽性だった。医師が陽性など噂が広がっていった。予約を辞退、Tel 受診を希望

◆医療施設

- ・ 職員に陽性者が出ると、転院の延期など転院先の病院や施設から要請され、調整が必要となった。
- ・ 妊婦である看護師が医療機関での診療を拒否された。
- ・ 近医の医師が当院から陽性者が出たため、受診しない方がいいと通院中の患者に言った。
- ・ アルバイト当直医師から→該当者なしにも関わらず他施設医師間での事実誤認のままの風評。地域で発症者が出た際に当院に関連のある患者と風評
- ・ 外来で感染者が受診したが、そのことが医師会内でコロナが発生した（入院患者に発生者がおりクラスターが発生している）との噂が流れた。

◆業者

- ・ 工事業者から当院の工事を請け負うと風評被害に繋がるという理由で、工事を拒否された。

◆配偶者・両親

- ・ 妻（看護師）が仕事を続けるなら、夫であるあなたは出勤できない。妻か夫か仕事を辞めるべきと言われた。

◆こども

- ・ 習い事を拒否された（子ども）。

◆看護師・職員

- ・ コロナ対応病棟で対応している看護師が、感染していないにもかかわらず、他にうつすのではとの言動がある。
- ・ 職員1名にPCR陽性者が出た際、他病棟から詮索を受けたり、クラスターが発生していないにもかかわらず、応援に行きたくないと直接当該病棟勤務者に発言するケースがあった。
- ・ 知人から「あなたの病院コロナ出たんだって」と言われた。
- ・ 家族の希望で職員が退職や休職をした。
- ・ 職員のコロナに対する知識に差があり、コロナ受け入れ病棟に勤務するナースへの風評が他部署よりあった。

◆その他

- ・ アルバイト医師の感染、転院患者のもと病院看護師の感染等に対「噂」があった。
- ・ 濃厚接触者が出たときに、万が一のことを考え、予防策をとったことがコロナ発生と言われた。濃厚接触者はPCR（-）であった。

13. 勤務への影響

1) 4~8月の1か月平均超過勤務時間

①1~10時間	68	33.7%
②11~20時間	8	4.0%
③21~30時間	0	0.0%
④31~40時間	0	0.0%
⑤41~50時間	0	0.0%
⑥51時間以上	4	2.0%
無回答	122	60.4%

2) 最大時間

①1~10時間	24	11.9%
②11~20時間	13	6.4%
③21~30時間	16	7.9%
④31~40時間	4	2.0%
⑤41~50時間	1	0.5%
⑥51時間以上	6	3.0%
無回答	138	68.3%

3) 最頻時間

①1~10時間	37	18.3%
②11~20時間	4	2.0%
③21~30時間	1	0.5%
④31~40時間	0	0.0%
⑤41~50時間	0	0.0%
⑥51時間以上	0	0.0%
無回答	160	79.2%

4) コロナ以前と比較して超過勤務の増減

①増えた	27	13.4%
②変わらない	125	61.9%
③減った	29	14.4%
無回答	21	10.4%

14. ボーナスへの影響

1) 全体

①前年より減った	38	18.8%
②前年と同じ	147	72.8%
③前年より増えた	12	5.9%
無回答	5	2.5%
N=202		

①の前年より減った比率

①10%以下	9	23.7%
②11%~30%	5	13.2%
③31%~50%	0	0.0%
④51%以上	0	0.0%
⑤100%	2	5.3%
無回答	22	57.9%

2) 国公立・公的病院

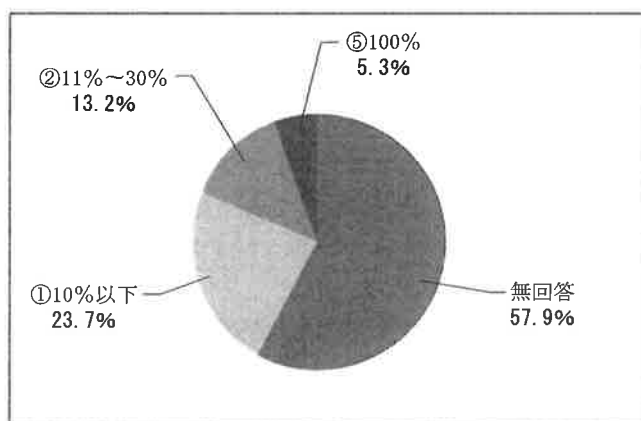
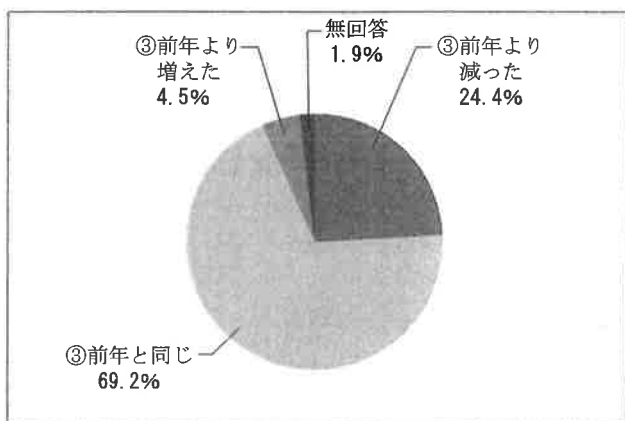
①前年より減った	0	0.0%
②前年と同じ	39	84.8%
③前年より増えた	5	10.9%
無回答	2	4.3%
N=46		

3) 民間病院

①前年より減った	38	24.4%
②前年と同じ	108	69.2%
③前年より増えた	7	4.5%
無回答	3	1.9%
N=156		

①の前年より減った比率

①10%以下	9	23.7%
②11%~30%	5	13.2%
③31%~50%	0	0.0%
④51%以上	0	0.0%
⑤100%	2	5.3%
無回答	22	57.9%



15. WEBの導入について

①以前からWeb研修を導入している	44	21.4%
②今回、Web研修を導入した	74	35.9%
③Web研修は準備中	25	12.1%
④Web研修は検討中	40	19.4%
⑤Web研修導入予定はない	21	10.2%
無回答	2	1.0%

16. 職場のWEB環境について

①整っている	38	18.8%
②整っているが看護部専用ではない	109	54.0%
③自宅からの参加を許可	18	8.9%
④整っていない	50	24.8%
無回答	1	0.5%

17. 院外研修の参加についての病院の方針

①全面禁止の指示	6	3.0%
②内容により一部参加	150	74.3%
③Web研修は参加	69	34.2%
④まったく影響はない	12	5.9%
無回答	4	2.0%

18. 新型コロナ感染拡大防止に関する職員への対応で効果的だったこと

◆看護師配置

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・夜勤配置人数の増員 ・院内リリーフ（応援） ・部署のローテーションを手上げて募った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別シフトの作成 ・育休復帰職員の復帰時期を遅らせる。 ・時間をずらしての勤務とした。夕食や夜の点滴など夜勤帯で人員が必要な時間をカバーできた。 ・感染拡大防止の当院でのルールをロードマップにして掲示、変更時に更新した。

◆環境整備

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の宿泊施設確保。希望する職員へ宿泊施設（ホテル）の提供、就業後のシャワー浴ができる環境整備、積極的に休養をとる。 ・時差出勤、公共交通機関利用者は時差出勤可、車通勤での駐車場の確保、特別シフトの作成、学童保育 ・玄関トリアージの対応での時差出勤 ・集会・宴会をしない。食事時間の分割、場所の分散（休憩室が狭いため）三密を防ぐための休憩室の利用、会議室の開放 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な働き方導入（時間：時差、時間有休）。時間外での行動範囲の制限など。会食中止など ・いつ発生しても対応ができるようマニュアルを作成し、スタッフに少しでも安心感をもってもらおう。 ・職員の行動指針となる行動チェック表を配布し周知することで、判断に迷うときの参考となった。 ・学童保育、院内保育所で小学生の受け入れ ・部署毎に更衣室、休憩室を区別した。誰がいつ使用し、誰と接触したのか明確になった。 ・疑い患者の入院対応をするスタッフには寮を開放し、生活ができるよう病院が物品を揃えた。

◆休暇

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・職員や家族で発熱があった場合、正規・非正規共に特別休暇 ・健康チェック（3月から毎日）、発熱やCovid-19症状があれば出勤せず、TEL連絡し、指示のもと受診する。 ・有症状があれば部署長を通し感染管理認定看護師が一元管理。災害休暇、自宅待機期間をスムーズに管理できた。 ・コロナ病棟勤務者の休暇促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員・家族・利用者を守るため、体調不良、発熱に関しては、周囲に遠慮せず申し出て良いこと、自宅待機など積極的に対応する。 ・家族に発熱や咳などの症状がある場合2日間の特別休暇 ・産休は希望者があれば有休消化で早めに実施 ・学校が休校中の対応として、半日休暇等の取得を積極的に行った。 ・検査実施者を管理職輪番制で実施 ・電車通勤者とは面談し、勤務変更等かけた。 ・全職員の健康状態チェックシート（検温1日3回×7日間）、現病歴、既往歴、内服薬を確認、KT37°Cで出勤停止とした。体調確認し早めに休養をとらせることができた。

◆組織体制整備

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日病院会議、コロナ対策に対応する特別な院内組織編成 ・院長から定期的に情報提供と「ありがとう」メッセージ ・保健所からの電話専用の携帯電話を準備し、行政とのやりとりも認定に一元化。病棟から入館トリアージ人員確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・対策会議を適宜開催、その内容をタイムリーに伝える。慰労の言葉を必ず添える。 ・この時期における諸問題については、できるだけ早く対応・解決することにより、職場の姿勢を示す。 ・県外への移動等、上司への報告もあり、不要な外出等の抑止に繋がったと思う。 ・発熱でコロナ疑い、家族で感染の疑い（あるいは家族でかかった）に、感染のための休みという制度を設けた（ボーナスに影響しない休みとした）。 ・帰国者接触者外来におけるドクターとナースの業務負担が大きく、他のコメディカルに協力依頼し、周辺業務を支援してもらっている。 ・電子カルテのトップページを活用した感染対策の周知

	<p>徹底、激励メッセージやプレゼントの共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連病院の感染科 Dr からの ICT に向けての研修・講義とアドバイザー契約でスタッフはかなり安心した。 ・特別シフトの作成 ・育休復帰職員の復帰時期を遅らせる。 ・時間をずらしての勤務とした。夕食や夜の点滴など夜勤帯で人員が必要な時間をカバーできた。 ・感染拡大防止の当院でのルールをロードマップにして掲示、変更時に更新した。
--	---

◆慰労金

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・手当て支給、感染者の対応にあたった職員に特別手当てを支給する。慰労の意味合いで賞与（正規）や給料（パート）に少しプラスがあった。神戸ファンドによる職員への応援金の支給 ・感染防疫手当の増額は有効だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休業補償 60%→80%→90%に展開。コロナ感染疑いも含めて特休の設置。共済で慰労金支給 ・職員へのビアパーティや忘年会などの参加ができないので、全職員へ慰労金を支給 ・帰国者・接触者外来対応者、救急外来担当、感染担当に、4月・5月に慰労金を支給してもらった（法人から）。 ・職員の慰労：職員食堂で提供する食事に、ステーキやスイーツなど、月に何回か職員が喜ぶようなメニューを提供した。

◆研修

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・CN による細やかな研修を重ねた。ICT がコロナ病棟に頻回にラウンドされてくるので、日々の感染上の相談がすぐにできた。 ・ナーシングスキルを活用し自院学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・PPE 教育の重要性を再認識し、動画教育を看護補助者も含めて実施した。 ・集合研修→資料の配付

◆PPE

国公立・公的病院	民間病院
	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員へアルコール・マスクの配布 ・サージカルマスクが臨時で支給されたとき、各職員に均等に配布し、日頃のマスク準備（各自の布マスクなど）に感謝の意を伝えた。 ・陽性患者対応のデモンストレーションを行った（外来編・病棟編）。防護具の装着・着脱の方法の練習 ・アルコール・マスクの自己購入の支援、配布 ・保護めがね、ゴーグルを看護職全員に早期に無料（病院負担 3,000 円弱）で与えたため、フェイスシールドの節約になった。

◆メンタルヘルス

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的メンタルヘルス ・コロナ拠点病院への派遣者への慰労会 ・匿名で相談できるシステム（QR コードを読み込んで行う）。管理棟廊下になんでも質問を書いて良いホワイトボード設置 ・現場の意見を聴取できる仕組み作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・癒やしグッズにメッセージを付けて配布した。シフトでできるだけ連休がとれるように配慮した。

◆その他

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ患者用入院セット（有料） ・応援支援物品の配布。弁当の支給 ・ユニフォームが毎日洗濯できるように、他の部署より枚数を増やした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エビデンスよりも風評を意識した対策とならざるを得ない。患者からは不特定多数が訪れる飲食店やスーパー、コンビニエンスストアと同等の対応を求められ、行っていないとクレームになる。効果の有無については現時点で分かりかねます。

19. 新型コロナ対応で、他の医療機関との連携の有無について

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・医師会・保健所と定期的に会議を行い、状況に合わせた対応を行っている。 ・検体のみのPCR検査の交付対応を開始した。 ・採血・レントゲン・CT等検査し、疑わしい場合に、帰国者・接触者外来のある病院を紹介 ・保健所と連携できている。第一波の際、対策について他施設へ見学に行かせていただいた。参考にすることができた。 ・関連機関よりの物品の補充、入院患者の対応への転院調整 ・組合内感染症指定医療機関への患者受け入れのため、感染患者以外の転院受け入れを積極的に行った。日々情報共有している。 ・但馬内（健康福祉事務所を含む）検査実施状況・入院状況等を毎日情報共有 ・コロナ拠点病院への看護師派遣（集中治療看護に強い看護師の派遣） ・4～5月に県立病院間での看護師の応援 ・同じ系列の病院同志では連携、ICNによる勉強会を開催、状況については日々メール等で共有している。 ・感染管理認定看護師間での情報共有。ライン・メール等で活発に連絡を取り合っていた。 ・開業医からの発熱等による紹介は積極的に受け入れた。 ・組合立病院内より看護師応援体制。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱外来、肺炎症状がある人は一旦治療後に転院。他の同じ専門施設間との情報共有を行った。 ・在宅の濃厚接触者で介護者不在の場合の受け入れ準備の開始に際して、Dr・他施設・自治体とが協議し応援し合う。 ・退院＝転院＝施設へは、必ずコロナ陰性であることが求められることが多い。外来検査でコロナ陽性の場合＝受け入れ指定病院へ転院となっている。 ・連携が上手く回っていない現状がある。 ・PCR検査を電話で院長から申込みしてもらうと、比較的スムーズに対応してもらえた。 ・各々の人脈を通して情報交換を行った。行政からの通達は非常に分かりにくい。FAXはインクや紙が大量に必要な。 ・感染管理認定看護師不在のため、連携している加算1の施設へも相談した。しかし加算1の施設は自施設のことで手一杯である。 ・他院より慢性期の患者の転院受け入れを増やした。 ・人の応援、物品は、7老健で応援態勢。それ以上応援困難であれば法人内病院にも応援要請 ・感染者が出た知り合いの病院に生の声を聞かせてもらっている ・精神科では精神症状が激しい場合、PCR検査を受けることも難しい状況が発生し、各精神科病院では現場が困っている。 ・新入院患者・職員については、抗原キットを購入し、判定後入院としたことで、受け入れ病棟の安心と関連施設（特養等）の安心がかなりとれた。 ・公立病院で精神科の新型コロナ感染受け入れ病棟が、一時的に立ち上がったため、疑いのある患者について転院等の相談を行えた。 ・感染対策連携医療機関合同カンファレンスの開催 ・CT等で疑わしい患者→保健所・対応病院へ連絡・搬送。救急隊からの事前情報で患者状態を確認している。現在は無症状者のPCR検査の検体採取を自費で実施 ・呼吸器内科がないため呼吸状態の悪化等の合併症を伴う症例を、近隣の大病院が受け入れをしていただき大変心強かった。 ・地域連携を通し連携できている。 ・発熱者や保健所から診療依頼が来た患者は、（青空）外来にて診察を行っている。 ・法人グループ内の急性期病院と連携している ・疑いの方を受け入れPCR検査を実施してもらい助かっているが当院からの距離があり時間がかかる。 ・法人内より検査技師・事務スタッフの応援 ・PCR検査を法人で協力 ・当院で検査ができるまでは他病院紹介していたが、紹介状をどこにするかが分かりにくく、公立に紹介したことで、公立病院からクレームを受けた。保健所に相談した患者から近くの病院に行くようにいわれたとの

	<p>ことで来院されたが、体制のとれていない（PCR、発熱外来設置、呼吸器医師不在）中で、患者対応に困った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染認定看護師がいないため、公的病院との情報交換を行っている。地域連携カンファレンスでの情報交換。医師会からの開業医応援 ・帰国者・接触者外来を2箇所ですべて協力して実施したが、行政検査のPCRをもう少し容易にとれる検査場があればよかった。 ・コロナ対応の病院との連携、検査実施もスピーディにいかず患者に負担をかけた。 ・PCR検査は結果が出るのに時間がかかるので、早急に結果が出せる病院に検査を依頼している。 ・8/17より唾液のPCR検査ができるようになった。 ・他機関との連携でPCR(-)の確認を求められる。 ・「安心」のために、PCR検査は当院の持ち出しで民間LSIに依頼している。全ケースが急性期からの転院ケースなので、ハイリスク患者は全てPCRが必要としている。 ・医療法人内の別の病院でPCR検査を受けるようにした。 ・当院かかりつけの発熱者を午後に時間帯をずらして個別対応している。 ・入所者の方に発熱があり感染を疑われた場合は、提携病院の発熱外来へ受診するようになっている。 ・マニュアルを参考にさせて貰ったり、情報の共有を図る機会を持った。
--	---

20. 新型コロナ対応で、管理者として労務管理・人材確保で困っていること、課題等

◆人材不足

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・帰国者・接触者外来担当は、担当看護師が5名と少ないため、勤務調整に難渋する。入院患者が入れば夜勤者を1名増員するため、日勤者が少なくなる。勤務が組めないこともある。 ・もともと看護スタッフの人材不足が慢性的である中で、スタッフに感染者があった場合に、病棟・病院の患者対応の人員確保ができない。 ・コロナ以前に人手不足であり、夜勤時間72h超えないようにしている。病院全体で対応するようNsの不足を会議で説明し協力を得ている。 ・人員が途中で退職（コロナ以外）で、先々人員不足のところで感染者が出ると厳しい。中途採用を募集をかけても人が来ない。 ・地域蔓延した場合、当院での入院受け入れは人材確保の点についても難しい。 ・濃厚接触者、2Wの自宅待機のため、自宅待機が多数になると病棟閉鎖しかないが、2病棟しかないため、救急患者さんの受け入れに支障を来す。 ・モノ・カネの資源不足をヒト（特に看護師）でカバーしている。現場の士気を上げるべきミドルマネージャーも外来対応に追われ、心身共に疲弊。職員に休暇を取らせたいが、リリーフ体制で夏休消化がやっとである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の高齢化で定年退職を迎える人が多く、持病もあるため無理させられない（70歳以上も複数名在職中）。 ・様式9上では反映されないコロナ対策の人員にとっても苦勞している。人員不足といっても事務方には伝わらない。 ・コロナ対応で人員を増やすことはできず（患者数に波があり、少ないときもあるため）日々業務調整に苦勞している。 ・外来Nsの配置を2グループに分けた対応をしているため、必要人数が不足する日もある。家庭の都合等により休みを希望されても、その希望に添うことができない。 ・子どもが登校拒否により仕事を継続することが困難となったケースもあり人材不足 ・例年と比較して中途採用者が少ない。 ・陽性の受け入れはしていないが、疑わしい患者の受け入れに病棟間の軋轢があり、人員確保もままならない中で、非常にチームワークに乱れが生じ困った。 ・職員に休みが出た際の看護基準の維持にかなり困った。求職者が減っている。 ・病院玄関で入館者チェックを実施しているが、担当をほとんどが看護部が担っており、毎日1～2人人員が

<p>る。柔軟に診療体制を変えることに対応するのに精一杯。グループホームのクラスター発生に対し、無症状の高齢認知症患者の対応は限界があるということ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑似症患者を病棟で対応（特定の病棟）させているが、不満があり課長達の心労増大。受け入れる病床数を少なくし、スタッフを配置している（慢性的な人材不足）。 ・施設入り口での発熱者トリアージ（患者・家族・業者・その他等）、面会者対応など、看護職に関わらず対応する職員確保が課題 ・人材確保：実労働者は確保されないまま欠員が続く。産休代替も業者ではなく、ナースセンターでの支援を強化してもらいたい。 ・コロナ病床を確保するため、他の病棟の負担が増加し、看護量格差が大きい。コロナ対応している病棟看護師は感染防止の観点から専従としており、他の応援には行けないため、余計に一般病棟の負担が増大している。 	<p>マイナスとなっている。病院全体でといいながらしわ寄せが来ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライン電話やリモートでの面会を検討しているが、その対応に人員を絞り出す余裕がない。他部門の協力を検討中 ・保育園、学童保育が毎日受け入れ困難時、人員確保ができなかった。
---	--

◆派遣要請

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ拠点病院への派遣要請があったときのスタッフの選出と人材確保 	

◆退職

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・3～5月は看護補助者の退職が続いた（コロナ理由）。 ・「コロナ患者を看るくらいなら退職して帰って来い」という家族もあり、年度末に退職希望者が増加するのではないかと推測される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナに関連した退職者が3名（看護師2名、助手1名）。理由は外来で接触者外来を担うことへの不安や、通勤での感染リスクへの不安等であった。それ以外にも退職があり ・退職希望で自分（看護師）が新型コロナに罹患したときの誹謗中傷や子どもへの影響（偏見・差別等）を考えるとこの仕事を辞めたくなる。新型コロナが落ち着く、収束するまで休職（退職）してほしいと家族に言われる。 ・世間の感染症を取り扱う看護や医療病院に対する偏見があることで、コロナ取り扱わずとも看護師を辞めさせるような感覚があること。

◆新人対応

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・家族が病院勤めを心配して、4月採用を延ばしてほしいと要望あり、こちら側からコロナを受け入れていない病院であることを説明し、6月から勤務してもらった。 ・新卒は県外出身者が多く、実家に県をまたいで移動できない。インフォーマルな形での会食ができず、直ちに仲間作りができない。このような状況でどう支援するか課題 ・陽性者がいることが報道され、次年度入職応募者が2倍から1.5倍に低下。コロナの影響あり今後対策必要。県外内定者の辞退も多い。 ・新人教育：看護学生の実習時間が減少し、リモート授業で体力も低下している。次年度以降の新規採用者が「1」の配属としてカウントされると、新人も指導者も患者にも負担がかかる。卒後教育の期間は人員配置か 	<ul style="list-style-type: none"> ・“うつ病”の診断を受けて、休職となっているものが新人NsやエルダーNsクラスにも存在している。 ・新入職希望があったが、家族に病院勤務に反対され断念されたケースがあった。 ・新卒ナースの育成、GWや交流会が行えず、メンタルで、これだけが原因ではないが二人休業に入っている。 ・次年度県外から採用予定だった人が辞退してきた。

ら外してもらような対応をお願いしたい。	
---------------------	--

◆業務負担が増えた

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・荷物の受け渡しを看護補助者や看護師が行っており、雑務が増えた。他職種は玄関熱当番などに担当が当てられ、協力が得られない。 ・病室の清掃が負担。退院後は看護師1名がガウン等PPE着用。1時間くらいかかる。業者清掃が安全にできる工夫はないか。 ・感染防止として行う対策（例：トリアージ、患者相談、体制整備等）全てにおいて看護部の業務が拡大し、マンパワー不足からスタッフの疲弊感が強くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外労働の増加 ・感染対策担当者の超過勤務

◆コロナ病棟への看護師配置

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・感染病棟への勤務配置の公平性・平等性が難しい（行きたくない思いを持つスタッフへのアプローチ）。 ・ギリギリの人員で運営しているため、部署の師長たちがスタッフを出せない状況がある。感染のリスク回避と有効な人材活用のため、できるだけ少ない人数、少ない訪室回数に向けての業務整理を行った。 ・感染症病棟を担当する看護師の確保。平等性と感染拡大（院内感染防止）の観点のバランスが難しい。いつ発症するか分からないという危機管理から、人材管理（人の確保の仕組み）が必要 ・専用病棟への配属、交代要員を配置するための人員確保はとても難しい。専用病棟で働きたくない職員をこれからどう向き合わせるか悩むところである。 ・コロナ対応のための人員配置をどのように継続していくか。冬期に向けた接触者外来の人員配置 ・常勤でないNsはPPE装着し発熱対応することを拒否するものもいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・院外へ（公立病院）へ出務に行くが、もしそこで感染したらどうするのか？と出務されるナースより聞かれた。そこで感染というリスクはほぼ無いと判断したが…。どうだったのか？ ・コロナ受け入れ病棟に配属するナースの人選、長期戦を見越し、人材育成を考えたコロナ受け入れ病棟のローテーション ・救急をできるだけ受け入れる体制となった。準備の中で同意書を取り、意向調査を実施した。できれば避けたいと言われたNsもあり、気持ち的には仕方ないと思う反面、残念な気持ちもあった。同意書はとった方が良いのか考えさせられた。

◆スタッフへの配慮

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦だけでなく、乳児や要介護者を支えるスタッフへの配慮（感染病床における） 	

◆感染管理認定看護師がいない

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・感染認定Nsがいない。大卒のところは連携先や専門医に相談できるが、日々細かいちょっとしたアドバイスを受けにくい。 ・ICNの育成が課題である。兵庫県でも感染管理認定看護師教育課程を是非とも復活させてほしい。ICN不在の病院の看護師を優先して入学させてほしい。ICNがいれば当院でも陽性患者受け入れ等、前向きに検討したい。 ・今回感染管理認定看護師の活躍は大きく、業務はできるだけ一極集中しないように心がけた。専門家としてリードできる人材は2名以上が必要 	

◆防護具不足

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・防護具（タイベックフル装備）、N95 マスクの在庫が不足している。請求しても納品がない。オゾンでの再利用を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所・外来の制限等で減収となり、施設の設備・物品の補充（計画済みであったもの）が困難になった。目処も立っていない。 ・感染対策に必要な物品が不足。少々高いものでも購入しなければならない。財政的圧迫につながり、今後の見通しもつかないのが一番の悩みである。

◆感染対策

国公立・公的病院	民間病院
	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策教育が不十分であり、対応が統一されていないため、マニュアルの整備が必要 ・発熱外来を設置していないが、病院機能の特徴から発熱者の来院が多く、その判断が誤っている可能性もゼロではない。 ・コロナ感染疑い、インフルエンザ疑いの患者さんが検査及び待機していただく場所や対応（拡大が不明なため） ・精神科のため感染に対し熟知したものがいるわけでもなく、認定看護師もいない中で、情報を得ながらマニュアル化していくことが課題。 ・パート看護職員が一致団結してコロナ対応に向き合おうとしない。私たちはパートだから…。 ・グレー患者対応の部屋と対応人員確保、感染病棟とグレー患者対応エリア ・慢性期病院なので、スタッフの感染リスクも低いのですが、過剰反応をするスタッフの対応に困っています。「必要以上に恐れる」

◆不安・メンタル支援

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・研修を重ねたり環境を整えているが、新型コロナウイルス感染に対する業務への不安は払拭できていない。 ・スタッフのメンタル支援について、妊婦・妊娠可能者・50歳以上の看護師への配慮（コロナ対応から外す） 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のストレスフルな状況は持続しており、メンタルヘルスケアに配慮しなければいけない。 ・心身共に職員への労いが大切 ・スタッフのモチベーションを維持させるのが難しい（終わりが見えない戦い）。 ・自粛への協力要請を職員に行っており、ストレスが発散できず、うつ症状を呈する職員もあり、早期に変化に気付き対応していく必要があるが…。試行錯誤している。

◆待遇への影響

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・経営への影響が大きい。冬のボーナスに影響が出ると予想 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営状況が給与に反映されるため、スタッフのモチベーションが上がらない。 ・外来・入院患者の減少により、上半期の赤字のため、冬の賞与に支障が生じる。 ・収益が激減する中で危険手当等の配慮 ・コロナにより経営が厳しくなり、大きく事業方針が変更され、人員整理も行われた。今を何とか乗り切り病院を復活させるため努力の毎日である。

◆発生時のシミュレーション

国公立・公的病院	民間病院
	<ul style="list-style-type: none"> ・当院でコロナ感染症が患者・スタッフから発生した場合、初期対応について ICC 委員会、師長会等で検討している。 ・今後職員・患者から陽性者が出た場合、濃厚接触者が休んだ場合の人員の確保。まだまだ新型コロナ対応が整っていないところでの連絡方法（患者・家族・職員） ・クラスター発生時の対応（マニュアルの改訂と訓練実施）

◆Web 導入

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・ビニール袋エプロンの作成や研修について、Web が導入されたのは良いことだと思う。今後も Web 研修を増やしていくべきだ。 	

◆労務管理

国公立・公的病院	民間病院
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ疑いや濃厚接触者で仕事を休んでもらう場合の休みの取り扱いや、給与についての取り決めがないこと。 ・疑い患者の対応と隔離対応で、Ns を日勤・夜勤各 1 名をシフト上出すことが困難で、時間外対応者を募るのに困ることが多い。PCR 検査結果に時間がかかるのでシフト調整も厳しいことがある。

◆その他

国公立・公的病院	民間病院
<ul style="list-style-type: none"> ・2 波は初めからホテルへ移動がスムーズであった。10 日ルールにより、PCR の結果を待たなくて退院できる。患者さんの回転が早かった。早い患者さんは 2~3 日で退院 ・私生活での自粛を厳しく促しています。そのことでの影響がどのような形で出るのか心配です（結婚式への参加、旅行、会食、研修会・学会参加、県をまたぐ帰省など）。 ・感染病棟となった病棟課長・スタッフのメンタルヘルス。危険手当等の対応。感染病棟として使用しているため一般用ベッドが不足。 ・医局・事務部・コメディカル等、院内部門間での職員同士の人間関係が悪くなっている。 ・看護の質の維持：感染対応が優先され、患者との接触は最小限となり、確実に業務量は減った。Ns の力量が低下しているように感じる。以前の業務量に戻ったときに、対応できるか否か不安である。患者退院後の病室清掃、リネンの一次消毒等、委託業者ができず、病棟 Ns がやっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な通院が必要な慢性疾患患者。がんの手術。不妊治療のフォローの患者が COVID19 を理由に治療を中止したり、手術を延期したりを希望する。きわめて不利益 ・行動制限を引き続き促しているが、そろそろ限界のようで、「旅行に行きたい」「温泉に行きたい」などの声が出始めている。 ・発熱者をコロナ陽性かどうかの結果が分かるまで入院治療しているため、コロナ対象とはならない病院にカウントされる。実際何名かはコロナ陽性で専門病院に転院してもらったが、疑いの患者が毎日 2~3 名は入院している状況である。コロナの指定されている病院や職員のみしか評価されていない気持ちになってしまう（助成金に差があるため）。 ・PCR 検査を保健所に提出しているため 2~3 日かかる（結果判明までに）。土・日は対応してくれないため、金曜日の夕方採取だと火曜日の午後にはしか結果が出ない。 ・受け入れ開始は管理者からスタートする予定だが、スタッフに移行する際に、担当者選抜に課題がある（教育等含め）。 ・病院での面会制限があり退院前カンファレンスなど十分にできず退院となることがある。書面での情報共有となってしまう。

令和2年度業務執行理事会 協議・報告事項

1. 構成員:理事10名、事務局1名
2. 開催回数:3回
3. 開催状況

	日時	主な協議事項・報告事項	出席者数	
			理事	事務局
1	令和2年 7月28日 10:00～11:00 (Web 併用)	1 兵庫県看護協会活動のあり方検討について 2 政府・県・市・予算編成要望の提出について 3 地域医療総合確保基金に係る事業提案について 4 令和3年度定時総会・職能集会について 日時:令和3年6月17日(木) 場所:神戸ポートピアホテル 5 コロナ禍における看護協会事業の進め方について	8	1
2	令和2年 10月29日 17:00～18:30 (Web 併用)	1 令和2年度重点事業評価・令和3年度重点事業(案)について 2 令和3年度職能集会・定時総会プログラムについて 3 兵庫県看護協会活動あり方検討会について 4 新型コロナウイルス感染に関する緊急調査結果(全体)	9	1
3	令和3年 1月19日 16:00～18:00 (Web 併用)	1 令和3年度職能集会・定時総会について 2 オンライン(WEB)研修システムの導入について 3 配信研修について 4 看護補助者獲得について 5 今後の会議予定について	8	1

令和2年度理事会 協議・報告事項

1. 構成員:理事20名、監事3名
2. 開催回数:10回(内1回は臨時開催)
3. 開催状況

	日時	主な協議事項・報告事項		出席者数	
				理事	監事
1	令和2年 4月22日 (書面会議)	<協議事項>	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和2年度定時総会の運営方法等の変更及び職能集会の中止について 2 令和2年度定時総会における書面による議決権行使について 3 令和2年度兵庫県看護協会会長感謝状贈呈者の変更について 	20	3
2	令和2年 5月25日 (書面会議)	<協議事項> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和2年度定時総会の運営について 2 令和2年度兵庫県看護協会事業計画等の取扱いについて 3 令和元年度決算報告(案)及び監査報告 4 令和2年度各委員会の委員の選任について 5 令和2年度支部代表補佐の選任について 6 委員会規則等の改正について 7 委員会規則等の改正について 8 公印管理規程の制定及び処務規程の改正について <報告事項> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和元年度事業部事業報告 2 令和元年度ナースセンター実績報告 	20	3	
3	令和2年 6月18日 16:00~16:15	<協議事項> <ol style="list-style-type: none"> 1 役員の役職選定の件について 2 専務理事代行者の順序決定の件について <報告事項> <ol style="list-style-type: none"> 1 専務理事及び常務理事の担当業務決定について 	20	3	
4	令和2年 7月4日 10:00~12:00	<協議事項> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度 政府・兵庫県・神戸市予算編成に対する最重点要望事項について 2 令和2年度委員会委員の選任について(最終) 3 令和2年度支部代表補佐の選任について 4 選挙管理委員会規則の改正について <報告事項> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本看護協会の総会の結果等について 2 令和2年度定時総会 改選役員選挙開票結果 3 令和2年度理事・支部・委員会合同会議について 4 インターネット配信研修について 5 令和2年度第1回施設代表者会ならびに施設代表者会等研修会について 6 令和2年度兵庫県看護大会について 	20	2	
臨時	令和2年 8月6日 12:15~13:40 (Web 併用)	<協議事項> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度認知症看護認定看護師教育課程特定行為研修を組み込んでいる教育課程:B課程 開講について 2 「受講料等に関する規程」の改正について 3 兵庫県看護協会会長感謝状贈呈について <報告事項> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本看護協会理事会報告 2 県・市・政府予算編成要望の提出について 3 兵庫県看護協会活動のあり方検討について 4 令和3年度定時総会・職能集会について 5 新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた本会の対応について 	19	1	
5	令和2年 9月12日 10:00~12:00 (Web 併用)	<協議事項> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度本会代議員及び予備代議員選出人数(案)について 2 旅費規程の改正について <報告事項> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和3年度改選役員、推薦委員及び選挙管理委員候補者の推薦について 2 令和2年度地域別看護職員ネットワークづくり事業について 3 第7回ナース川柳“ひょうご”の募集について 4 令和2年度における会館修繕工事等の実施について 5 令和2年度看護大会について 	19	3	

	日時	主な協議事項・報告事項		出席者数	
				理事	監事
6	令和2年 11月7日 10:00～12:30 (Web 併用)	<協議事項> <報告事項>	1 令和2年度重点方策・事業報告及び令和3年度重点方策・事業(案)について 2 支部代表補佐の選任について 3 委員会委員の選任について 1 出石訪問看護ステーション居宅介護支援事業の取扱いについて 2 近畿地区職能委員長会(WEB)報告 3 COVID-19にかかる看護協会の取組み報告 4 令和2年度教育研修事業中間評価、教育実施状況 5 令和2年度ナースセンター事業上半期報告 6 「県の法人検査の結果通知に対する報告」 7 次年度事業計画検討会議(12/5)について	19	2
7	令和2年 12月5日 10:00～12:20 (Web 併用)	<協議事項> <報告事項>	1 令和3年度定時総会・職能集会等について 2 オンライン(WEB)研修システムの導入について 3 令和3年度教育研修事業(案)について 4 令和3年度代議員・予備代議員選出人数について(県外会員の取扱い) 1 日本看護協会理事会報告 2 令和2年度上半期予算執行状況監査結果について 3 令和3年度日本看護協会会長表彰候補者の推薦について 4 看護実践研究会報告 5 県立大学・神戸商工会議所等との連携事業について 6 令和3年度兵庫県予算編成に対する重点要望	19	2
8	令和3年 1月23日 10:00～12:30 (Web 併用)	<協議事項> <報告事項>	1 令和3年度支部活動計画について 2 令和3年度委員会活動計画について 3 2022年(令和4年)度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出(案)について 4 令和3年度定時総会議長団候補者の選出について 1 令和2年度(2月開催)支部委員会について 2 令和2年度施設代表者会について 3 オンライン(WEB)研修システムの導入について 4 会館内ネットワークの更改計画について 5 令和元年度看護職員の確保状況等に関する実態調査報告書(病院・施設)	20	3
9	令和3年 3月4日 10:00～11:50 (Web 併用)	<協議事項> <報告事項>	1 兵庫県看護協会令和3年度事業計画(案)について 2 兵庫県看護協会令和3年度予算(案)について 3 兵庫県看護協会令和2年度補正予算(案)について 4 2022(令和4)年度日本看護協会代議員・予備代議員の理事会推薦(案)について 5 兵庫県看護協会「まちの保健室」ボランティア表彰候補者(案)の推薦について 1 令和3年度改選役員候補者の推薦について(追加) 2 2月支部委員会報告 3 オンライン研修システム導入の進捗状況について 4 地域別看護職員ネットワーク事業報告 5 令和3年度定時総会議長団について 6 選挙管理委員の退任について 7 令和3年度会議行事日程	19	3
10	令和3年 3月20日 10:00～11:50 (Web 併用)	<協議事項>	1 令和2年度重点方策及び重点事業報告 2 令和2年度支部活動報告 3 令和2年度委員会活動報告 4 令和3年度支部代表補佐の選任(案)について 5 令和3年度定時総会における書面による議決権行使について 6 令和3年度定時総会における役員等の選出にかかる選挙管理委員会規則の特例の制定について 7 兵庫県看護協会名誉会員候補者の推薦(案)について	19	3

	日時	主な協議事項・報告事項		出席者数	
				理事	監事
10	令和3年 3月20日 10:00～11:50 (Web 併用)	<協議事項> 8 兵庫県看護協会会長表彰候補者の推薦(案)について 9 兵庫県看護協会会長感謝候補者の推薦(案)について <報告事項> 1 令和3年度定時総会議長団 2 令和2年度教育・認定部報告 3 令和3年度看護の日記念事業 4 訪問看護総合支援センター 5 新規採用者に対する看護協会オリエンテーション資料について(お知らせとお願い) 6 新オンライン研修システム導入について(お知らせとお願い) 7 令和3年度役員賠償責任保険の取扱いについて 8 第7回ナース川柳”ひょうご”の選考結果について 9 第10回神戸マラソンについて	19	3	

令和2年度 各委員会活動報告

令和2年度 委員会	
職能委員会	保健師職能委員会
	助産師職能委員会
	看護師職能Ⅰ委員会
	看護師職能Ⅱ委員会
} 職能集会資料 参照	
委員会	選挙管理委員会
	推薦委員会
	教育企画委員会
	看護実践研究会企画委員会
	倫理審査委員会
	医療安全委員会
	ナースセンター運営委員会
	ヘルシーワークプレイス推進委員会
	災害・健康危機対策委員会
	まちの保健室委員会
	地域ケア・地域看護推進委員会
	広報委員会

令和 2 年度 選挙管理委員会 活動報告

<p>■委員名</p>	<p>委員長：石原英子（奥山拓矢（令和 2 年 12 月まで）） 副委員長：柳靖子 委員：陰山美穂子・加藤京子・谷口由美子・辻埜恭子・井田純子・田中奈津子</p>
<p>■開催回数</p>	<p>5 回</p>
<p>■活動目標</p>	<p>定款並びに細則、選挙管理委員会規則に従い、本会の役員、推薦委員及び選挙管理委員、本会代議員及び予備代議員並びに日本看護協会代議員及び予備代議員の候補者の選挙を公正に行う。</p>
<p>■活動内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護ひょうご秋号（令和 2 年 10 月発行）に令和 3 年度改選役員、推薦委員及び選挙管理委員（以下「役員等」という。）並びに本会代議員及び予備代議員（以下「本会代議員等」という。）への立候補について公示を行った。 2. 推薦委員会から提出された令和 3 年度本会代議員等の名簿について確認した。 3. 令和 3 年 2 月に開催する支部会員会の日程等を確認し、各支部担当者を決定した。 4. 支部会員会において、本会代議員等の選挙を管理し、投票結果を支部会員会議長に報告するとともに、看護ひょうご春号（令和 3 年 4 月発行）で会員に向けて当選者を公示した。 5. 推薦委員会より提出された令和 3 年度役員等並びに 2022（令和 4）年度日本看護協会代議員及び予備代議員（以下「日看協代議員等」という。）の候補者名簿を受理し、看護ひょうご春号（令和 3 年 4 月発行）に掲載する議案を確認した。 6. 令和 3 年度定時総会における役割について確認した。 <p>〔予定〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. 定時総会において、令和 3 年度役員等及び 2022（令和 4）年度日看協代議員等の選挙を管理するとともに、投票結果を総会議長に報告する。また、当選者については、看護ひょうご夏号（令和 3 年 7 月発行）で会員に向けて当選者の公示を行う。
<p>■活動の評価</p>	<p>定款等の規定に従い、計画どおり任務を遂行することができた。</p>
<p>■今後の課題</p>	<p>令和 4 年度の定時総会に向け、引き続き適正に任務を遂行していく。</p>

令和 2 年度 推薦委員会 活動報告

<p>■委員名</p>	<p>委員長：坂本広子 副委員長：北川純子 委員：山川加世子・森山佐代子・宮原里枝・亀井由香里・松浦克美・中張さゆり・松下尚美</p>
<p>■開催回数</p>	<p>年 5 回</p>
<p>■活動目標</p>	<p>定款並びに細則、役員等の推薦及び推薦委員会規則に従い、本会の役員、推薦委員及び選挙管理委員、本会代議員及び予備代議員並びに日本看護協会代議員及び予備代議員の候補者の推薦を公正に行う。</p>
<p>■活動内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和 3 年度に改選となる役員の職名並びに推薦委員及び選挙管理委員、本会代議員及び予備代議員（以下「本会代議員等」という。）の改選数について確認するとともに、地区理事に候補者の推薦を依頼した。 2. 看護ひょうご秋号（令和 2 年 10 月発行）に令和 3 年度改選役員、推薦委員及び選挙管理委員（以下「役員等」という。）並びに本会代議員等の選出のための公示を行った。 3. 令和 3 年度本会代議員等選出名簿、役員等の候補者を確認した。 4. 2022（令和 4）年度日本看護協会代議員及び予備代議員（以下「日看協代議員等」という。）の人数を確認するとともに、地区理事に候補者の推薦を依頼した。 5. 2022（令和 4）年度日看協代議員等の候補者を確認した。 6. 令和 3 年度役員等候補者の確定にあたり、候補者本人に承諾書を送付し、期日までの返送の依頼をした。また、公示のために、候補者としての抱負についても提出の依頼をした。 7. 確定した令和 3 年度役員等候補者について、その抱負とともに、看護ひょうご春号（令和 3 年 4 月発行）に掲載し、会員へ通知した。 8. 確定した令和 3 年度役員等並びに本会代議員等及び 2022（令和 4）年度日看協代議員等候補者名簿を選挙管理委員会へ提出した。 9. 令和 3 年度定時総会における役割について確認した。
<p>■活動の評価</p>	<p>定款等の規定に従い、計画どおり任務を遂行することができた。</p>
<p>■今後の課題</p>	<p>令和 4 年度の総会に向け、引き続き適正に任務を遂行していく。</p>

令和 2 年度 教育企画委員会 活動報告

<p>■委員名</p>	<p>委員長：矢吹浩子 副委員長：向井美千代 委員：日野千奈美・芝崎閑・丸岡洋子・鈴間由里子・松田絵利子・北野貞・長崎麻子</p>
<p>■開催回数</p>	<p>4回</p>
<p>■活動目標</p>	<p>1. 資質向上につながる教育研修計画立案のために、現場および会員の視点で協議を行う。 2. 教育研修の実施状況を確認し、教育計画を評価する。</p>
<p>■活動内容</p>	<p>1. 資質向上につながる教育研修計画立案のために、現場および会員の視点で協議を行う。</p> <p>1) 教育計画に対する会員・現場のニーズを見出すため、大学・公的病院・民間病院・介護施設・行政等それぞれの立場から意見交換を行った。</p> <p>(1) e-mail を活用して意見を収集した後、Web も利用した会議で意見を集約した。 (2) 会員施設対象アンケート調査の具体的な内容とスケジュールを計画した。 (3) 調査は日本看護協会クリニカルラダー各 1 名ずつと教育担当者の 5 名/施設とし、それぞれ、「開催されれば参加したい」研修項目を選択することとした。</p> <p>2) 教育認定部が立案した教育研修計画の素案が、会員・現場のニーズに沿っているかを検討した。</p> <p>(1) 1) - (1) で検討。テーマで参加意欲につながる工夫が必要ではないかという意見が多数あった。ニーズに関しては 1) - (3) の調査結果を分析することとしている。</p> <p>2. 教育研修の実施状況を確認し、教育計画を評価する。</p> <p>1) 教育認定部からの報告により教育研修の実施状況を把握し、教育研修計画の評価を行い、次年度への課題を抽出した。</p> <p>(1) 今年度はこれまで新型コロナウイルス感染症対策のため、中止、延期、オンライン研修に変更した研修が多く、オンライン研修のメリット・デメリットなどの議論をした。1-1) - (2) で、ハイブリッド研修にした場合に会場参加と web 参加のどちらを希望するかを問うことにした。</p>
<p>■活動の評価</p>	<p>e-mail で事前に議題関連の情報を集めておくことにより、現在までスムーズに進行できている。</p>
<p>■今後の課題</p>	<p>コロナ禍に対応した研修の方法を検討する必要がある。</p>

令和2年度 看護実践企画委員会 活動報告

<p>■委員名</p>	<p>委員長：平野通子 副委員長：石井俊行 委員：奥村和代・片山恵・崎濱富美・田川由香・永富宏明・鷺田幸一・北野貞</p>
<p>■開催回数</p>	<p>6回</p>
<p>■活動目標</p>	<p>県内の参加者・発表者のニーズをアセスメントして企画し、参加者数の維持・増加を目指す。</p>
<p>■活動内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度の看護実践研究会の企画検討 <ul style="list-style-type: none"> ・演題および一般参加者募集要項について検討 ・演題および一般参加者の再募集について検討 ・看護実践セミナーの検討（テーマ、講師、内容） ・当日のプログラム、運営スケジュールの検討 ・新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から看護実践研究会の運営方法の検討 ・応募演題の査読及び採否決定： 27題（8題は辞退）を査読し、19題を採択。 ・集録集の内容、構成について検討 2. 令和2年度看護実践研究会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・日程：令和2年11月21日 ・参加者：一般参加者83名（3密を避けるため150名募集とし、95名応募があった。） 委員9名、職員15名 ・発表演題数：実践報告12題（口演のみ） 研究報告7題（口演のみ） ・教育講演「臨床現場での実践をどのように研究につなげるか」山本則子 氏 リモートによる講演 3. 令和3年度看護実践研究会の企画検討 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年11月20日 開催予定 ・メインテーマ「新たな看護の創造」（予定）
<p>■活動の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和2年度看護実践研究会の企画検討 <ol style="list-style-type: none"> 1) 参加者・発表者のニーズに沿う企画を行うことができた。 2) 演題登録者に対し、査読者が丁寧なフィードバックを行った。 3) 会議数が少ない中で効率的、効果的に会議を運営し、タイミングよく課題解決及び意思決定をしていくことができた。 2. 令和2年度看護実践研究会の開催 <ol style="list-style-type: none"> 1) コロナ禍での参加人数や開催方法の評価 2) 参加者アンケートの評価 3) 教育講演の評価 4) 口演発表の評価 5) 全体の運営の評価

<p>■今後の課題</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 次年度も参加者・発表者のニーズをアセスメントして企画し、参加者数の維持・増加を目指す。2. 査読プロセスもこれまでの方針を踏襲し教育的に関わっていく。3. 研究会当日に活発な議論が促進されるよう企画運営していく。4. コロナ禍でもできる看護実践研究会の企画運営を模索していく。
---------------	--

令和2年度 倫理審査委員会 活動報告

<p>■委員名</p>	<p>委員長：北野貞 副委員長：長崎麻子 委員：鈴木みゆき・梅田節子・花岡澄代・中筋美子・柳修平・武藤教志（11月6日まで）・吉田こずえ（11月7日より）</p>
<p>■開催回数</p>	<p>1回</p>
<p>■活動目標</p>	<p>本会会員が所属する機関に倫理審査委員会等がないために、申請がある場合及び本会の事業目的を達成するために、各委員会より申請のあった調査研究の倫理審査を行う。</p>
<p>■活動内容</p>	<p>1. 倫理審査申請件数：1件 6月19日に申請のあった調査・研究計画書1件について、兵庫県看護協会倫理審査基準に基づき、8月11日に審査を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、各委員からのメールによる書面審査とした。倫理審査委員会規程第4条第4項の「委員の3分の2の合意」を適用し、結果は「条件付き承認」であった。申請者より、修正後の調査・研究計画書が提出され、9月25日に再審査し、結果「承認」とした。</p> <p>2. 委員会開催：1回 第1回委員会は8月11日（メールによる書面審査を実施）。第2回・第3回委員会は申請なしのため、休会とした。</p> <p>3. その他 委員の武藤教志氏が一身上の都合により、任期途中で辞任。後任は、吉田こずえ氏に決まった（11月7日の理事会にて承認）。</p>
<p>■活動の評価</p>	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のためメールによる書面審査を実施した。委員会規則に則り書面審査の段階で合意が認められた。これまで、慣例のように委員が本会に集合し、審査結果は協議の上で合意に導いていたが、事例によっては、メールによる書面審査の段階で合意のもと審査結果が得られるとの確信が持てた。</p>
<p>■今後の課題</p>	<p>委員会規則に則った上で、メールによる書面審査の活用やリモート会議開催など、より合理的に委員会を運営していく。</p>

令和2年度 医療安全委員会 活動報告

■委員名	<p>委員長：中村美津</p> <p>副委員長：西川博子</p> <p>委員：吉田八重・藤原豊美・水流啓子・庄司勝子・森下藍子・井奥雅子・足立記代子・北野貞・長崎麻子</p>
■開催回数	6回
■活動目標	兵庫県内の医療の質の向上と安全を推進し、医療安全管理者の支援をおこなう。
■活動内容	<p>1. 支部との連携の強化</p> <p>1)年間テーマを決め、支部と年間活動の目標を共有する。</p> <p>2)各支部の活動の共有と支援</p> <p>→本委員会と支部との医療安全の連携を行うために各支部の医療安全担当者が委員に選出された。委員の11名中6名が交代となり本委員会の活動の意義を共有する事に会議の時間を費やした。また、コロナ禍の影響で各支部の研修企画などが中止となり各支部での活動の共有ができていない。</p> <p>2. 医療安全推進の啓発</p> <p>1)小規模、クリニック、介護施設への安全推進の支援</p> <p>(1)出前医療安全講座のテーマをホームページや「看護ひょうご」などに掲載 今年度は「KYT」を研修のテーマとする</p> <p>(2)出前講座の資料作成を行い、誰が担当しても実施が可能とする</p> <p>→昨年本委員会で作成した資料「KYT」を各委員が活用し、意見交換を行った。資料の活用について、兵庫県の医療安全管理者の誰もが使用できるようにするなど案も出たが、これに関しては時期尚早となり、KYT資料の運用を決め本委員が活用できるものになるよう話を進めている。</p> <p>2)医療安全推進者の人材育成</p> <p>(1)医療安全研修の企画提案と研修開催時の協力</p> <p>(2)委員会が企画提案し、教育・認定部が実施する研修への運営協力</p> <p>→コロナ禍の影響でオンラインと集合とのハイブリッド方式となり、会場参加者も少数であったことや、感染防止対策の一環で演習も最小限とされたため、委員会への協力依頼がなかった。</p> <p>3)ホームページ(HP)の効果的な活用</p> <p>(1)各支部が開催予定をしている医療安全の研修会、および交流会を集約して掲載</p> <p>(2)(1)と研修申し込みとをリンクさせ、参加申し込みをやすくする。</p> <p>(3)各支部や病院等での取り組み内容を掲載し、安全情報を発信する。</p> <p>→(1)各支部の研修会などを集約して掲載できている。しかし、(2)の申し込み</p>

	<p>方法がわかりづらいのでホームページのレイアウトの修正をおこなった。(3)はコロナ禍の影響で各支部の活動ができていない。コロナ禍に対する医療安全の発信、各部署の取り組みを発信していくか今後協議していく。</p> <p>4) 研修会評価の見える化</p> <p>(1)本部と全支部で共有したアンケートを使用し、医療安全の研修に参加された状況を把握する。</p> <p>(2)支部医療安全研修の参加と評価をホームページに掲載する。</p> <p>→共通のアンケートは作成できているが、研修が開催されていないため評価も掲載もできていない。支部で使用できなかったら各施設で使用し評価するなどを検討する。</p>
<p>■活動の評価</p>	<p>1. 医療安全のホームページより、研修の申し込みがしやすいように修正を行った。</p> <p>2. コロナ禍の影響で活動が計画的にできていない。研修など活動が再開可能となった時に共通の認識で本委員が活動できるよう調整していく。</p>
<p>■今後の課題</p>	<p>兵庫県内の医療安全管理者が支援できるよう「KYT」資料の活用と他の資料の作成が必要なのかなど検討整理していく。</p> <p>また、今年度はコロナ禍により面会の制限などによる同意書の問題等表面化していなかった課題が出てきているため、今後情報を共有し、相談窓口などを検討していく。</p>

令和2年度 ナースセンター運営委員会 活動報告

■委員名	委員長：足立育子 副委員長：洪愛子 委員：平山ミツヨ・菰野朱美・太田圭子・山本陽子・村上直美・奥村眞司・鈴木克司・西博司・須田保之・大迫しのぶ・中野奈保子																												
■開催回数	6回																												
■活動目標	1. ナースセンター事業の活動を推進し効果的な広報を行う。 2. 求人・求職登録の拡大とマッチングに繋ぐ復職支援を行う。 3. プラチナナースの復職支援の強化																												
■活動内容	1. 復職活動を支援し再就職に繋ぐことができる 1) 看護職の再就職に関する研修と合同就職説明会の実施 (1) 圏域別看護職合同就職説明会の実施 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>神戸本所第1</th> <th>神戸本所第2</th> <th>北播地域</th> <th>阪神南</th> <th>西播地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施日</td> <td>令和2年 9月5日</td> <td>令和3年 3月6日</td> <td>令和2年 9月6日</td> <td>令和3年 3月13日</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">令和3年 1月17日 中止</td> </tr> <tr> <td>求人施設数</td> <td style="text-align: center;">41</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> <tr> <td>求職者数</td> <td style="text-align: center;">89 既卒47 学生42</td> <td style="text-align: center;">37 既卒26 学生11</td> <td style="text-align: center;">19 既卒9 学生8 他2</td> <td style="text-align: center;">101 既卒16 学生81 他4</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td style="text-align: center;">Web 併用</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">2部入替制</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・新型コロナウイルス感染症の影響で病院・施設見学が中止された為、学生の参加が多かった。</p> (2) 再就職支援に関する教育研修の実施 5日間コース：令和2年9月1日～7日（定員30名を15名に変更） 参加者15名（修了者14名） 1日コース：7月21日、28日、8月25日、10月20日、11月17日、12月15日 総参加数 77名 (3) 看護基礎技術研修 ①本所：基礎技術研修：参加者174名 BLS研修：参加者102名 ②姫路支所：採血・注射技術研修参加者41名 BLS研修参加者16名 ③サテライト北播：参加者20名		神戸本所第1	神戸本所第2	北播地域	阪神南	西播地域	実施日	令和2年 9月5日	令和3年 3月6日	令和2年 9月6日	令和3年 3月13日	令和3年 1月17日 中止	求人施設数	41	32	12	24	求職者数	89 既卒47 学生42	37 既卒26 学生11	19 既卒9 学生8 他2	101 既卒16 学生81 他4	備考	Web 併用			2部入替制	
	神戸本所第1	神戸本所第2	北播地域	阪神南	西播地域																								
実施日	令和2年 9月5日	令和3年 3月6日	令和2年 9月6日	令和3年 3月13日	令和3年 1月17日 中止																								
求人施設数	41	32	12	24																									
求職者数	89 既卒47 学生42	37 既卒26 学生11	19 既卒9 学生8 他2	101 既卒16 学生81 他4																									
備考	Web 併用			2部入替制																									
	2. ナースセンター事業の広報活動 1) 看護職の就業及び定着に関する事項 (1) なんでも相談やメンタル相談の実施 なんでも相談4,280件 メンタルヘルス相談60件（新型コロナウイルス感染症関連の相談対応で、件数が増加した。）																												

(2) 無料就業斡旋や登録推進

- ① ナースバンク事業実績 (2月末平均) 求人件数 605件 求職者数 505人
(2月末総数) 採用者数 420人
- ② 求人広告に掲載されている医療機関への求人登録案内
- ③ 「とどけるん」届出者への求職登録案内
- ④ 看護協会会員への定期発送時、届出制度及びeナースセンターのチラシ同封
- ⑤ 施設訪問の実施 11月から開始
- ⑥ 合同就職説明会の案内発送

2) 地域包括ケアシステムに向けた支援

- (1) 施設訪問 11月から実施。eナースセンター登録推進と求職者とのマッチングに繋がる情報提供、届出制度説明と依頼
- (2) 訪問看護 eラーニング受講・実習への支援 受講者 47名 実習者 15名
進捗管理のための連絡メールや電話を行い、修了できるよう支援した。
- (3) プラチナナースへの情報提供と復職支援
 - ・プラチナナース研修 参加者 10名 (年齢 50～70歳台)
研修会テーマ「ずっとずっと大好きな看護を続けよう」
開催日：令和2年9月8日
講師：西宮敬愛会病院 看護部長 岡光幸代氏、プラチナナース 合志美千代氏
 - ・施設訪問 21件 ・ナース川柳ひょうご優秀賞の受賞者(プラチナナース)を訪問

3. 看護の普及支援

1) 進学説明会

(1) 進路担当教員へ県内高等学校指導者説明会

開催日：令和2年6月26日 参加校 21、参加教員 22名

看護師の体験談に加え、新規に看護系大学・看護学校教員による説明

(2) 進学説明会 中高生や社会人入学希望者対象

開催日：令和2年8月23日

新型コロナウイルス感染症拡大期のため集合研修から①②③の選択制とした。

①ZOOMによる説明会

②学校ホームページの閲覧

③学校案内等資料配布

(看護系大学・看護専門学校の県内入試情報一覧を作成し参加者に配布した)

2) 出張講義 看護専門学校 7校 (うちWeb3校)

3) ふれあい看護体験 実施施設 6施設で参加者 28名

(コロナ禍で中止・参加者ゼロの施設が 100施設あった)

4) 看護フェア 令和2年11月14日「健康相談会 in まちの保健室」開催 参加者 15名
(兵庫県健康福祉部少子高齢局「令和2年度福祉・介護啓発促進事業」として開催)

4. ハローワークとの連携に関する事項

1) 7所在地での巡回相談と再就業支援

2) 令和元年度看護職員需要・離職調査実施 調査期間：令和2年5月25日～7月10日
対象施設：1,601施設 (有効回答：看護職Ⅰ分野 316施設、看護職Ⅱ分野 730施設)

	<p>結果：看護師職能Ⅰ分野の総退職率は昨年より上昇した。看護師職能Ⅱ分野は介護老人福祉施設が昨年より上昇した。採用方法は自施設のホームページ・ハローワーク・仲介業者が多かった。</p> <p>5. その他、委員会の目的達成するために必要な事項の検討</p> <p>1) 看護学生対象の協会訪問実施（看護協会・ナースセンターの活動紹介）：1校実施校で記載</p>
<p>■活動の評価</p>	<p>1. 求職者登録は昨年度より増加し求人側は減少した。新型コロナウイルス感染症の影響で、診療体制縮小や新規雇用控えの影響が考えられる。求職者登録は、新型コロナウイルス感染症関連復職案内の効果と考える。研修会は、定員を減らしたり Web で開催、施設訪問は11月開始となった。</p> <p>2. 届出数年度推移で、減少傾向にある。退職者本人は元より、施設の事務長や看護部長へ代行入力を協力依頼する必要がある。協会未入会で退職されれば潜在看護師として把握することは困難となる。</p> <p>3. 進学説明会として県内高等学校指導者説明会を行い、卒後2年目ナースからの体験談に加え看護系大学・看護専門学校の教員による説明を実施したことは効果的であった。</p>
<p>■今後の課題</p>	<p>・届出制度強化・プラチナナース推進活動や研修実施・看護職Ⅱ分野のeナースセンター登録推進。</p>

令和2年度 ヘルシーワークプレイス推進委員会 活動報告

■委員名	<p>委員長：井上眞由美</p> <p>副委員長：宮原明美</p> <p>委員：阿波栄子・池澤加代子・尾崎淳子・肥塚喜子・竹内悦子・鳥海晃司・橋本弘子・馬場敦子・濱田啓子・前田志眞子・村上直美・大迫しのぶ・中野奈保子</p>
■開催回数	6回
■活動目標	<p>1. ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営を行う。</p> <p>2. その他、委員会の目的達成に必要な事項を検討する。</p>
■活動内容	<p>1. ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営を行う。</p> <p>1) 施設のヘルシーワークプレイスの現状についての情報収集</p> <p>・平成30年度看護職員需要・離職調査報告書により、県内の施設のヘルシーワークプレイスの状況について情報収集を実施した。</p> <p>2) 勤務環境改善推進に取り組む施設の支援</p> <p>(1) 令和2年度医療従事者のインデックス調査の助成及び支援</p> <p>WLBに継続して取り組んでいる5施設に対して、兵庫県看護協会から医療従事者のWLBインデックス調査の助成があり、令和3年1月に調査を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症への対応で医療現場が疲弊している現状から、今年度の実施は見送った。</p> <p>(2) ヘルシーワークプレイス推進研修を開催</p> <p>2019年度医療従事者のWLBインデックス調査を実施した2施設のWLB推進の取り組みに関する発表と併せてレジリエンスを高める講演をWebで開催した。</p> <p>テーマ：「今こそお互いを尊重し協力しあおう～コロナに負けないひょうごの看護職の底力～」</p> <p>日時：令和3年3月6日 14:30～16:30</p> <p>対象者：看護管理者及び看護職、他（会員・非会員）</p> <p>発表施設：神戸徳洲会病院、医療法人川崎病院</p> <p>講演テーマ：「レジリエンスを高めて元気になろう！」</p> <p>講師：ひょうご仕事と生活センター外部相談員、有限会社OFFICE HARMO 喜田菜穂子氏</p> <p>参加者：65名</p> <p>3) 関係機関との連携を実施</p> <p>兵庫県看護協会ナースセンター、兵庫県看護協会各支部の他、本委員会の外部委員を通じて、兵庫県健康福祉部健康局医務課、兵庫県労働局雇用・環境・均等部指導課、兵庫県社会保険労務士会、ひょうご仕事と生活センター等、兵庫県内の関係機関と連携し、様々な観点からの情報交換及び議論を踏まえて活動を実施した。</p>

活動の評価	<p>1. ヘルシーワークプレイスの推進と実現のための企画・運営を行う。</p> <p>1) 県内の施設のヘルシーワークプレイスの現状を知るための情報収集の手段として、既存のデータである平成30年度看護職員需要・離職調査報告書を利用したが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響が大きいことを考慮し、併せて各支部委員の施設の状況を聞き取り情報収集した。施設によっても問題は多様であり、どの部分に焦点をあてていくかは今後の課題である。</p> <p>2) 勤務環境改善推進に取り組む施設の支援</p> <p>(1) 医療従事者のインデックス調査の助成及び支援については、3年間は継続して実施する予定である。今年度については新型コロナウイルス感染症への対応で医療現場が疲弊している現状から、時期として適切ではないと判断し実施は見送ったが、今後も新型コロナウイルス感染症の影響は続くものとする。調査内容の検討も含め、施設にとって適切な時期に実施を計画したいと考える。</p> <p>(2) 2019年度医療従事者のWLBインデックス調査を実施した2施設について、勤務環境改善に関する報告会をヘルシーワークプレイス推進研修と併せて開催した。客観的データの評価に基づいてWLB推進に取り組んだ報告は他施設のWLB推進の参考になる内容であった。今回未報告の1施設については、報告の機会を設定していく予定である。また、インデックス調査に関連した施設への支援が、どのような影響を与えたかを調査・分析することで、今後よりよい支援が可能になると考える。</p> <p>(3) コロナ禍にあっても、互いを尊重し支え合ってヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を実現していこうとする活力を得ることができることを目的にレジリエンスを高める研修を実施した。Web研修とし65人が参加し、受講者からは「参加してよかった」、「新たな気づきがあった」との高評価が得られ、時期に適切した内容であった。</p> <p>3) 関係機関との連携を実施</p> <p>(1) ヘルシーワークプレイス推進研修では、ひょうご仕事と生活センターの支援を受け、外部相談員である講師を紹介・派遣していただいた。</p> <p>(2) 当委員会構成員は兵庫県内の関係機関から構成されており、様々な観点からの勤務環境改善及びヘルシーワークプレイス推進に関する情報や意見を得ることができている。</p>
■今後の課題	<p>・2019年度看護職員需要・離職調査報告から、委員会としてヘルシーワークプレイス推進のための企画を見出す。</p>

令和2年度 災害・健康危機対策委員会 活動報告

<p>■委員名</p>	<p>委員長：西口久代 副委員長：雑賀逸平 委員：池田輝美・松本ゆかり・深井功一郎・山本聡子・前川啓子・松田豊・中谷裕美・中永映子・神崎初美・中道一義・並河直子・富田由子</p>																				
<p>■活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域における連携支援体制について検討 2. 災害発生に備えた体制強化、知識・技術の普及啓発 3. 災害支援ナースの登録推進・育成研修 4. 地域の防災訓練への参加。地域住民への減災教育、防災力強化の取り組み 5. 新型インフルエンザ等感染症の研修会の開催 																				
<p>■開催予定</p>	<p>6回 *委員会の他、災害支援ナース養成研修や新型インフルエンザ等研修会の企画・運営、防災訓練等への参加</p>																				
<p>■活動内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会の開催 災害・健康危機発生時の看護活動体制整備や受援・派遣のあり方等について協議。「災害時受援マニュアル策定ガイド」を実行可能なものに見直し、会員施設に周知を図る。 2. 災害支援ナース養成研修・災害支援ナース対象研修の企画・運営 災害支援ナースの養成研修・登録更新を見直したことにより、災害支援ナースの登録が増加した。フォローアップ研修、交流会を通じて、活動へのモチベーションの維持向上につながった。 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">災害支援ナース（基礎編）</td> <td style="padding-right: 10px;">7月27/28日</td> <td style="padding-right: 10px;">29名</td> <td style="padding-right: 10px;">7月29/30日</td> <td style="padding-right: 10px;">51名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10月8/9日</td> <td>17名</td> <td>10月13/14日</td> <td>26名</td> </tr> <tr> <td>災害支援ナース（実践編）</td> <td>8月20日</td> <td>51名</td> <td>11月17日+</td> <td>40名</td> </tr> <tr> <td>災害支援ナース研修・交流会</td> <td colspan="4">11月26日+3名</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">災害支援ナース登録者数 129施設 325名（令和2年10月現在） 288名（昨年同期）</p> 3. 受援・支援活動の強化推進を目的として、体制整備の推進、研修企画、啓発活動を実施するとともに災害拠点病院等との連携協働体制の強化を図った。 4. 看護協会ホームページ等への災害看護や防災についての情報提供 実際の災害支援活動や災害訓練について看護協会のホームページを効果的に活用し、積極的に周知した。 5. 地区の防災訓練、災害対策会議等への参加 兵庫県・阪神地域合同防災訓練に災害支援ナース7名と共に参加。地区で開催される予定であった防災訓練は感染症拡大により中止となった。 兵庫県の災害対策会議、感染症対策会議等に出席。 	災害支援ナース（基礎編）	7月27/28日	29名	7月29/30日	51名		10月8/9日	17名	10月13/14日	26名	災害支援ナース（実践編）	8月20日	51名	11月17日+	40名	災害支援ナース研修・交流会	11月26日+3名			
災害支援ナース（基礎編）	7月27/28日	29名	7月29/30日	51名																	
	10月8/9日	17名	10月13/14日	26名																	
災害支援ナース（実践編）	8月20日	51名	11月17日+	40名																	
災害支援ナース研修・交流会	11月26日+3名																				

	<p>6. 新型コロナウイルス感染症（新型インフルエンザ等感染症）研修会の企画、運営 新型コロナウイルス感染症をテーマとして、研修会を開催。感染拡大防止策を として Web 参加も可能としたところ多数の出席があり、効果的な研修ができた。 10月29日 参加者（会場参加 65名 Web 参加 256名）</p>
<p>■活動の評価</p>	<p>コロナ禍においても、感染防止対策を徹底し、災害支援ナース養成研修を実施した。 応募者も多く、1期を2回に分けるなど工夫して予定していた研修を実施することが できた。</p> <p>看護管理者を通じて登録更新状況を確認するように変更したことで、災害支援ナース の管理が容易になり、施設内の災害対策への意識の高まり、災害支援ナースの活動 意欲向上にもつながったと思われる。</p> <p>災害時受援マニュアル策定ガイドを作成。各施設での取組強化の支援となった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症研修会を WEB で開催し、多くの施設が職場研修として複 数人が受講するなど効果的な研修会が開催できた。</p>
<p>■活動の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康危機関連規程集の見直し ・感染症対策の充実強化

令和2年度 まちの保健室委員会 活動報告

<p>■ 委員名</p>	<p>委員長：是川こはる 副委員長：大久保雅子 委員：矢持恵美・泊菊子・山口みゆき・谷口久美・岩村充恵・ 大原由子・橋本あゆみ・中前日里・西中いずみ・大迫しのぶ・富田由子</p>
<p>■開催回数</p>	<p>11回（2回～11回はWeb会議）</p>
<p>■活動目標</p>	<p>1. 県民の視野に立ち、日常に基づいた「まちの保健室」活動を継続する。 2. 地域課題の多様化に伴い支部ごとに特徴的な活動を創出し、受診奨励・健康寿命の延長を図る。</p>
<p>■活動内容</p>	<p>1. 県民の視点に立ち、日常に基づいた「まちの保健室」活動を継続する。 1) 新型コロナウイルス感染症の影響により3月からほとんど活動はできなかった。阪神北、阪神南(リモートでの子育て相談)、神戸中部、神戸西部、但馬支部において活動され、35回の活動があった。出前隊活動回数は11回。 2) 「まちの保健室」研修会 令和3年2月27日 参加者45名 テーマ： コロナ禍のまちの保健室活動の在り方を考える ① 講演 テーマ：看護専門職によるオンラインコミュニティづくり ～ウィズコロナ時代の地域支援～ 講師：林知里 氏 兵庫県立大学 地域ケア開発研究所 教授 ② グループワーク 会場とWebで実施 ・with コロナ「まちの保健室」の在り方について語り合おう ・コロナ禍での苦労話、今後の活動の在り方など 2. 地域課題の多様化に伴い、支部ごとに特徴的な活動を創造し、受診奨励・健康寿命の延長を図る。 新型コロナウイルス感染症の影響により活動できているところは3支部/9支部中の活動のみ 神戸西部 神戸市看護大学 「物忘れ看護相談」「心と身体の看護相談」 予約制で実施 (5～10名の参加) 阪神南 オンラインでの子育て相談 但馬 認定こども園、保育園での手洗いチェックや夏に多い感染症の講演 なお、新型コロナウイルス感染症患者が8月に発生あり、以後の活動は中止となる。</p>
<p>■活動の評価</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、対面での健康相談が躊躇される状況となり活動も制限された。リモートや時間制限、予約制をとって活動できているところもあるが、来場者が高齢者、不特定多数であり、3密の状況となるため活動を今年度1年中止している支部もあった。今後、コロナ禍での活動の在り方を考える上で、令和2年度に実施した「まちの保健室」委員会の研修会は有意義な意見が得られたため、これらを踏まえて今後の活動を検討したい。</p>
<p>■今後の課題</p>	<p>コロナ禍でまちの保健室活動の活動を after コロナに継続でき、感染対策を講じた上での活動の在り方を構築する。</p>

令和2年度 地域ケア・地域看護推進委員会 活動報告

■委員名	<p>委員長：大迫しのぶ</p> <p>副委員長：久山かおる</p> <p>委員：小川かおり・濱田智子・住田博美・茨木ゆかり・笹山留美・菅原かおり・森本敦子・永良直子・上野由美・藤原恵美子</p>
■開催回数	4回
■活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各支部における看看連携の現状を把握する。 2. 看看連携の課題を明らかにする。 3. 看看連携における共通の課題と好事例を共有し、各支部の連携システムの見直しや改善につなげる。
■活動内容	<p>本委員会における看看連携の定義と目的について検討し、次のように定義した。</p> <p>看看連携：対象者の生活を支えるため、看護職同士がつながりあい、そのことが組織的に行われること。</p> <p>目的：支部における看看連携を充実させ、地域包括ケアシステムをさらに推進する。</p> <p>今年度は、支部と委員の連携により、地域で活動している看看連携におけるネットワークの情報を収集し、その情報からネットワークの現状と課題を整理した。各委員が支部と協力し、情報収集を継続している。情報収集により、一部の看看連携のネットワークだけでなく、多職種から成るネットワークも明らかにできた。</p>
■活動の評価	<p>まず、「看看連携」の定義と目的を整理し、活動の方向性を定めることができた。次に、各支部で活動している看看連携と多職種連携のネットワークを、各委員が支部と連携してリストアップし、現状の把握と課題を整理できた。</p>
■今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・看看連携のネットワークと多職種から成るネットワークを分けて整理する。 ・看看連携のネットワークについて県内のさまざまな場所で勤務する看護職に周知する。 ・COVID-19による制約下における支部と委員会との情報収集や情報共有等の連携を行う。

令和2年度 広報委員会 活動報告

<p>■委員名</p>	<p>委員長：西口久代 副委員長：大迫しのぶ 委員：森田康子・石田貴美子・生田美苗・三崎修子・山口真依・福原智昭・八尾雅子・西田珠貴・木谷 恵・吹田匡子・古川さと</p>
<p>■開催回数</p>	<p>7回</p>
<p>■活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護協会活動に幅広い理解を得るとともに、看護職・県民に対して広く情報提供を行うなど会員サービスの一層の向上を図り、重点方策である組織力強化を推進するために効果的な広報を実施する。 2. 新規入職者の入会につなげるとともに、キャリア支援、離職防止に向け、新入会員研修を開催する。 3. 会員等からの意見を聴取し活動に活かす。
<p>■活動内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 協会活動、特に重点事業を効果的に広報する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 「看護ひょうご」(年4回発行 発行部数 約33,000部/回) 通年掲載している活動・行事報告の他、新型コロナウイルス感染症の最新情報や現場での対策などの取り組みについての特集を記事に取り上げ、コロナ禍において感染対策を工夫しながら開催した総会、看護大会、研修会等今年度ならではの情報を掲載、表紙にも工夫を凝らした。 2) 「協会ガイド」(年1回 3月発行 50,000部) 経費削減の観点から発行を2年に1回とし、昨年度作成したガイドをリニューアルした。会員入会時に配布する他、大学、専門学校、高校等への出前事業で活用。 3) 県民向け広報紙「ささえ」 「ACP」をテーマに作成。新型コロナウイルス感染症によりまちの保健室、看護の日記念行事、看護大会等県民を対象とした行事が中止、規模縮小となり、配布の機会が減少した。 4) ホームページやSNSを活用し、各事業や最新情報の発信に努めるとともに、ホームページの活用(見直し)により会員サービスの向上を図った。 5) 「ナース川柳“ひょうご”」の充実を図り、今年度は感染症対策にも触れ、看護職に送るエール等についても募集対象とした。 応募者数 690名 (前回 635名) 応募作品 1,124句 (前回 1,113句) 2. 新規入職者の入会促進、離職防止を図るため、毎年開催している「新入会員研修」については新型コロナウイルス感染症拡大状況により、今年度は中止とした。

<p>■活動の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護ひょうごでコロナ特集号を発行し、医療機関、保健所、訪問看護ステーション、介護施設などでの看護職の活動状況について掲載にした。表紙についても看護職にメールを送る県民のメッセージをデザインするなど工夫。参考になったという意見があった。 2. 協会ガイド、県民向け「ささえ」については、コロナ禍で配布の機会が減ったが、できる限り有効な活用となるよう工夫した。 3. 新卒看護師の離職率低下に向けた新入会員研修については感染症拡大防止により中止とした。新規入会者の入会率が低下傾向にあることから、強化していく必要がある。
<p>■今後の課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護ひょうごの見直し 2. ホームページの充実 3. 新卒看護師離職防止対策の強化

令和2年度 教育認定部事業報告 認定教育課程

項 目	内 容																																																		
I 教育目的	<p>【ファーストレベル】 ・看護専門職として必要な管理に関する基本的な知識・技術・態度を習得する。</p> <p>【セカンドレベル】 ・看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。</p> <p>【サードレベル】 ・多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。</p>																																																		
II 開催期間	<p>【ファーストレベル】 ・I期：令和2年5月25日～6月17日（中止）・II期：令和2年6月25日～8月7日（延期） ・II期：令和2年9月24日～10月30日 *週末コース 総時間数 105時間 ・III期：令和2年12月1日～12月24日 総時間数 105時間 ・IV期：令和3年1月13日～2月5日 総時間数 105時間</p> <p>【セカンドレベル】 ・令和2年8月19日～10月2日 総時間数 180時間</p> <p>【サードレベル】 ・令和2年10月14日～11月27日 総時間数 180時間</p>																																																		
III 受講者の概要	<p>【ファーストレベル】 I期受講決定者 59名 ⇒ III期へ 30名 IV期へ 27名 2名キャンセル</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>定員</th> <th>応募者数</th> <th>受講決定者数</th> <th>受講者数</th> <th>修了者数</th> <th>次年度変更</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>II期</td> <td>55名</td> <td>41名</td> <td>40名</td> <td>39名</td> <td>38名 未修了：1</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>III期</td> <td>60名</td> <td>54名</td> <td>I期合格：30名 III期合格：30名</td> <td>59名 辞退：1</td> <td>60名 II期未修了：1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>IV期</td> <td>60名</td> <td>36名</td> <td>I期合格：27名 IV期合格：33名</td> <td>59名 辞退：1</td> <td>59名</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>・受講者の属性 平均年齢：44.6歳 管理経験年数：II期13年、III期・IV期4年 職位：師長職31%・主任職61% 所属施設：II期⇒病院以外2名（訪問看護ステーション1名、介護保険施設・社会福祉施設1名）、III期・IV期⇒病院100%</p> <p>【セカンドレベル】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>定員</th> <th>応募者数</th> <th>受講決定者数</th> <th>受講者数</th> <th>修了者数</th> <th>次年度変更</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55名</td> <td>54名</td> <td>53名</td> <td>36名</td> <td>35名 未修了：1</td> <td>17名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・受講者の属性 平均年齢：49.3歳、実務経験年数平均25年9ヶ月、管理職経験年数：10年9ヶ月、職位：看護師長33名(92%)、看護副部長1名、主任1名 所属施設：病院35名(300床以下39%)、訪問看護ステーション1名</p> <p>【サードレベル】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>定員</th> <th>応募者数</th> <th>受講決定者数</th> <th>受講者数</th> <th>修了者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30名</td> <td>28名</td> <td>25名</td> <td>25名</td> <td>25名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・受講者の属性 平均年齢：52.8歳、実務経験年数：30年4ヶ月、管理職経験年数：17年3ヶ月、職位：看護部長1名、看護副部長22名、看護師長2名 所属施設：病院100%(300床以下施設48%)</p>		定員	応募者数	受講決定者数	受講者数	修了者数	次年度変更	II期	55名	41名	40名	39名	38名 未修了：1	1名	III期	60名	54名	I期合格：30名 III期合格：30名	59名 辞退：1	60名 II期未修了：1	0	IV期	60名	36名	I期合格：27名 IV期合格：33名	59名 辞退：1	59名	0	定員	応募者数	受講決定者数	受講者数	修了者数	次年度変更	55名	54名	53名	36名	35名 未修了：1	17名	定員	応募者数	受講決定者数	受講者数	修了者数	30名	28名	25名	25名	25名
	定員	応募者数	受講決定者数	受講者数	修了者数	次年度変更																																													
II期	55名	41名	40名	39名	38名 未修了：1	1名																																													
III期	60名	54名	I期合格：30名 III期合格：30名	59名 辞退：1	60名 II期未修了：1	0																																													
IV期	60名	36名	I期合格：27名 IV期合格：33名	59名 辞退：1	59名	0																																													
定員	応募者数	受講決定者数	受講者数	修了者数	次年度変更																																														
55名	54名	53名	36名	35名 未修了：1	17名																																														
定員	応募者数	受講決定者数	受講者数	修了者数																																															
30名	28名	25名	25名	25名																																															

【ファーストレベル】

新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた5月のファーストⅠ期を中止、6月のⅡ期は9月に延期、Ⅳ期を1月に新設して、年間3課程を実施した。中止したⅠ期の受講決定者は、Ⅲ期とⅣ期の選択制とした。7月中盤から「拡大期」となり、リモート導入を決定した。9月開催のⅡ期は、全日程集合研修で実施することができたが、12月開催のⅢ期と1月開催のⅣ期は、リモート主体の授業を実施した。閉講時アンケートの「教育目的の達成」は「達成、やや達成」が92～100%であった。「現場への活用」は「大いにそう思う、ややそう思う」が3課程とも100%であった。「研修満足度」は「多いに満足、やや満足」が97～100%であった。リモート主体研修にあっても、ほぼ遜色ない授業だったことが示された。Ⅱ期受講者の中には自施設でクラスターが発生し、Ⅲ期で補習分を履修した者がでた。その他、科目レポート再審査となった受講者が3名おり、終了までメンタルケアを要した。

【セカンドレベル】

8月のセカンド開催が初めてのリモートでの開講となった。リモート授業に際して多くの業務が発生した。①知識・技術・対応力の新規獲得、②講師・受講者との連絡調整、③感染状況の変化に応じた運営、④全面サポートによる時間的制約などであった。環境が整わない受講者には協会参加を許可し、ハイブリッドで運営した。昨年度から開始した「実習」は、新型コロナウイルス感染症拡大で施設の受け入れ困難が推測されたが、幸いにも33施設で承諾が得られた。しかし、コロナ禍の実習で多少制限があったことが影響したのか、リフレクションでは取り組み課題につながる発言が少なかった。閉講時アンケートの「教育目的の達成」では「達成、やや達成」が93%、「研修の満足度」は「満足、やや満足」が100%であった。「予想以上にたくさんのお話を学ぶことができた」「他施設の管理者との交流は、見聞を広げる機会となった」「コロナの状況でWeb研修と集合研修と臨機応変に対応してもらいありがたかった」などの声があった。その他、近親者の葬儀出席のため、出席要件が満たなかったため、次年度履修する者がでた。

【サードレベル】

10月のサード開催時は、新型コロナウイルス感染症の状況がやや改善した時期であったが、リモート授業と集合と混在した状況で運営した。また、新カリキュラム基準での初のサード研修開催であった。「統合演習」(45時間)は30時間増加した。「政策提言」では、入講前に基調講義を実施、演習では事前課題レポートの共有と発表を行った。講義との整合性を図り、演習支援者のサポートや受講者間の議論などを経て、政策立案への理解が深まっていった。「実習」は、21施設で受け入れ承諾が得られた。実習翌日のリフレクションの演習と発表をでは受講者間の活発な意見交換と質疑応答の様子から、多くの学びを共有できたことが推測できた。閉講時アンケートの「研修目的の達成」は「達成、やや達成」が91%、「研修満足度」は「満足、やや満足」が95%であった。感染状況とリモート導入開催が影響して連絡調整が行き届かず、研修運営に対する厳しい意見もあった。一方で「充実した研修だった」「リモートがうまくできてよかった」「とても楽しかった。いい仲間づくりができた」「コロナ禍において、運営を継続していただき感謝している」などの声もあった。

令和2年度 教育認定部事業報告 認知症看護認定看護師教育課程

認知症看護認定看護師教育課程（B課程）設置準備概要

1. 研修の教育理念、目的、目標の設定
特定行為研修の基本理念、日本看護協会資格制度の目的と役割、本会の教育理念を基盤として設定
2. 研修スケジュールの作成
 - 1) 先行実施している教育機関から情報収集
 - 2) 計画的に学習できる進捗表の作成
 - 3) 効果的に学習できるeラーニング教材の選定
3. 協力施設の確保
 - 1) 受講者20名に対する施設の開拓と訪問
 - 2) 特定行為研修の説明と受講者数の交渉
4. 特定行為区分の講師の選定と依頼
 - 1) 各行為区分に精通している医師の選定と依頼
 - 2) 演習支援者となる医師と特定行為研修を修了している看護師の選定と依頼
5. 特定行為研修管理委員会の設置
 - 1) 外部委員となる医師の選定と依頼
 - 2) 外部委員を訪問し、研修の目的等を説明
6. 受講の啓発（ホームページの活用）と受講者募集に関する資料を県内の施設に郵送
7. 受講者の審査・選定
 - 1) 入講審査委員会設置
 - 2) 令和3年12月26・27日科目審査、小論文、面接審査を実施、20名の合格者を決定
8. 指定研修機関の申請：令和2年5月申請、8月指定
9. 認定看護師教育機関B課程への移行申請：令和2年8月申請、11月認定

令和2年度 教育認定部事業報告 教育研修

項目	内容									
I 概要	*実施状況									
		開催研修							中止 研修	
		研修数 (再掲: 追加企画)	定員	応募 者数	受講 決定 者数	受講 者数	アンケート結果 (肯定的回答者率)			
							ねら い 達成	内容 理解		今後へ の活用
本会	85 (16)	4604	4505	3978	3001	98%	99%	98%	36	
受信 会場	36	810	301	296	261	99%	100%	100%	22	
計	121	5414	4806	4274	3262				76	
	※上段：本会開催研修 下段：インターネット配信受信会場研修									
	<p>年間計画として105研修を企画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を考慮し、36研修を中止した。9月以降は、感染防止対策の徹底とリモート講義の導入等により中止しない方針としたが、申込者数が少なく効果的な研修運営が難しい、講師が所属施設の方針で来館できずリモート講義は適さないという判断等により中止した研修もあった。</p> <p>その一方で、福祉施設等を対象とした感染対策研修、コロナ禍における新人看護師育成に関する研修、中止となった研修の代替研修など、年間計画になかった16研修を追加企画、実施した。</p> <p>申込状況は、定員を満了したのは19研修(約22%)と、昨年(26%)を下回った。感染防止対策として定員を縮小したため、実際の減少率はさらに大きい。1月以降は、研修内容によって、オンライン受講を導入した。これにより、新たに募集した研修では、多数の申込があり、それまで多発していた研修当日の欠席も減少した。</p> <p>インターネット配信研修は、受信会場において、延べ58研修を開催予定であった。しかし、配信元である本会での開催中止、受信会場の1か所が「外来者受入れ不可」となった等により、12研修が開催できなかった。受講者数も、1会場平均7.3名であり、昨年度(10名)より減少した。</p>									
II 評価と次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ・研修受講者に対し「研修のねらいが達成できたか」「内容が理解できたか」「現場に活用できるか」について調査した結果は、いずれも100%に近かった。 ・研修開催には感染対策を徹底し、それを評価する意見が多かったが、グループワークには不安の声もあり、次年度はこの意見の背景を踏まえた対応を考える。 ・研修申込者、受講者減少の原因がコロナ禍にあることは否めないが、例年、受講希望者が多い研修では、定員を大幅に上回る申込を受けている。研修企画内容の検討も必要である。 ・オンライン研修については、「十分な学びができるのか」という現場からの意見、また手続き上や運営上の課題も多い。しかし、コロナ禍においては有意義であるため、より学びが深まる方法を検討する。 ・本年度で4年目となるインターネット配信研修は、次第に順調に運営できるようになったが、次年度から本格導入するオンライン研修と目的が重複することから、今年度末で一旦休止する。 ・次年度から導入するオンライン研修システムの円滑な運用に向けた手順を整備し操作を習熟する。より多くの会員、県内看護職に利用いただけるよう周知につとめる。 									

令和2年度 教育研修実施状況（分類1～4）

研修名欄；【配】インターネット配信対象研修 ・ 申込者数欄；「網掛け」定員超過

分類	No.	研修名	定員	申込者数	受講者数	ねらいの達成	内容の理解	今後の活用
分類1 「生活と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育」	101	【配】実践エビデンスに基づいた手術看護	60	17	15	100%	100%	100%
		*受信会場 開催1・中止1	20	1	1	100%	100%	100%
	102	【配】QOL向上を目指したリハビリテーション看護	60	26	20	100%	95%	95%
		*受信会場 開催2	40	8	4	100%	100%	100%
	103	【配】病棟ナースが知っておきたい在宅療養の実際	60	65	58	100%	100%	98%
		*受信会場 開催3・中止1	60	46	44	100%	100%	100%
	104	【配】スタッフナースが取り組む退院支援(延期)	60	85	45	100%	100%	100%
		*受信会場 開催3・中止1	60	46	44	100%	100%	100%
	105	退院支援実務者研修【中止】	80					
	106	知っておきたい認知症看護1)認知症の病態と治療【中止】	60					
	107	知っておきたい認知症看護2)老年看護の基礎的知識【中止】	60					
	108	知っておきたい認知症看護3)アセスメントの視点	60	53	43	98%	100%	100%
	109	知っておきたい認知症看護4)アセスメントに基づくケア	60	49	41	97%	97%	97%
	110	知っておきたい認知症看護5)コミュニケーションと生活療養環境づくり	60	43	31	100%	100%	100%
	111	【配】高齢者施設における看護（感染管理）	50	22	20	100%	100%	100%
		*受信会場 開催4	80	20	19	100%	100%	100%
	112	【配】高齢者施設における看護（認知症）	50	14	10	100%	100%	100%
		*受信会場 開催2・中止3	40	17	15	100%	100%	100%
	113	【配】高齢者施設における看護（摂食嚥下障害）	50	23	13	100%	100%	100%
		*受信会場 開催4	80	20	20	100%	100%	100%
	114	【配】高齢者施設における看護（スキンケア）	50	19	11	100%	100%	100%
		*受信会場 開催3	60	21	15	100%	100%	100%
	115	人生の最終段階の意思決定支援～最善の医療とケアのために～①②	130	129	110	98%	99%	96%
	116							
	117	ELNEC-J高齢者カリキュラム看護師教育プログラム【中止】	48					
	118	災害が発生したらどう対応しますか	60	63	58	100%	100%	96%
119	もし医療事故が発生したらあなたはどうしますか ～医療事故発生時の心得～	100	37	33	89%	89%	89%	
120	【配】実践に活かす看護理論【中止】	60						
	*受信会場 中止3	0						
121	ファシリテーター型リーダーシップ①②【①宝塚会場中止】	60	67	60	98%	96%	97%	
122								
123	今日から使えるアマガミメントーイイ、怒りの感情と上手につき合う方法	60	77	45	100%	100%	100%	
124	【配】看護職のためのキャリアマネジメント -キャリアを歩むために必要なスキル-【中止】	60	16					
	*受信会場 中止4	0						
125	臨床における看護研究と支援のポイント -研究の過程を楽しむことを目指そう-	60	31	22	87%	82%	87%	
126	看護研究ははじめの一步	60	24	10	100%	100%	100%	
127~8	介護職員等によるたんの吸引等研修事業指導者講習会①②③【①中止】	90	51	40	98%	95%	100%	
130	介護職員等によるたんの吸引等研修事業指導者講習会フォローアップ研修【中止】	60						
131	新生児蘇生法(NCPR)Sコース（兵庫医科大学病院共催研修）	24	6	6	100%	100%	100%	

分類	No.	研修名	定員	申込者数	受講者数	ねらいの達成	内容の理解	今後の活用
分類1「生活と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育」	132	妊産褥婦と一緒に取り組む母乳育児	40	28	18	100%	100%	100%
	133	助産師のための超音波診断のスキル【中止】	20	3				
	134 135	院内助産所・助産師外来研修【見学実習】①(関労)②(明石医療)	10	3	3	-	-	-
	136	保健師資質向上研修	20	9	5	100%	100%	100%
	137	准看護師のための看護過程と急変対応	30	14	10	90%	90%	90%
	138 139	★認知症高齢者の看護実践に必要な知識①②【JNA収録DVD研修】	120	307	148	99%	100%	98%
	140	★糖尿病重症化予防(フットケア)研修	50	60	43	100%	100%	97%
	141	医療対話推進者養成研修【中止】	60	40				
	142	★医療安全管理者養成研修	60	66	52	100%	100%	100%
	143 144	★看護職員認知症対応力向上研修①(姫路会場)②	100	164	88	96%	98%	98%
	145 146	施設代表者等研修会(第1回)⇒シンポジウムに変更【第2回中止】	150	101	97	97%	98%	96%
	147	看護実践研究会	150	95	95	-	-	-
	148	特定行為に係る研修修了者の実践報告【中止】	80					
	149	CNS/CN/看護管理者実践報告会【中止】						
	150	新型コロナウイルス感染症の対応と予防策①②	180	284	188	94%	99%	96%
	151	介護施設応援派遣看護職研修	50	21	19	89%	100%	95%
	152 153	ウィズコロナ社会に対する新人看護師教育の再建①②	200	128	119	97%	99%	98%
	154	退院支援における家族へのアプローチ	40	19	17	86%	100%	86%
155	障害児・者福祉施設における感染対策研修	-	430	266	98%	98%	97%	
分類2「リーダーと連動した継続教育」	201	新人看護職員集合研修1)フィジカルアセスメント(呼吸・循環)①②	60	115	100	96%	97%	96%
	202	新人看護職員集合研修2)看護倫理①②	60	108	75	100%	100%	100%
	203	新人看護職員集合研修3)救命救急処置技術	60	79	64	98%	100%	100%
	204	新人看護職員集合研修4)高齢者へのケア①②	60	84	71	99%	97%	97%
	205	【配】看護だからできる摂食嚥下ケア	60	41	36	100%	100%	100%
		*受信会場 開催4	80	33	33	93%	98%	98%
	206	【配】医療安全における看護記録	60	56	41	92%	93%	92%
		*受信会場 開催3・中止1	90	39	35	96%	100%	100%
	207	【配】ケアの質を高める看護倫理—患者・家族の意思決定を支える—	60	60	56	100%	100%	100%
		*受信会場 開催3	90	25	25	99%	100%	100%
	208 209	いざという時に慌てない急変時のリーダーナースの役割①②【中止】	120	148				
	210	【配】看護師が取り組むフレイル予防—オールドフレイルと看護の役割—【中止】	60	6				
		*受信会場 中止3	60					
	211	【配】地域と病院をつなぐ外来看護—在宅療養支援における外来看護師の役割—【中止】	60					
*受信会場 中止4		0						
212	在宅療養支援における外来看護管理者の役割	40	26	21	100%	100%	95%	
213	新人助産師集合研修1)妊娠期の看護(延期)	40	24	22	100%	100%	100%	
214	新人助産師集合研修2)分娩期の看護	40	31	31	100%	100%	97%	

分類	No.	研修名	定員	申込者数	受講者数	ねらいの達成	内容の理解	今後の活用
分類2 ラダーと連動した継続教育	215	新人助産師集合研修3)新生児の看護	40	28	25	100%	100%	100%
	216	新人助産師集合研修4)産褥期の看護	40	26	25	100%	100%	100%
	217	妊娠期から産褥期の異常時の対処法(主に出血に対して)【中止】	40	1				
	218	指導に活かそう妊娠から授乳期における栄養の知識【中止】	40	3				
	219	胎児モニタリングと分娩管理【中止】	40	4				
	220	助産記録【中止】	40	4				
	221	臨床推論【中止】	40	5				
	222	周産期に関する倫理【中止】	40	5				
分類3 看護管理者の力量形成に向けた継続教育を推進	301~2 325-328	論文の書き方ー論理的思考・記述力アップー①②③④【①③中止】	120	74	73	97%	100%	97%
	303 326	主任・副看護師長のための人材育成①②	160	142	91	90%	89%	94%
	304 327	「基軸づくり」から始めるマネジメント入門①②	140	256	96	99%	96%	96%
	305	ポジティブマネジメントで生き活き看護管理【中止】	80					
	306	看護管理者の業務管理の秘訣ー忙しさからの解放、段取り力アップー	80	45	36	100%	100%	92%
	307	みんなで取り組もうー部署目標の立て方・書き方・伝え方ー【中止】	80					
	308	面接対話力の向上とモチベーション・マネジメント	80	40	33	100%	100%	100%
	309~ 312	ファーストレベル公開講座①②③④【中止】	120	11				
	313~ 315	セカンドレベル公開講座①②③	60	50	39	-	-	-
	316~ 321	サードレベル公開講座①②③④⑤⑥	180	18	14	-	-	-
	322	【配】災害看護における看護管理者の役割 *受信会場 開催4・中止1	40 110	14 20	14 19	100% 100%	100% 100%	100% 100%
	323~4 329	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修①②③【JNA収録DVD研修】	230	175	106	99%	99%	99%
分類4 体制の充実に向けた継続教育	401	JNAラダー活用推進に向けた研修【中止】	0	5				
	402	新人看護職員卒後臨床研修事業実地指導者研修①②	100	71	52	99%	99%	98%
	404	新人看護職員卒後臨床研修事業教育担当者研修	80	60	49	98%	99%	98%
	405	新人看護職員卒後臨床研修事業研修責任者研修	30	23	19	100%	100%	95%
	406	後輩指導・学生指導をとおして自分も育つ【中止】	60	33				
	407	専任教員養成講習会	25	22	22	-	-	-
	408	専任教員養成講習会公開講座	25	1	0	-	-	-
	409 410	兵庫県看護学校協議会共催研修1・2【①中止】	150	97	92	96%	96%	96%
	411	職場適応につながる社会人基礎力を育てる具体的な方法	60	109	105	100%	100%	100%

令和2年度インターネット受信研修 会場別実施状況【再掲】

白色枠：リアルタイム配信 / 網掛け枠：オンデマンド配信

No.	研修名	会場名			県立淡路医療センター			市立西脇病院			公立穴薬総合病院			公立豊岡病院			兵庫県看護協会		
		定員	応募者数	受講者数	定員	応募者数	受講者数	定員	応募者数	受講者数	定員	応募者数	受講者数	定員	応募者数	受講者数	定員	応募者数	受講者数
101	実践！エビデンスに基づいた手術看護	20	0	中止	20	1	1	—			—			—					
102	QOL向上を目指したリハビリテーション看護	—			20	6	2	20	2	2	—			—					
103	病棟ナースが知っておきたい在宅療養の実際	20	中止		20	16	15	20	7	7	20	23	22	—					
104	スタッフナースが取り組む退院支援	—			20	14	6	20	10	10	20	18	15	—					
		20	0	中止				—											
111	高齢者施設における看護(感染)	—			20	4	4	20	6	6	—			20	4	3			
		20	6	6	—														
112	高齢者施設における看護(認知症)	20	中止		20	14	14	20	中止		—			20	3	1			
					20	中止	—												
113	高齢者施設における看護(摂食嚥下障害)	20	3	2	20	12	11	20	5	5	—			20	5	2			
114	高齢者施設における看護(スキンケア)	—			20	12	11	20	4	4	—			20	6	3			
120	実践に活かす看護理論	—			20	中止		20	中止		30	中止		—					
124	看護職のためのキャリアマネジメント	20	中止		20	中止		20	中止		20	中止		—					
205	看護だからできる摂食・嚥下ケア	20	5	5	20	15	15	20	10	10	20	3	3	—					
206	医療安全における看護記録	—			20	10	9	20	10	9	20	19	17	—					
		20	0	中止				—											
207	ケアの質を高める看護倫理	—			20	11	11	20	6	6	50	8	8	—					
210	看護師が取り組むフレイル予防	20	中止		20	中止		20	中止		—			—					
211	地域と病院をつなぐ外来看護	20	中止		20	中止		20	中止		—			—					
								20	中止	—			—						
322	災害看護における看護管理者の役割	20	2	2	20	5	5	20	8	8	50	5	4	—					
								20	0	中止				—					

令和2年度 図書室運営報告

項目	内容																																																								
I 資料の所蔵状況	1. 蔵書数 5,673 冊(今年度受入図書 227 冊：購入38冊、寄贈189冊) 2. 定期入荷雑誌 42 誌 3. 定期購読新聞 4 紙																																																								
II 利用状況	1. 開室日 202 日 2. 利用者数 1,912 名(9.5 名/日) 3. 図書貸出回数 1,260 回(6.2 回/日) 4. 室内文献複写件数 926 件(4.5 件/日) 5. ホームページ蔵書検索アクセス数 1,823 回 6. 図書室平均利用者数(平成 30 年～令和 2 年) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 今年度の利用状況について 緊急事態宣言解除後の6月より通常開室。心待ちにしていたとの声が多く、5時間以上の利用もあった。 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>平均/日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>19</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>22</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均/日	令和2年度	2	0	13	11	10	14	13	13	10	4	3	2	9	令和元年度	4	8	21	23	15	16	14	19	6	6	5	3	12	平成30年度	7	8	22	22	14	17	14	22	8	5	5	4	13
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均/日																																												
令和2年度	2	0	13	11	10	14	13	13	10	4	3	2	9																																												
令和元年度	4	8	21	23	15	16	14	19	6	6	5	3	12																																												
平成30年度	7	8	22	22	14	17	14	22	8	5	5	4	13																																												
III 図書室利用教育サービス	1. 図書室オリエンテーション実施状況 初回利用者の他に、長期研修受講者には集団での図書室オリエンテーションを実施 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">長期研修会オリエンテーション(所要時間15分)</th> </tr> <tr> <th>研修会名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファーストレベルⅡ期</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>ファーストレベルⅢ期</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>セカンドレベル</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>サードレベル</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>専任教員養成講習会</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>181</td> </tr> </tbody> </table> 2. 文献検索支援 会員及び長期研修受講者に対し、医中誌 Web、最新看護索引 Web 等のデータベースを使用した文献検索支援を実施	長期研修会オリエンテーション(所要時間15分)		研修会名	参加人数	ファーストレベルⅡ期	39	ファーストレベルⅢ期	59	セカンドレベル	36	サードレベル	25	専任教員養成講習会	22	合計	181																																								
長期研修会オリエンテーション(所要時間15分)																																																									
研修会名	参加人数																																																								
ファーストレベルⅡ期	39																																																								
ファーストレベルⅢ期	59																																																								
セカンドレベル	36																																																								
サードレベル	25																																																								
専任教員養成講習会	22																																																								
合計	181																																																								
IV 広報	1. ホームページに、新着情報、蔵書検索、利用案内、所蔵雑誌一覧表、Library News(4回)及びLibrary News 番外編(3回)等を公開 2. 広報誌『看護ひょうご』に新着図書情報を掲載(4回) 3. 4階ホール、エレベーター、研修室(7か所)にLibrary Newsのポスターを掲示 4. 研修室にて図書室利用案内スライドショーの上映																																																								
V その他運営に関して	1. 図書室運営委員会開催 <ol style="list-style-type: none"> 1)目的 図書室の効率的な運営方法について協議 2)出席者 兵庫県看護協会教育・認定部，事業部代表計4名，司書 3)回数 5回(臨時会議 1回含む) 2. 蔵書点検 <ol style="list-style-type: none"> 1)目的 蔵書状況を確認し室内点検を行う。 2)実施期間 令和3年3月1日から令和3年3月5日 3)点検結果 不明図書0冊、不明雑誌0冊 3. 利用状況調査 利用者の64%が研修受講者であり、昼休みや研修終了後に来室し、利用時間は1時間未満が大半を占めた。研修受講者外の利用者の来室時間は、午前・午後ではほぼ同率であり、平均利用時間は1.5時間であったが、中には4時間以上(最長7時間半)の利用もみられた。 4. 郵送返却導入 令和2年9月より貸出時の申請により郵送返却を可能とした。																																																								

令和2年度 まちの保健室 事業報告

項 目	内 容
I 事業の目的 (事業の概要)	健康上の課題をもつ高齢者や孤立しがちな親子、生活習慣病を有するものに対して、身近な場で気軽に相談できることで、高齢者や子育て中の親など全ての県民が健康生活を保持できるとともに、高齢者の地域での見守りを促進し、多様な健康ニーズをもつ県民が、必要な健康情報を獲得でき、自ら健康づくりに取り組むことができるよう、新たな「まちの保健室」を展開する。
II 事業実施の経緯	まちの保健室活動は、阪神・淡路大震災直後から避難生活を行う人々や、仮設住宅・災害復興支援住宅への救護、閉じこもり・孤独死等の予防支援活動を平成13年7月から活動を開始し、最初の10年間は震災復興を核に、その後の数年間は兵庫県全域に健康づくり活動を拡大してきた。現在は、自分たちの活動で地域のために貢献する、活性化と自律・自立を目指す発想をもって第2ステージへと進み始めている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により対面による健康相談が行えず、新たな「まちの保健室」の在り方について考えた。
III 実施状況	<p>1. 組織運営に関する事項</p> <p>1) まちの保健室委員会開催 11回</p> <p>2) コーディネーター会議 1回</p> <p>2. 教育に関する事項</p> <p>1) 「まちの保健室」研修会 開催 (Web併用)</p> <p style="margin-left: 2em;">参加者：45名</p> <p style="margin-left: 2em;">開催日：令和3年2月27日</p> <p style="margin-left: 2em;">場 所：兵庫県看護協会会館</p> <p style="margin-left: 4em;">グループワーク ZOOM 会場 3F 研修室1・2・4</p> <p style="margin-left: 2em;">内 容：テーマ：『コロナ禍の「まちの保健室」活動の在り方を考える』</p> <p style="margin-left: 4em;">①講演「看護専門職によるオンラインコミュニティづくり～ ～ウイズコロナ時代の地域支援～」</p> <p style="margin-left: 6em;">講師：兵庫県立大学 教授 林 知里 氏</p> <p style="margin-left: 4em;">②協会としての「まちの保健室」に対する考え</p> <p style="margin-left: 6em;">兵庫県看護協会 会長 成田康子</p> <p style="margin-left: 4em;">③グループワークテーマ：with コロナ「まちの保健室」の在り方 について語り合おう！</p> <p>2) 看護実践研究会への参画</p> <p style="margin-left: 2em;">開催日：令和2年11月21日</p> <p style="margin-left: 2em;">場 所：兵庫県看護協会会館</p> <p style="margin-left: 2em;">※各支部「まちの保健室」活動に関するパネル展示と活動説明を予定していたが、感染予防の観点から参加せず。</p> <p>3. まちの保健室活動</p> <p>1) 各支部の拠点における健康相談・子育て支援活動</p> <p style="margin-left: 2em;">(1) 拠点 120箇所</p>

	(2) 健康相談回数	22 回
	(3) 子育て支援回数	11 回
	(4) 介護相談回数	1 回
	(5) 講座回数	1 回
	(6) 認知症対応型回数	0 回
	(7) ボランティア登録者数	1,396 名
	(内、ボランティア保険加入者数)	128 名
	(8) 活動ボランティア延べ数	94 名
	2) 出前隊活動	
	(1) 出前隊件数	11 箇所
	(2) 活動ボランティア数	17 名
	4. 協会での取組・他団体との協力	
	1) 協会での取組	
	(1) 「まちの保健室」特別電話相談窓口設置	
	期間：令和2年5月18日～11月14日	10件
	(2) 看護フェア「1日まちの保健室」健康相談	
	日時：令和2年11月14日	10:00～15:00
	来場者：15名	
	2) 他団体との協力	
	(1) インクルージョンフェス 2021in 神戸マルイ	
	日時：令和3年3月12日	11:00～17:00
	令和3年3月13日	11:00～17:00
	場所：神戸マルイイベントコーナー（神戸市中央区）	
	来場者：22名	
	5. 「まちの保健室」事業報告の作成に関する事項	
	1) 令和2年度事業報告の発行と配布	
	令和2年度事業報告書ページ数を減らして、1,500部作成し、施設会員 病院看護管理者、県健康福祉部、関係部署に配布	
IV 事業のまとめ (次年度への課題)	<p>【拠点活動について】新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、県内の医療がひっ迫した状態であり、ボランティア看護職が活動に参加できない、活動拠点施設が閉鎖となっているなどの理由から活動を休止する拠点がほとんどであった。</p> <p>【出前隊活動について】ピンクリボン活動、乳がん自己検診法啓発活動、たばこ対策受動喫煙防止に関する指導活動がすべて中止となった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、すべての活動を中止していたが、緊急事態宣言が解除となり、神戸マルイから依頼があったインクルージョンフェスに参加した。3日間のイベントの内2日間の参加で、器材は使用せず健康相談のみとした。参加者は少なかったが、密を避け安全に実施できた。</p> <p>【器材について】新型コロナウイルスの感染を防止するため器材の貸し出しは中止とした。昨年度より検討していた、住民のニーズの高い血管年齢測定を簡便で安価で各支部で保管活用できる器材の導入については、一台購入して検討した結</p>	

果、血管年齢計を持たない支部に購入することで、発送回数を減らせ、故障等の防止にもつながると判断し、次年度に導入したいと考える。

感染防止のための、サーモマネージャーと足ふみ式アルコール消毒機を導入した。

【活動内容】各イベントに出前隊として参加し、生活習慣病対策に関する啓発活動を実施することができなかった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により看護の日「1日まちの保健室」の開催ができず、住民の健康不安を解消するため電話相談窓口を設置した。実際の件数は少ないが、高齢者が一日中誰とも話さず、自粛生活が長引いてあまり動かれていない現状がわかった。そこで、ひょうごスタイル推進の目的も兼ね、巣ごもりフレイルを予防するための、「お家で取り組む健康体操」動画を作成した。さらに加えて、巣ごもりフレイルや独居で誰とも話す機会がないなどの問題が浮上し、健口体操も取り入れた動画を、本会ホームページやYouTubeにアップし、啓発チラシを作成して配布した。

【委員会について】委員会において各支部での活動や情報を共有の方法を報告しあい、LINEやメールを活用していることがわかった。委員会活動もほぼ全員が、オンラインにて会議に参加することができた。

活動ができないボランティア看護職からも、今の状況だからこそ「まちの保健室」活動が必要であるとの声が聞かれ、住民の暮らしに身近な「まちの保健室」として地域のニーズに応え活動を展開するためにも、今まで対面での相談が当たり前としていた活動を、電話やオンラインを活用した活動にも対応できるように体制を検討したい。休止中も一部の県民からの問い合わせがあり、「まちの保健室」活動は、県民の広い関心の場となっている。国、県がめざす健康づくりの趣旨にも合った活動であり、新たな相談方法や健康維持に役立つ活動の継続が必要である。

令和2年度 神戸市いきいき健康サポート 事業報告

項 目	内 容																																								
I 事業の目的 (事業の概要)	この事業は、主として地域福祉センター等で行われる地域住民による自主活動の際に、健康サポーター（看護職、その他登録医療職）を派遣し健康相談を実施することで、健康の維持増進や介護予防を図ると共に、地域住民による健康づくりや介護予防のための地域の取り組みの促進を図ることを目的とする。																																								
II 事業実施の経緯	平成18年10月から神戸市の委託を受けて開始、平成29年度より看護職ボランティアの活動から多職種を混じえた協働活動へと拡充し現在に至る。																																								
III 実施状況	<p>1. いきいき健康サポート事業に関する事項</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">実施地区</th> <th style="width: 5%;">東灘</th> <th style="width: 5%;">中央</th> <th style="width: 5%;">兵庫</th> <th style="width: 5%;">灘・北</th> <th style="width: 5%;">長田</th> <th style="width: 5%;">須磨</th> <th style="width: 5%;">垂水</th> <th style="width: 5%;">西</th> <th style="width: 5%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">14</td> </tr> <tr> <td>活動ボランティア延べ数</td> <td colspan="9" style="text-align: center;">25名</td> </tr> <tr> <td>被相談実人数</td> <td colspan="9" style="text-align: center;">122名（延人数 144名）</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 教育に関する事項（健康サポーター研修・交流会）</p> <p>1) 第1回サポーター交流会</p> <p style="margin-left: 20px;">参加者：10名</p> <p style="margin-left: 20px;">日にち：令和2年12月15日 13:30～15:30</p> <p style="margin-left: 20px;">場 所：兵庫県看護協会会館</p> <p style="margin-left: 20px;">内 容：・活動状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規サポーター紹介 ・活動についての意見交換と今後の取り組みについて ・サポーター研修について ・ひょうごスタイル推進事業について 	実施地区	東灘	中央	兵庫	灘・北	長田	須磨	垂水	西	合計	実施回数	0	0	0	0	10	0	4	0	14	活動ボランティア延べ数	25名									被相談実人数	122名（延人数 144名）								
実施地区	東灘	中央	兵庫	灘・北	長田	須磨	垂水	西	合計																																
実施回数	0	0	0	0	10	0	4	0	14																																
活動ボランティア延べ数	25名																																								
被相談実人数	122名（延人数 144名）																																								
IV 事業のまとめ (次年度への課題)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響によりほとんどの活動が休止となった。緊急事態宣言を受け、神戸市から全事業の停止の方針が出されたが、宣言解除後は、拠点の意向に沿った形での活動ということとなった。会場が使用禁止となったところや、感染防止策が十分でなく活動再開に至らない拠点が多い中、6月から活動依頼を受けることができた。しかし、拠点との調整と派遣調整を行った後にキャンセルが続き、継続的に実施できた拠点は2か所にとどまった。</p> <p>多職種協働においても、活動が思うようになく、一部の方のみの活動となった。</p> <p>サポーター交流会を開催し、情報交換を行ったことで、それぞれの感染防止策や拠点での工夫などを共有することができた。研修会は開催することができなかったが、次年度早々に計画したい。</p> <p>今年度は、活動回数が激減しサポーター派遣が行えなかったことと、物品購入やリ</p>																																								

	<p>ーフレット購入等を見合わせたことから、予算の執行は行えなかった。</p> <p>次年度に向けて、引き続き他職種の専門性をうまく活用し、資格を活かした活動ができるよう派遣を工夫し、地域住民の健康づくりを支援していく。</p>
--	--

令和2年度 神戸市地域拠点型一般介護事業における 介護予防講座支援事業報告

項 目	内 容																																												
I 事業の目的 (事業の概要)	この事業は、地域の特性・ニーズに応じ、専門職による介護予防に関する正しい知識の普及を図ることにより、介護予防の認識と自覚を高め、健康寿命の延伸に資することを目的とする。																																												
II 事業実施の経緯	平成29年から神戸市の委託を受けて開始、活動場所と活動数は徐々に増加し現在に至る。																																												
III 実施状況	<p>1. 介護予防講座支援事業に関する事項</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">実施地区</th> <th style="width: 5%;">東灘</th> <th style="width: 5%;">灘</th> <th style="width: 5%;">中央</th> <th style="width: 5%;">兵庫</th> <th style="width: 5%;">北</th> <th style="width: 5%;">長田</th> <th style="width: 5%;">須磨</th> <th style="width: 5%;">垂水</th> <th style="width: 5%;">西</th> <th style="width: 5%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">54</td> </tr> <tr> <td>活動ボランティア数</td> <td colspan="10" style="text-align: center;">54名</td> </tr> <tr> <td>参加者延べ人数</td> <td colspan="10" style="text-align: center;">478名</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 教育に関する事項 (サポーター研修・交流会)</p> <p>1) 第1回サポーター交流会</p> <p style="margin-left: 20px;">参加者：9名</p> <p style="margin-left: 20px;">日にち：令和2年12月15日 13:30～15:30</p> <p style="margin-left: 20px;">場 所：兵庫県看護協会会館</p> <p style="margin-left: 20px;">内 容：・活動状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規サポーター紹介 ・活動についての意見交換と今後の取り組みについて ・サポーター研修について ・講座番号の内容資料の配布 ・ひょうごスタイル推進事業について 	実施地区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	合計	実施回数	1	9	1	8	12	9	0	12	2	54	活動ボランティア数	54名										参加者延べ人数	478名									
実施地区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	合計																																			
実施回数	1	9	1	8	12	9	0	12	2	54																																			
活動ボランティア数	54名																																												
参加者延べ人数	478名																																												
IV 事業のまとめ (次年度への課題)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、神戸市からの指示で4月から9月までの活動がすべて中止となった。10月から活動が再開したが、拠点に参加者が集まるのかという不安があった。実際には、参加者が近隣の方が集まること、自粛生活で何もできない不満が募っていること等があり、再開直後から通常と変わらない参加があった。(拠点数24拠点、開催回数54回、活動サポーター延べ人数54名、参加延べ人数478名、介護予防サポーター増員は1名)</p> <p>講座プログラム(総合/社会参加、認知症予防、心の健康/閉じこもり予防、生活季節に応じた健康づくり、【生活習慣】高齢者に起こりやすい病気、【生活】リクエストによる身体によいお話)は、講話テーマが増え、内容も多岐にわたっていることから、ポイントを絞った講話力が必要となる。そのためサポータ</p>																																												

一に対して、活動講座プログラムの講話のポイントについて情報提供と、サポーターからの希望を受けて、講座プログラムの参考とする資料を作成し、交流会で配布した。

活動状況では、活動地区によってばらつきがみられるが、今まで活動がなかった中央区で1拠点増えた。それぞれの活動拠点から大変好評を得ている。

この事業は、地域の中で普段から顔の見える関係性を築くために非常に効果的で、参加者からもわかりやすく楽しんで参加できている等の評価を得ている。今回の感染拡大により開催できない期間は高齢者の集える場がなく、より一層、本事業の必要性を感じた。引き続き、活動の拡充を図り、地域住民の健康寿命延伸を支援していきたい。

サポーター研修会は開催することができなかったが、昨年度から計画している介護予防に活かせる体力測定についての研修を開催予定である。

ナースセンター部 事業報告

項 目	内 容																																																														
I 事業の目的 (事業の概要)	ナースセンターは無料職業紹介所として、看護職の就業を支援するとともに、潜在看護職が職場復帰の際に必要な各種研修や看護職の離職防止及び定着促進のための研修事業等を実施している。また、進学相談、就業に関する相談などに応じる相談事業「看護なんでも相談」、定年後も生き生きと働き続けられる「プラチナナース活躍推進事業」、「保健師バンク」を展開し、県内の看護職の就業促進及び確保定着に努め、安全な看護の提供と看護の質の向上を目指している。																																																														
II 事業実施の経緯	「看護師等の人材確保の促進に関する法律（H4.6.26法86）」に基づき、兵庫県看護協会が兵庫県よりナースセンターとして指定を受け、看護職の人材確保と定着の推進を目的として、以下の事業を展開している。																																																														
III 実施状況	<p>I. 看護師等の就業促進及び定着に関する事業（数値は令和3年3月31日現在）</p> <p>1. ナースバンク事業</p> <p>1) eナースセンター（NCCS登録者数）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>年間月平均求人登録数</th> <th>年間月平均求職登録者数</th> <th>年間登録者の就業数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1,772</td> <td style="text-align: center;">510</td> <td style="text-align: center;">461</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) コロナ関連求人求職</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>求人数</th> <th>求職者数</th> <th>応募者数</th> <th>採用数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">192</td> <td style="text-align: center;">216</td> <td style="text-align: center;">139</td> <td style="text-align: center;">65</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 20px;">採用先：宿泊療養施設 35名、入院コーディネーター1名、健康福祉事務所 8名、保健所 10名、ワクチン接種 7名、その他 2名</p> <p>3) 相談業務 「看護なんでも相談」</p> <p>●神戸本所</p> <p>(1) 相談受付：月曜日から金曜日 10：00～12：00 および 13：00～16：00 (2) 相談日数：240日 (3) 相談件数：2,616件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>来所</th> <th>電話</th> <th>郵送</th> <th>お問合せ画面・eメール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">461</td> <td style="text-align: center;">1,425</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">729</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 相談内容の内訳</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>求職</th> <th>求人</th> <th>労働環境</th> <th>進学</th> <th>登録</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1,814</td> <td style="text-align: center;">157</td> <td style="text-align: center;">48</td> <td style="text-align: center;">41</td> <td style="text-align: center;">407</td> <td style="text-align: center;">149</td> </tr> </tbody> </table> <p>●姫路支所（平成27年2月23日開所）</p> <p>(1) 相談受付：月曜日・水～金曜日 12：00～16：00 (2) 相談日数：195日 (3) 相談件数：372件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>来所</th> <th>電話</th> <th>郵送</th> <th>お問合せ画面・eメール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">159</td> <td style="text-align: center;">213</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 相談内容の内訳</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th>求職</th> <th>求人</th> <th>労働環境</th> <th>進学</th> <th>登録</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">278</td> <td style="text-align: center;">74</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> </tbody> </table> <p>●宝塚支所（平成27年10月5日開所）</p> <p>(1) 相談受付：月～金曜日 12：00～16：00 (2) 相談日数：240日 (3) 相談件数：1051件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>来所</th> <th>電話</th> <th>郵送</th> <th>お問合せ画面・eメール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">135</td> <td style="text-align: center;">915</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </tbody> </table>	年間月平均求人登録数	年間月平均求職登録者数	年間登録者の就業数	1,772	510	461	求人数	求職者数	応募者数	採用数	192	216	139	65	来所	電話	郵送	お問合せ画面・eメール	461	1,425	1	729	求職	求人	労働環境	進学	登録	その他	1,814	157	48	41	407	149	来所	電話	郵送	お問合せ画面・eメール	159	213	0	0	求職	求人	労働環境	進学	登録	その他	278	74	0	0	0	20	来所	電話	郵送	お問合せ画面・eメール	135	915	0	1
年間月平均求人登録数	年間月平均求職登録者数	年間登録者の就業数																																																													
1,772	510	461																																																													
求人数	求職者数	応募者数	採用数																																																												
192	216	139	65																																																												
来所	電話	郵送	お問合せ画面・eメール																																																												
461	1,425	1	729																																																												
求職	求人	労働環境	進学	登録	その他																																																										
1,814	157	48	41	407	149																																																										
来所	電話	郵送	お問合せ画面・eメール																																																												
159	213	0	0																																																												
求職	求人	労働環境	進学	登録	その他																																																										
278	74	0	0	0	20																																																										
来所	電話	郵送	お問合せ画面・eメール																																																												
135	915	0	1																																																												

(4) 相談内容の内訳

求職	求人	労働環境	進学	登録	その他
802	243	0	0	0	6

●サテライト北播（平成 28 年 9 月 6 日開所）

月・木曜日 13:00～16:00、

火・水曜日 12:00～16:00

(2) 相談日数：214 日

(3) 相談件数：189 件

来所	電話	eメール
60	129	0

(4) 相談内容の内訳

求職	求人	労働環境	進学	登録	その他
144	41	0	0	0	4

●サテライト但馬（平成 28 年 12 月 15 日開所）

(1) 相談受付：月曜日 9:30～12:30

木曜日 12:00～16:00

(2) 相談日数：87 日

(3) 相談件数：52 件

来所	電話	eメール
8	44	0

(4) 相談内容の内訳

求職	求人	労働環境	進学	登録	その他
26	22				4

「メンタルヘルス相談」

(1) 相談受付：金曜日 13:00～17:00

(2) 相談日数：49 日

(3) 相談件数：60 件

来所	電話	eメール
6	54	0

(4) 相談内容の内訳（重複あり）

職場の人間関係	家族関係	就業	研修関係	その他
8	3	27	0	22

「医療安全相談」

(1) 相談受付：随時 基本、教育研修部が担当

(2) 相談件数：2 件

「認知症・高齢者専門相談」

(1) 相談受付：水・木曜日 10:00～12:00 13:00～16:00

(2) 相談件数：166 件

介護関係	認知症	高齢者虐待	その他
118	14	2	32

「ハローワークでの巡回相談」

ハローワーク	相談日	相談件数
神戸	月 2 回（第 1, 3 木曜日）	48 件
姫路	月 1 回（第 3 月曜日）	15 件
西宮	月 1 回（第 2 木曜日）	54 件
加古川	月 1 回（第 4 月曜日）	27 件
伊丹	月 1 回（第 4 水曜日）	24 件

尼崎	月1回(第3金曜日)	18件
明石	月1回(第1火曜日)	20件

- 4) 求人登録及び協会ナースセンターとの連携強化の為の施設訪問
 ナースセンターからの訪問施設数：21件
 ※プラチナナース推進事業を兼ねる

圏域	東播	西播	但馬	北播	阪神北	阪神南	神戸東	神戸中央	神戸西
件数	0	2	1	0	4	0	6	6	2

2. 「ナースセンターだより」の発行

年4回発行し、求職者へ情報提供

- 1) 4月・7月・10月・1月(15日発行)
- 2) 「看護ひょうご」のページの一部として掲載

3. 看護職の労働環境に関する検討委員会の設置

看護職の労働環境および就業条件等に関する検討を行う。以下の委員会を設置する。(詳細は各委員会活動を参照)

- 1) ヘルシーワークプレイス推進委員会
- 2) ナースセンター運営委員会

4. 看護職員離職防止及び復職支援対策に関する研修

- 1) 復職支援に関する研修

開催場所：兵庫県看護協会会館

研修名	開催日	内容	参加者数
再就業支援研修会 (5日コース)	令和2年9月1日～5日	最新の看護の動向、 フィジカルアセスメント、 高齢者看護、 薬剤、感染管理、医療安全、 看護基礎技術等	15名
再就業支援研修会 (1日コース)	令和2年7月21日 7月28日、8月25日 10月20日、11月17日 12月15日		77名
看護基礎技術研修 神戸	毎週水曜日 13:30～15:30 計39回実施	採血・静脈注射・点滴・ 吸引の講義、演習	172名
BLS研修 神戸	毎週水曜日 10:00～11:30 計39回実施	最新のガイドラインに基づいた、 講義と演習	102名
採血・静脈注射技術研修 姫路	毎月第1、第3火曜日 13:30～14:30 14:30～15:30 計36回実施	採血・静脈注射・点滴技術の 講義と演習	41名
BLS研修 姫路	毎月第1火曜日 10:30～12:00 計7回実施	最新のガイドラインに基づいた、 講義と演習	16名
採血・静脈技術研修 北播	毎月第1、第3金曜日 13:30～14:30 14:30～15:30 計36回実施	採血・静脈注射・点滴技術の 講義と演習	20名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため4、5月休講。

ワクチン接種に関する筋肉注射研修 令和3年3月24日開始 1名

5. プラチナナース活躍推進事業

1) プラチナナース研修

開催日：令和2年9月8日 13:00～16:30

開催場所：兵庫県看護協会会館

対象：離職中の看護職、定年退職や定年退職を控えた看護職（おおむね50歳以上）

参加者数：10名

内容：①兵庫県医務課長から、プラチナナース活躍推進事業について

②ナースセンターの就業支援に関する情報提供

③民間病院、介護施設、訪問看護ステーション管理者からの情報提供

④交流会

2) 退職者へのプラチナナース登録推進

令和3年3月末現在 登録者延べ92名

・新型コロナ相談コールセンター・保健所への協力依頼

3) 施設訪問 21件

4) 広報活動 クリアファイル作成、チラシ配布

5) プラチナナース研修（求人施設対象）令和3年2月25日 中止

6. 合同就職説明会

1) 開催場所：兵庫県看護協会会館

説明会名	開催日	内容	参加数
第1回合同就職説明会	令和2年9月5日	兵庫県内の病院、診療所、老人保健施設、事業所等による面接	63事業所 89名
第2回合同就職説明会	令和3年2月6日		62事業所 37名

2) 地域での合同就職説明会

説明会名	開催日	内容	参加数
合同就職説明会 in 西播	令和3年1月17日 中止	兵庫県内の病院、診療所、訪問看護ステーション、老人保健施設、事業所等による面接相談	27施設
北播磨地域合同就職説明会	令和2年9月6日		12施設 19名
阪神南圏域合同就職説明会	令和3年3月13日		24施設 101名

7. 勤務環境改善推進事業

1) 施設におけるワーク・ライフ・バランスインデックス調査への助成

参加施設：継続5施設 調査を次年度へ延期

2) ワーク・ライフ・バランスインデックス調査説明会及び講演 中止

3) ヘルシーワークプレイス推進研修

開催日：令和3年3月6日 参加者数：65名

内容：①インデックス調査施設の取り組みの成果報告2施設（神戸徳洲会病院、川崎病院）

②講演「レジリエンスを高めて元気になろう」講師：喜田菜穂子 氏

8. ナースセンター機能強化事業

1) 兵庫県ナースセンター支所・サテライトの運営

※再掲

2) 看護職地域合同就職説明会開催事業

※再掲（地域での合同就職説明会）

3) ナースセンター届出制度周知事業

(1) 届出状況（届出制度開始から現在までの登録数）

平成27年10月1日～令和3年3月31日 届出総数：5,537件

現在の状況	人数
就業していない	1,276
就業していないが求職中	1,237
就業中・就業予定（看護師等）	2,132
就業中・就業予定（看護師以外）	314
学生	55
その他	174
就業区分設定なし（不明）	349
計	5,537

(2) 登録者への支援

ほぼ毎月、就業に関する最新の情報提供実施

コロナ関連（宿泊療養、保健所、ワクチン接種等）随時メール配信

(3) 広報活動

①県民だより 8月号・兵庫ジャーナル広告掲載、神戸市営地下鉄県庁駅パネル、ショーウィンドーの掲示 中止

②届出制度チラシ 3,500枚 県内イオンに配架 9月（県医務課計画）

③ナースセンターだより（看護ひょうごへの掲載にて全会員へ）

④施設代表者会における広報活動 令和2年8月6日 中止

⑤北播磨合同就職説明会 SNS 広告利用 1,496,354回表示、本会ホームページに誘導設定、閲覧数は71,186と過去最高となった。

⑥兵庫労働局公式YouTube「看護のお仕事紹介」動画制作協力

4) ナースセンター充実強化事業 <広報>

(1) ナースセンター広報用リーフレットの作成（新規デザイン更新）

(2) 広報用ノベルティ（マイクロファイバークロス、クリアファイル）

(3) ホームページ特設サイト

(4) ナースセンター公式Twitterの活用 月4回程度更新

フォロワー数 590名

(5) のじぎくちゃん着ぐるみ（ゆるキャラグランプリ 2020参加/全687体企業・その他ランキング141位/292体）

9. 看護系大学・看護学校への出張講義

看護協会およびナースセンター周知のための出張講義を実施（7校）

学校名	実施日	参加者数	対象者	方法
公立八鹿看護専門学校	令和2年12月14日	22名	3年生	Web
尼崎健康医療財団看護専門学校	令和2年12月16日	69名	2年生	Web
西宮市医師会看護専門学校	令和3年2月17日	77名	3年生	出張
丹波市立看護専門学校	令和3年2月22日	34名	3年生	Web
姫路赤十字看護専門学校	令和3年3月1日	38名	3年生	出張
宝塚市立看護専門学校	令和3年3月3日	40名	3年生	出張
姫路医師会看護学校	令和3年2月20日	77名	3年生	出張
		357名		

II. 看護師等の需給・就業の動向に関する実態調査

1. 令和元年度看護職員需要・離職調査

1) 病院、福祉施設等の調査（病院のみ兵庫県医務課と協働で実施）

病院 349 施設、訪問看護ステーション 660 施設、介護老人保健施設 165 施設・介護老人福祉施設 407 施設、介護医療院 10 施設 1,591 施設に配布

2) 病院 316 施設、施設 730 の結果をナースセンター運営委員会がまとめ報告書を作成

<p>III. 看護のこころ普及事業</p> <p>1. 看護の日ならびに看護週間記念事業</p> <p>1) 看護の日 PR イベント 開催日：令和2年5月9日 中止 会場：兵庫県看護協会会館 主催：兵庫県、兵庫県看護協会、神戸3支部 後援：神戸市 令和2年11月14日看護フェアでの看護の歴史、白衣展示</p> <p>2. 看護への適切な進路情報の提供</p> <p>1) 進学希望者へ「看護師をめざすあなたへ」「やっぱり看護の仕事」等の進学関係冊子の送付（121件）・・・進学説明会参加申込者</p> <p>2) 「看護師をめざすあなたへ」冊子2020年度版作成および関係機関への配布</p> <p>3) 進路担当者へ「看護師への道」説明会開催 令和2年6月26日 21校 20名参加 内容：看護師体験談、看護系大学・看護専門学校教員による説明</p> <p>4) 「ナースの訪問授業」を県内高等学校対象に実施 実施校13校13回 参加者数414名 13施設より看護職18名派遣 ※兵庫県補助事業</p> <p>5) 進学説明会開催</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">事業名</th> <th style="text-align: center;">開催日</th> <th style="text-align: center;">場所</th> <th style="text-align: center;">内容</th> <th style="text-align: center;">参加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;">進学説明会 大学・看護師 3年課程・看護師 進学コース</td> <td style="vertical-align: top;">令和2年8月23日 日程変更</td> <td style="vertical-align: top;">兵庫県 看護協会 会館</td> <td style="vertical-align: top;">大学、看護師3 年課程、看護師 進学課の各学 校 Web による 説明に変更</td> <td style="vertical-align: top;">大学12校 看護学校 11校 進学コース 2校 17名 (事前申込 121名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 看護フェアの開催 ※兵庫県の令和2年度福祉・介護啓発事業として実施 開催日：令和2年11月14日 会場：兵庫県看護協会会館 参加者：15名 職員21名 「健康相談会」in まちの保健室 テーマ「フレイル予防 with コロナ」</p> <p>4. ふれあい看護体験 実施施設：6施設 参加者：28名、中止または参加なし：100施設</p> <p>5. 看護の出前授業 ※日本看護協会との共催 実施学校数：9校中7校8回実施、2校中止（新型コロナウイルス） 高等学校 4校98名 中学校3校215名 参加者計：313名 7施設より看護職9名を派遣</p> <p>IV. 訪問看護師養成講習会</p> <p>1. 訪問看護 e ラーニング 開催期間：令和2年5月23日～10月23日（195時間） 受講者：48名 修了者：47名 研修会「訪問看護の現状と未来」令和2年8月22日 中止</p> <p>2. 訪問看護 e ラーニング修了後の訪問看護ステーション実習5日間 実習修了者：11名</p>	事業名	開催日	場所	内容	参加数	進学説明会 大学・看護師 3年課程・看護師 進学コース	令和2年8月23日 日程変更	兵庫県 看護協会 会館	大学、看護師3 年課程、看護師 進学課の各学 校 Web による 説明に変更	大学12校 看護学校 11校 進学コース 2校 17名 (事前申込 121名)
事業名	開催日	場所	内容	参加数						
進学説明会 大学・看護師 3年課程・看護師 進学コース	令和2年8月23日 日程変更	兵庫県 看護協会 会館	大学、看護師3 年課程、看護師 進学課の各学 校 Web による 説明に変更	大学12校 看護学校 11校 進学コース 2校 17名 (事前申込 121名)						

V. その他の補助事業

1. 看護職員離職防止対策事業

1) 看護管理者研修

場所：すべて兵庫県看護協会会館

回数	開催日	主な内容	参加者数
1	令和2年10月3日	新型コロナウイルス感染症関連研修 「弁護士と社会保険労務士から聞く」 講師：森脇正氏 畑中美和氏	来館 32名 Web 41名
2	令和2年12月10日	辞めない組織づくりのためのコミュニケーション術 講師：奥山美奈氏	来館 30名 Web105名
3	令和3年3月6日	ヘルシーワークプレイス推進研修 ワーク・ライフ・バランス (WLB) 取組施設の報告 2施設 「レジリエンスを高めて元気になろう」 講師：喜田菜穂子氏	65名
4	令和2年12月19日	相談員の資質向上研修 相談員が知っておきたい訪問看護の実際 講師：太期美恵子	20名

VI. 関係機関との連携および会議および研修出席

1. 会議出席

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
令和2年度ナースセンター事業担当者会議	(書面)	令和2年7月17日	大迫しのぶ 中野奈保子
令和2年度都道府県ナースセンターキャリアコンサルティング研修	(Web)	令和3年2月8日、12日、24日	松田たえ子 矢田貝美夜子 埴岡康恵子 足立育子
令和2年度都道府県看護協会「労働環境担当者会議」	(Web)	令和2年11月25日	大迫しのぶ 中野奈保子 岡本美佐子
都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会(近畿地区)	(Web)	令和2年9月6日	大迫しのぶ 中野奈保子
令和2年度広報担当者会議	(Web)	令和3年1月15日	西口久代 木谷 恵
令和2年度近畿地区看護協会人材確保・定着担当者会議	(メール)	令和3年1月22日	大迫しのぶ 中野奈保子
ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議	兵庫県看護協会会館 (Web併用)	令和3年3月10日	西口久代 中野奈保子 木谷 恵 松田たえ子
ナースセンター・ハローワーク連携事業第1回ケース会議	兵庫県看護協会会館 (Web併用)	令和2年12月11日	中野奈保子 松田たえ子 岡本美佐子 清水真由美 村松知子
福祉人材センター運営委員会	(書面)	令和3年2月3日	中野奈保子

第1回看護職員離職防止確保対策会議	(書面)	令和2年8月17日	成田康子 大迫しのぶ 中野奈保子 木谷 恵
第2回看護職員離職防止確保対策会議	兵庫県	令和2年12月23日	成田康子 中野奈保子
第3回看護職員離職防止確保対策会議	兵庫県看護協会会館	令和3年2月15日	成田康子 中野奈保子
歯科衛生士会復職支援検討会	兵庫県歯科医師会会館	令和2年11月26日	中野奈保子

2. 就職フェア・地域での合同就職説明会への出張相談

就職フェア名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
合同就職説明会 in 西播(再掲)	イーグレ姫路	令和3年1月17日	中止
北播磨地域合同就職説明会	小野市うるおい交流館	令和2年9月6日	藤田一枝 芝本千代子 太期美恵子 松田たえ子
阪神南圏域合同就職説明会	西宮市職員会館	令和3年3月13日	大迫しのぶ 中野奈保子 木谷 恵 岡本美佐子
介護就職デイ 介護・看護の就職相談	ハローワーク 姫路	令和2年11月16日	太期美恵子 桐月順子
看護事業所のミニ相談会	ハローワーク 明石	令和3年1月29日	村松知子
看護補助者のお仕事紹介 セミナー	ハローワーク 尼崎	令和3年3月23日	成田康子 木谷 恵

VII. その他

- 令和2年度第1回施設代表者会におけるナースセンター広報活動(再掲)
看護師等無料職業紹介所 e ナースセンターの活用について
プラチナナース活躍推進事業について
令和2年8月6日 中止
- 保健師バンク機能強化事業(新規)
令和3年2月1日開始
登録者:100名

IV まとめ・次年度への課題

- 看護職の確保及び定着に関する事業
 - 求職者および求人側への無料就業斡旋(マッチング事業)
平均求人件数は前年度より減少、新型コロナウイルス感染症拡大による診療縮小や新規雇用控えの影響が考えられる。求職者数は前年度より増加し、新型コロナウイルス感染症関連の復職案内の効果が考えられる。採用者数は420名(前年392名)に増加し、活発な就職活動が見られた。マッチングを促進するためには、多様な勤務形態や新たな領域へのチャレンジを提案することなど求人・求職者双方へのアプローチが必要である。
 - 相談業務
本所での「看護なんでも相談」は、来所は減少しているが、電話相談は増加、相談内容は、新型コロナウイルス関連の相談対応で増加している。
コロナ禍であっても、e ナースセンターを自力で活用困難な方には、相談員による直接支援が必要である。また、労働環境の相談件数が11月に増加しており、医療現場の疲弊が伺える。

支所サテライトの相談は、減少しているが、地域ごとのコロナ発生状況及び、コロナ関連の求人求職を本所で一括対応したことによる影響が考えられる。

相談は、スタッフからが多いが、離職防止の要である看護管理者への地域に密着した支援が必要であり、今後は、支所・サテライトの相談員の活用を周知していきたい。

3) ハローワーク巡回相談状況

ハローワークの巡回相談は、神戸の開催回数が月3回から2回に変更したことと、コロナ禍の一時停止があるが、6月以降、総数は前年と差がないものの、西宮は2.3倍に増加し、時間延長し対応した。今後は、各ハローワーク企画の就職フェアにも協力していきたい。

4) ナースセンターの広報

神戸市営地下鉄県庁前駅パネルは、広報効果が不明であるため終了し、電車内広告を検討する。また、北播磨合同就職説明会のSNS広告利用は、1,496,354回表示され、本会ホームページに誘導するように設定した。その結果、閲覧数は71,186と過去最高となった。ホームページや公式Twitterの活用を継続し、届出制度のチラシやナースセンターリーフレット、「看護師を目指すあなたへ」冊子等広報媒体のイメージを若者向けに刷新した。

5) 職時届出制度

5,537名の登録者のうち、新規登録は、797名と横ばいであった。

潜在看護師の把握をし、就業支援に繋げるためには、継続した普及啓発、特に、届出の義務化以前の対象者の未届け者への案内を徹底する必要がある。

6) プラチナナース活躍推進事業

プラチナナース研修を実施し、施設訪問により、プラチナナースの雇用状況の把握ができた。また、チラシやクリアファイルを作成し、広報に活用し、92名の登録のうち、新規登録は20名であった。

今後は、本所及び支所にて、多様な勤務形態の提案を兼ねた求人開拓に力を入れていきたい。

2. 看護師等の需給・就業の動向に関する実態調査

令和元年度の調査時期は、コロナ禍の医療現場の負担を考慮し、遅く実施し、委員会にて分析した結果をまとめた。報告書を、今後のナースセンター事業にどう活用していくか、具体的な方策が必要である。

3. 看護の心普及事業

コロナ禍でふれあい看護体験の実施が困難であったが、中学校や高校へ近隣施設の看護職による「看護の出前事業」や「ナースの訪問事業」、オンライン進学説明会や看護系学校入試一覧表の作成配布を実施できた。

次年度は、進学説明会の分散開催や、進路指導担当者研修への看護学校教員の講師依頼により、看護職を目指す学生が増加することを期待したい。

令和2年度 地域ケア事業部 事業報告

組織の運営に関する事項

1. 兵庫県看護協会立事業所（尼崎・出石・神戸）の統括、及び健全運営の支援
 - 1) 協会立居宅サービス事業所管理者会の定期開催による、情報の共有及び課題整理と対策の検討
開催回数：新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言等もあり、8月までは対面での会議は開催せず、電話やメール等を活用した。その後は、概ね月1回（年間7回実施）対面での会議を実施、参加数：5人/1回（所長のみ参加）、開催場所：尼崎事業所等
 - 2) 各事業の進行管理及び職員の適正配置を行った。
 - 3) メンタルヘルス対策事業として、1回/年のストレスチェック及び随時希望により面談を実施した。
 - 4) 災害時対応マニュアルのBCP計画の立案は出来なかった。また、訓練も実施しなかった。
 - 5) 尼崎市認知症初期集中支援推進業務（認知症初期集中支援チーム業務）を実施した。
 - 6) 機能強化型訪問看護ステーション（尼崎）の地域等への貢献活動としてまちの保健室を開催は、新型コロナウイルス感染拡大予防のために自粛した。
 - 7) 業務の効率化、感染対策の一環としてICT（タブレット）を令和3年2月から導入した。
2. 地域包括ケアシステムの推進のための、協会立訪問看護ステーションの役割の検討をした。
3. 尼崎訪問看護ステーションの多機能化に関する事業として「兵庫県訪問看護ステーション教育支援強化事業の教育ステーション」としての活動は、訪問看護ステーションへの同行訪問は自粛した。
令和3年1月からICTを使って研修を実施した。
4. 在宅療養を支援するために、多職種との連携を図るための会議や研修のパネリストは、ほとんどがICTでの参加となった。

II 人材確保・人材育成に関して（各訪問看護ステーションで実施）

1. 多様化する在宅ケアに対応できる人材の確保と人材育成の強化
 - 1) 新卒訪問看護師を1名採用し育成した。
 - 2) 職員に対する職場研修は、感染対策等を主に実施した。
派遣研修及び自己研鑽研修支援は自粛した。
 - 3) 他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣を一部受けた。
 - 4) 介護職員への喀痰吸引・経管栄養等の実地研修を行った。

2 臨地実習生の受入

認定看護師教育課程受講生・看護学生・医科大学生・高等学校衛生看護科生等の臨地実習生等

【尼崎訪問看護ステーション】

	施設名	人数	延日数
認定看護管理セカンドレベル	藍野大学 キャリア開発・研究センター	3	1
	・兵庫県看護協会	3	1
令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、外部からの実習、研修は受け入れなかった。			

【神戸訪問看護ステーション】

	施設名	人数	延日数
看護学生	神戸常盤大学 保健学部看護学科	6	24
	神戸常盤大学 短期大学部看護学科通信制課程	2	4
	日本医療学園附属 東亜看護学院	2	4
その他	看-看連携	3	6

【出石訪問看護ステーション】

看護学生	兵庫県立日高高等学校 看護専攻科	4	19
------	------------------	---	----

3. 訪問看護人材育成事業（基金事業）支援

- 1) 訪問看護連携強化事業（看-看連携研修の受入れ）の実習生を受入れた。（事業所毎の報告参照）
- 2) 研修事業（看護師対象の訪問看護入門研修のファシリテーターとして支援した。）

Ⅲ 訪問看護支援事業の継続

衛生材料の共同購入事業を、業者との連携により実施。令和2年3月末参加事業所11ヶ所

Ⅳ 関連機関、関係団体との連携および会議出席

会議名	回数	開催場所	内容	出席者名
兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会総会・理事会・幹部会	年 12回	兵庫県看護協会 会館 Web併用	兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の活動・予算決算・情報提供等	並河直子
多職種連携による口腔機能管理に関する専門部会	年0回	開催なし	多職種連携による口腔機能管理に関する現在と課題の整理等	並河直子
近畿地区看護協会立訪問看護ステーション統括者・管理者交流会	年1回	Web開催	近畿地区看護協会立訪問看護ステーションの情報交換及び意見交換	並河直子

【尼崎訪問看護ステーション、尼崎ケアプランセンター、尼崎ヘルパーステーション】

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者名
尼崎市医療・介護連携協議会	中央北生涯学習プラザ Web	毎月第4 3月は中止	原田広美
在宅医療・介護連携推進部会	尼崎市役所 Web	月1回程度 感染状況に応じて中止あり	原田広美
尼崎市社会保障審議会高齢者保健福祉専門分科会 計画策定部会	中央北生涯学習プラザ Web	年間4回程度 感染状況に応じて中止あり	原田広美
尼崎市地域ケア会議代表者会議	Web会議	年間2回程度	畑中文恵

尼崎市地域ケア会議 アドバイザー会議	Web 会議	感染状況に応じて中止あり	畑中文恵
兵庫県訪問看護ステーション 連絡協議会阪神南ブロック 尼崎支部定例会	Web 会議	不定期に必要時に開催した	原田広美
尼崎居宅介護支援事業連絡会	中小企業センター 中央北生涯学習プラザ	令和2年4/16、5/25、7/14 9/18、10/16、11/10 令和3年1/15、2/26	木田義彦

【神戸訪問看護ステーション】

会 議 名	会議場所	会議開催年月日	出席者名
兵庫県医療的ケア運営委協議会	兵庫県民会館	令和2年7月9日 令和2年10月6日 令和2年12月22日	二宮園美
医療的ケア児支援連携協議会	兵庫県民会館	令和3年2月15日	二宮園美
中央区在宅医療・介護連携推進協議会	中央区医師会 (Web 会議)	令和2年7/30、9/17、11/12 令和3年1/21、3/18	清水文絵
神戸市ケアマネジャー連絡会、 理事会	神戸市福祉センター (Web 会議)	令和2年 5/7、6/17、7/15、 8/19、9/16、11/18 令和3年 1/20、3/17	清水文絵

【出石訪問看護ステーション】

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者名
豊岡市在宅医療・介護連携推進協議会	豊岡市医師会館	令和2年7月22日	松田直美
	豊岡市役所	令和2年8月21日	松田直美
豊岡市在宅医療・介護連携支援センター運営委員会	豊岡市医師会館	令和2年8月17日	松田直美
		令和3年2月15日	松田直美
地域ケア会議	出石健康福祉センター	令和2年6月19日	俵 和敏

V 行政の審査会議等への出席

1. 尼崎市保健所運営協議会 2 尼崎市介護認定審査 3 尼崎市地域包括支援センター運営部会
出席者：並河直子

VI 事業目標実績 令和2年4月1日～令和3年3月31日

1. 訪問看護事業

			尼崎		出石		神戸	
介護 保険	年間訪問 延件数	訪問看護 リハ60分1件	8,535		3,616		4,195	
	医療 保険	年間訪問 延件数	8,179		1,939		1,980	
訪問	職種		N s	PT	N s .	PT	Ns	PT

担当職員	常勤者数	13	1	4	0	5	1
	非常勤者数	11	1	3	1	5	0
	常勤換算数	20.51	1.8	5.1	1	8.45	1

2. 居宅介護支援事業

		尼崎	出石	神戸
介護度		計画策定延件数	計画策定延件数	計画策定延件数
要支援		298.5 (597)	131.5 (263)	135 (270)
要介護		1,402	431	605
計		1710.5	562.5	740
担当職員1人当たり件数 (要支援=0.5件)		29.5/月	26.0/月	34.2/月
担当職員	常勤者数	4	1	1
	非常勤者数	1	1	1
	常勤換算数	4.8	1.8	1.8

3. 訪問介護事業 (尼崎)

障害福祉	年間訪問延件数	居宅介護	1,147
		重度訪問介護	1,126
介護保険	年間訪問延件数	専門型訪問介護	122
		訪問介護	3,521
担当職員	常勤者数	2	
	非常勤者数	6	
	常勤換算数	5.85	

◆尼崎市認知症初期集中支援事業の報告

1. 目的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるように厚生労働省が策定した認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)の中で、「認知症初期集中支援チーム」は認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的として、平成30年度までに全ての市町村に設置することが義務付けられた。尼崎市はそのチームを訪問看護ステーションへ設置することを決定、当ステーションが受託し平成29年10月より活動開始した。

2. 活動実績

1) チーム構成員

尼崎訪問看護ステーションから3名、併設する尼崎ケアプランセンターから1名を主チーム員とする他、認知症疾患医療センター機能をもつ県立尼崎総合医療センターの精神科医を嘱託医とし、同病院の認知症認定看護師1名、行政の担当者1名で構成される。

2) 令和2年度(令和3年3月まで)の対象者の概要

今年度支援した対象者27件のうち新規依頼は22件、男性12名(56%)、女性10名(44%)、年齢は57歳~93歳で、80歳代が10名と最も多かった。単独世帯11名(50%)、夫婦世帯6名(23%)、家族同居5名(22%)であった。介入依頼理由は「本人の受診拒否が強い」「本人・家族が介護サービスの必要性を感じていない、拒否している」が最も多かった。認知機能レベルはDASC31~66点(平均45.4点 未検査

4名)、HDS-R8～25点(平均15.4点 未検査9名)であった。

3. 活動の評価

1) 対象者訪問と特徴

自宅訪問は、平均16.6回/月、1人あたり2.17回/月、介入開始から終了までの訪問回数は7.4回/人であった。介入期間は平均3.3カ月で最短7日、最長は10か月であった。独居者が半数をしめ、電話が使用できないケースも多く、16.6回/月のうち不在訪問は3.8回/月となった。

2) 支援の状況

介入時医療未受診は8名、医療中断7名と68%が医療を受けていない状況であった。医療機関への受診に繋げる支援を行い、11名が受診の開始及び再開をすることができた。そのうち7名が認知症鑑別診断を行っている。医療中断のうち2名は現在支援中、未受診2名は介入中に死亡している。

介護保険未申請17名、サービス利用なし4名と合わせて95%の対象者が介護保険サービスを利用していない状況であった。介入後介護保険申請者は17名となり、12名がサービスを開始した。また介入後入院となった2名については介護保険未申請のまま入院している。

3) チーム員の取り組み

訪問看護の実績を活かし、医療機関(専門医療機関を含む)への受診、介護保険サービスの利用が本人、家族にとってメリットがあることについて丁寧に説明し、心理的サポートも同時に行った。また医療機関との連携や受診同行を積極的に行い、受診しやすい環境を整えたことで、受診困難ケースも医療に繋げることができたと考えている。鑑別診断、相談先のサポートにより2名は精神科疾患と診断されている。また認知症看護認定看護師により認知機能の具体的なアセスメントを行い、対象者の状態に合わせたかわり方が行えるよう、家族やチーム員、地域包括支援センター、介護支援専門員などの関係者と情報共有を行った。

4) 昨年度モニタリング報告

昨年度終了者49名中、課題なし42名、課題あり7名であった。課題ありの内訳は、定期受診が出来ていない、介護サービスにつながらない、中断した、擁護者の問題であった。チーム介入前に医療・介護につながっていなかった36名は介入後6名と減少し、その後も86%はそのままサービスが継続できている状態で、チームの介入に効果がみられていると考える。しかし、もともと困難事例も多く、なんとかサービスを利用できているが、様々な課題を感じている介護支援専門員も多かった。そのため、支援者の対応力の向上や緊急性・重症度の高いケースの予防(早期発見)、チーム員の対応力の向上に取り組んでいく必要があると考えている。

◆兵庫県訪問看護ステーション教育支援強化事業(教育ステーション)の報告

1. 目的

この事業は、在宅医療推進の要となる24時間対応が可能な訪問看護ステーションを増加し、在宅看護の効率化を図るために、「在宅看護拠点整備事業」「特定行為研修受講支援事業」と共に、兵庫県が在宅看護体制機能強化事業として実施する事業のひとつである。

身近な地域において訪問看護ステーションの訪問看護師が実践的な研修・助言等が受けられる仕組みを整備し、在宅看護体制の強化を促進するとともに、訪問看護師の定着促進・離職防止を図ることを目的として令和元年度から開始している。

2. 事業内容

教育ステーションとなる指定要件は機能強化型訪問看護管理療養費を算定している事業所で、指導者と

して専門看護師、認定看護師、それに準ずる看護師がいることである。指定された教育ステーションは、県内の小規模訪問看護ステーションや医療機関に勤務中の看護職者へおこなった同行訪問や集合研修に対して補助を受ける。同行訪問は、医療依存度が高い事例や支援困難事例への対応が習得できるように、教育ステーションで実施する場合と、依頼側のステーションで実施する場合がある。

3. 活動実績

1) 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のために、同行訪問は自粛した。

2) 集合研修

・令和2年12月までは、コロナ感染拡大で、定例の会議や研修が思うように開催できなかった。

そこで、ZOOM を使って連絡会の会議に全てのステーションが参加でき会議の活性化を図る目的で全てのステーションがパソコンのメールや ZOOM 研修等を活用できるように、実際の場面でマイクの使い方、カメラの使い方、ミュートの使い方、ZOOM 研修の退室する方法、用語の説明を行い習得してもらう研修を3日間企画した。

【ZOOM 対応研修】

(1) 令和3年1月25日 11:30~13:30分 (2時間)

(2) 令和3年1月26日 16:30~18:30 (2時間)

(3) 令和3年1月29日 18:30~20:30 (2時間) 3日間で、30ステーションが参加

・新型コロナウイルスの感染拡大が進む中、対応病床の逼迫度が高まり在宅療養者で入院待機中の陽性患者に対し必要な訪問看護サービスを提供について市から依頼があった。陽性への訪問で感染対策のポイントとなるのが PPE 着脱方法である。在宅版 PPE 着脱の流れの基本的な内容の検討から動画作成において、常に感染管理認定看護師の指導を受けながら作成をおこなった。作成した動画を約1週間配信し、各事業所で実際に演習等を行ってもらい、その後、今回感染管理認定看護師を講師に招いて質疑応答を交えた研修を行なった。

【新型コロナウイルス感染対策 在宅における PPE 着脱研修、動画配信後の質疑応答研修】

(4) 令和3年2月17日~ 令和3年2月23日 動画配信研修

(5) 令和3年2月24日 17:30~18:30 ZOOM 研修 参加者 37名

4. 活動の評価

集合研修では、①ZOOM を使って連絡会の会議に全てのステーションが参加でき会議の活性化を図る。

②ZOOM での研修を充実させ看護の質向上を図る事を目的で研修を企画した。3日間の ZOOM 対応研修を実施した結果、その後の2つの ZOOM 研修がスムーズに実施できた。研修の流れとしては2か月の短い期間に5回の研修ができ、1回の定例会議も ZOOM で実施する事ができた。次年度もコロナ禍での研修や会議の活性化が図れる内容であったと評価できる。

この事業を効果的に運用するために、訪問看護ステーション連絡協議会の支部や地区と連携していくことは重要だと思われる。しかし、例えば尼崎市内の訪問看護ステーションで連絡協議会へ加入しているのは約半数である一方、連絡協議会未加入の訪問看護ステーションの殆どが小規模ステーションであり、そのステーションは連絡協議会で討議される内容や情報共有ができず、訪問看護サービスの質の担保が難しい状況にあると考えられる。それらのステーションが質を向上させる実践的な支援ツールとして教育ステーションを有効活用してもらうためには、広報活動が重要であり、更に広報方法を検討していく必要があると考える。

◆機能強化型訪問看護ステーション（尼崎）の地域等への貢献活動としてまちの保健室活動の報告

1. 目標

地域住民の健康意識を高めることを目的として平成 27 年度から開催しているまちの保健室は、当ステーション近隣のスーパーマーケットで年 2～3 回開催している。今年も継続開催することを目標として活動を実施する。

2. 活動実績

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のために自粛した。

令和2年度 支部活動報告書

阪神南 支部

支部代表氏名 平井 三重子

1. 支部運営会議 (合同会議を含む)

回	開催年月日	主な審議事項 (項目のみ)	出席者数
	令和2年4月9日		中止
	令和2年6月11日		中止
	令和2年6月23日	【郵送】 1) 令和2年度第3回理事会報告 2) 阪神南支部年間計画予定表 3) 阪神南支部役員等一覧表 4) 令和元年度支部活動報告書 5) 令和2年度支部活動計画書 6) 事業計画書	8名
1	令和2年8月13日	【メール会議・郵送】 1. 報告事項：①令和2年度第4回理事会 2. 検討事項：①令和2年度支部活動計画 (案) ②会議室の運用	8名
2	令和2年8月26日	【メール会議】 1. 報告事項：①令和2年度支部活動計画 ②看護協会ナースセンターハローワーク共同事業 ③西宮医療会館、学校施設の申し込み方法 ④支部研修のあり方 2. 検討事項：①阪神南支部研修のあり方	8名
3	令和2年9月2日	【メール会議】 1. 報告事項：①ZOOM会議の検討 ②令和2年度 支部活動計画 ③看護協会ナースセンター・ハローワーク共同事業 ④11月28日阪神南支部研修のあり方 ⑤勉強会のご案内	8名
4	令和2年9月10日	【メール会議】 1. 報告事項：①令和2年度第5回理事会 2. 検討事項：①さくらFMの担当者 ②次回運営会議のあり方	8名
5	令和2年10月8日	1. 報告事項：①令和2年度第5回理事会 ②第4回兵庫県看護協会阪神南支部運営会議議事録 ③年間行事予定 ④令和2年度阪神南支部役員等一覧 ⑤各委員会活動報告 ⑥その他委員会 2. 検討事項：①あしや保健福祉フェア ②兵庫県看護協会地域ケア・地域看護推進会 ③兵庫県看護協会ナースセンター部	7名

6	令和2年12月10日	1. 報告事項 ①令和2年度第6回・7回理事会 ②令和2年度理事・支部・委員会合同会議 ③兵庫県看護協会 ④令和2年度阪神南支部役員等一覧表 2. 検討事項 ①「まちの保健室」ボランティア表彰候補者の推薦 ②支部会員会 ③令和3年度支部活動計画	8名
7	令和3年2月10日	1. 報告事項 ①令和2年度第8回理事会（抜粋） ②予算決算 ③西宮さくらFM放送 ④支部におけるWeb化推進に向けた環境整備 2. 検討事項 ①令和3年「看護の日・看護週間」イベント開催 ②令和2年度阪神南圏域看護職合同就職説明会 ③令和2年度兵庫県看護協会阪神南支部第2回会員会	7名
8	令和3年3月11日	1. 報告事項 ①令和2年度第9回理事会（抜粋） ②令和2年度施設代表者会 2. 検討事項 ①阪神南圏域合同説明会 ②令和3年「看護の日・看護週間」イベント開催	8名

2. 支部会員会（施設代表者会・支部事業報告会）

回	開催年月日	場所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	令和2年8月13日		「令和2年度阪神南支部役員等一覧表」 「令和元年度支部活動報告書」 「令和2年度支部活動計画等」	中止 【施設代表者に郵送】
2	令和3年2月10日	兵庫県看護協会	・公益社団法人兵庫県看護協会阪神南支部選出代議員及び予備代議員選出について報告事項 （1）兵庫県看護協会より報告事項（成田会長） （2）令和2年度支部事業活動報告 （3）令和3年度支部事業活動計画（案） 講演 「新型コロナウイルス感染症に対する当院での取り組み」 兵庫県立尼崎総合医療センター看護部参事 奥由香 氏 「新型コロナウイルス患者の看護の実際」 兵庫県立尼崎総合医療センター看護師長 浅山智美 氏 ・第1号議案の結果報告	【出席者数】 ・一般会員 5名 ・役員 5名 ・受任者 2名 合計 12名 【委任状数】 ・3354名 ・総数：3366名 （10月末会員数 5475名）

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	3回	9名
2	まちの保健室委員会	3回	8名
3	医療安全委員会	0回	0名
4	災害・健康危機対策委員会	3回+(協議メール3回)	7名

4. 教育に関する事項

1) 研修会

研修会名	開催年月日	場所	講師	参加者数
<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚障害の予防とケア ・摂食嚥下障害へのアプローチと口腔ケア ・病院と地域の連携 				中止

2) 看護研究発表会 中止

5. 地域看護活動に関する事項

1) 看護の日—看護フェスタ 中止

2) 看護フェア—芦屋健康福祉フェア、西宮市民健康フェア 中止

3) 休日版 パパのためのマタニティーセミナー 中止

4) 公益社団法人兵庫県看護協会 ナースセンター部との共同事業 地域における看護職合同説明会「阪神南圏域合同就職説明会」

開催年月日	場所	実施内容	参加者数
令和3年3月13日	西宮市職員会館	阪神南圏域合同就職説明会 参加施設：24施設 (病院16、福祉施設6、訪問看護 ステーション2)	[出務者]16名 [参加施設]24施設 38名 [求職参加者]計101名 (第1部44名 第2部57名)

6. まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備考
活動拠点における	拠点数	3箇所	
	健康相談活動回数	7回	
	子育て支援活動回数	7回	
	活動ボランティア数	12名	
出前隊	出前隊件数	1件	
	活動ボランティア数	2名	

* その他の活動（まちの保健室における研修会、機関誌発行等の活動）

令和元年度 事業報告書

7. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
社会福祉法人西宮市社会福祉事業団第53回評議員会	西宮市民会館	令和2年6月24日	恩田朋子
尼崎市社会保障審議会 高齢者保健福祉専門分科会	Web会議	令和2年10月26日	平井三重子
阪神南圏域健康福祉推進協議会 医療部会	芦屋市医師会医療 センター	令和2年7月22日	恩田朋子
阪神南地域医療構想調整会議	阪神南県民センター	令和2年8月25日	平井三重子
西宮医療連盟活動「さくらFM」への健康番組提供 (熱中症について)	西宮コミュニティ放送	令和2年5月27日	衣笠友美
西宮医療連盟活動「さくらFM」への健康番組提供 (災害関連疾患について)	西宮コミュニティ放送	令和2年8月26日	清水真幸
西宮医療連盟活動「さくらFM」への健康番組提供 (インフルエンザについて)	西宮コミュニティ放送	令和2年11月25日	山本美雪
尼崎市社会保障審議会 高齢者保健福祉専門分科会	Web会議	令和3年1月14日	平井三重子
西宮医療連盟活動「さくらFM」への健康番組提供 (褥瘡について)	西宮コミュニティ放送	令和3年2月24日	渡邊光子
尼崎市医療・介護連携協議会	Web会議 生涯プラザ (12/17)	令和2年5月28日、 6月18日、7月30日、 9月24日、11月26日 令和3年1月28日	今井わか奈

8. 地域別看護職員ネットワーク事業 中止

9. その他報告内容

令和2年10月

《兵庫県看護協会 地域ケア・地域看護推進委員会+阪神南支部地区理事》

* 「地域包括ケアに関わる看護職の現状調査」アンケート

阪神南支部の各関連施設・会員の皆様の現場の声を聞く

対象者：登録会員期間の入退院支援担当者

令和2年12月

《災害・健康危機対策委員会》

* 令和2年度 第1回阪神南圏域災害支援ナース交流会のお知らせ～YouTubeによる動画配信～

【動画ネーム】

1. 2020 災害支援ナース交流会 病棟避難訓練でわかる自部署の課題

2. 2020 災害支援ナース強化プロジェクトー COVID-19の実例を通して自部署の課題を考える

* 令和2年度 第2回阪神南圏域災害支援ナース交流会のお知らせ～YouTubeによる動画配信～

【動画ネーム】

1. 令和2年度災害支援ナース強化プロジェクト—トリアージ演習—
2. 令和2年度災害支援ナース強化プロジェクト—COVID-19の実対応を参考に自部署での対応を考える—

令和3年2月

《令和2年度阪神南支部第2回会員会》

*成田康子会長による「挨拶」と「兵庫県看護協会より報告事項」～YouTubeによる動画配信～

【動画ネーム】

1. 兵庫県看護協会阪神南支部 成田康子会長による「挨拶」
2. 兵庫県看護協会阪神南支部 成田康子会長による「兵庫県看護協会より報告事項」

令和2年度 支部活動報告

阪神北 支部

支部代表氏名 竹原 三千代

1. 支部運営会議 (合同会議を含む)

回	開催年月日	主な審議事項 (項目のみ)	出席者数
1	令和2年7月3日	役員・委員長・委員合同会議、新旧役員・委員会の引継ぎ、自己紹介、令和2年度事業日程の計画	38名
2	令和2年7月31日	役員・委員長会議：メール開催 会員会打ち合わせ：中止	9名
3	令和2年11月6日	役員・委員長会議：理事会報告、委員会報告、令和3年度選挙管理委員・推薦委員選出について、令和3年度代議員・予備代議員選出について、第2回会員会議事内容検討、今年度実践報告会について検討(開催の有無と方法の検討)、来年度支部年間計画について	9名
4	令和2年12月23日	役員・委員長会議：リモート会議 理事会報告、各地域・圏域会議出席報告、委員会報告、支部における看看連携の現状と課題について、第2回会員会(2月26日予定)について、令和3年度年間計画案(役員会と各委員会予定表)	9名
5	令和3年1月29日	役員・委員長会議：書面会議 理事会報告、委員会報告、次年度支部年間計画・各委員会計画について、会計予算、次年度の看護フェアの開催について	9名
6	令和3年2月26日	役員委員長会議：会員会準備および会員会打ち合わせ	8名

2. 支部会員会 (施設代表者会・支部事業報告会)

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項 (項目のみ)	参加者数
1	令和2年7月31日		地区理事あいさつ、理事会報告、新役員紹介、各委員会活動報告、令和2年度阪神北支部活動計画	(書面開催)
2	令和3年2月26日	宝塚商工会議所	地区理事あいさつ、協会活動について、代議員予備代議員選出、理事会報告、支部活動報告、委員会報告、次年度活動計画案	13名

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	3回	8名
2	まちの保健室委員会	1回	12名 コーディネータ含む
3	医療安全委員会	6回	7名

4. 教育に関する事項

1) 研修会（支部独自研修のみ）

研修会名	開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
認知症看護	令和2年9月12日	宝塚商工会議所		中止
災害看護	令和2年10月17日	宝塚商工会議所		中止
倫理研修	令和2年11月7日			中止
医療安全交流会①	令和2年9月10日	宝塚商工会議所	阪神北支部内における相互支援できるネットワークづくり～ワイガヤ会議～	中止
医療安全交流会①	令和2年12月17日	宝塚商工会議所	阪神北支部内における相互支援できるネットワークづくり～ワイガヤ会議～	12名

2) 看護研究発表会 中止

5. 地域看護活動に関する事項：今年度は、コロナ禍のため、中止

1) 看護の日

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和2年5月14日	宝塚ソリオ広場		中止

2) 看護フェア

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和2年6月		猪名川健康フェア	中止
令和3年3月		伊丹健康フェア	中止

6. まちの保健室事業に関する事項：今年度は、コロナ禍のため、全面中止

	活動内容等	回数等	備考
拠点における	拠点数	26箇所	
	健康相談活動回数	0回	
	子育て支援活動回数	0回	
	活動ボランティア数	0名	
出前隊	出前隊件数	0件	
	活動ボランティア数	0名	

7. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
阪神北圏域地域医療構想調整会議	阪神健康交流センター	令和2年7月31日	竹原三千代
伊丹市保健医療推進協議会	市立伊丹病院	令和2年8月31日	竹原三千代
丹波圏域地域医療構想調整会議	丹南健康福祉センター	令和2年7月16日	菅村幸代
丹波圏域健康福祉推進協議会 (介護・福祉部会)	丹波の森公苑	令和2年8月20日	菅村幸代

丹波市手話施策推進協議会	丹波市氷上住民センター	令和2年8月24日	菅村幸代
第2回伊丹市保健医療推進協議会	伊丹市役所	令和2年12月1日	竹原三千代
阪神北圏域健康福祉推進協議会	東リ いたみホール	令和2年12月7日	竹原三千代
第2回阪神北地域医療構想調整会議	伊丹シティホテル	令和3年2月4日	竹原三千代
丹波市手話施策推進協議会	丹波市柏原福祉センター	令和3年2月16日	菅村幸代
宝塚市病院事業運営審議会	宝塚市立病院	令和3年2月22日	竹原三千代
丹波圏域健康福祉推進協議会医療部会 及び地域医療構想調整会議	柏原総合庁舎	令和3年3月4日	菅村幸代

令和2年度 支部活動報告書

神戸東部 支部

支部代表氏名 水流 啓子

1. 支部運営会議（合同会議を含む）

回	開催年月日	主な審議事項（項目のみ）	出席者数
1	令和2年5月25日	理事会報告、会員会調整	5名
2	令和2年6月22日	理事会報告、役員の交代と紹介・支部計画、	7名
3	令和2年8月24日		中止
4	令和2年10月26日	理事会報告、代議員選出、	7名
5	令和2年12月21日	Web会議、理事会報告	6名
6	令和3年1月25日	Web会議、理事会報告	7名
7	令和3年3月22日	Web会議 理事会報告、7月の会員会の開催について	5名

2. 支部会員会（施設代表者会・支部事業報告会）

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	令和2年7月21日	兵庫県看護協会会館		中止
2	令和3年2月16日	兵庫県看護協会会館	代議委員・予備代議員選挙（文書で案内）	5名

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	1回	9名
2	まちの保健室委員会	1回	コーディネーター 3名 委員 10名
3	医療安全委員会	2回	11名
4	地域連携窓口委員会	3回	15名

4. 教育に関する事項

1) 研修会（教育委員会）

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
高次機能障害について	令和2年9月12日	兵庫県看護協会会館	神鋼記念病院：脳卒中リハビリテーション認定看護師 竹内希世子氏 言語療法士 山本智子氏	中止
看取りのケアとエンゼルメイク	令和2年11月28日	兵庫県看護協会会館		中止

2) 研修会（医療安全委員会）

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
チームステップス研修	令和2年8月2日	兵庫県看護協会会館	宮崎浩彰一氏	中止
チームステップス研修	令和3年1月	兵庫県看護協会会館	宮崎浩彰一氏	中止

3) 研修会（地域医療連携窓口委員会）

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
今さら聞けないACP がん患者の事例を通して人生を Let's think	令和2年10月30日	兵庫県看護協会 会館		中止

5. 地域看護活動に関する事項

1) 看護の日

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和2年 5月9日	兵庫県看護協会会館		中止

2) 看護フェア

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和2年11月14日	兵庫県看護協会会館	「健康相談会」 in まちの保健室 (※兵庫県看護協会&ナースセンターの 職員で開催)	15名

6. まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備考
拠点 活動 にお ける	拠点数	4 箇所	新型コロナウイルス感染症のため中止
	健康相談活動回数	0 回	〃
	子育て支援活動回数	0 回	実施無し
	活動ボランティア数	0 件	
出 前 隊	出前隊件数	0 件	新型コロナウイルス感染症のため中止
	活動ボランティア数 (累計)	0 名	

7. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
神戸圏域地域構想調整会議 地域包括ケア推進部会			中止
神戸市地域医療推進協議会	神戸市医師会館	令和2年 7月31日 令和2年 9月25日 令和2年11月27日	水流啓子
神戸マラソンメディカル 協議会	兵庫県民会館		中止

令和2年度 支部活動報告

神戸中部 支部

支部代表氏名 岡本 規子

1. 支部運営会議（合同会議を含む）

回	開催年月日	主な審議事項（項目のみ）	出席者数
1	令和2年5月21日	理事会報告，役員紹介 令和2年度年間計画について Webによる支部運営及び各委員会活動について（Web会議）	11名
2	令和2年8月24日	理事会報告，兵庫県看護協会委員会報告 コロナ禍における今後の中部支部運営について（Web会議）	11名
3	令和2年9月16日	理事会報告 Web化推進に向けた中部支部運営と役員・委員への配慮について 2月会員会他研修会開催を見据えた支部活動について（Web会議）	9名
4	令和2年10月15日	看護フェアについて 令和3年度の代議員・予備代議員の選出について 推薦委員，選挙管理委員の推薦について 延期となっている研修会について 各委員会の現状と今後の活動について（Web会議）	9名
5	令和2年11月19日	理事会報告 支部活動の中間報告について 「まちの保健室」ボランティア表彰候補者推薦について 2月会員会終了後に研修会開催の企画について（Web会議）	11名
6	令和2年12月17日	理事会報告 令和3年度中部支部研修計画について 令和3年度予算（案）について（Web会議）	9名
7	令和3年1月21日	2月18日の中部支部会員会，研修会について 支部配付のPCの運用について 令和3年度中部支部年間計画について（Web会議）	11名

2. 支部会員会（施設代表者会・支部事業報告会）

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	令和2年9月16日	兵庫県看護協会会館		中止
2	令和3年2月18日	兵庫県看護協会会館	令和3年度兵庫県看護協会代議員・予備代議員選出 令和2年度神戸中部支部活動報告 令和3年度神戸中部支部活動計画	17名 (委任状含め 2,259名)

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	4回	5名
2	まちの保健室委員会	4回	10名
3	医療安全委員会	4回	15名
4	災害対策委員会	4回	6名

4. 教育に関する事項

1) 研修会

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
発達障害のある看護師への対応	令和3年2月18日	兵庫県看護協会会館	川上ちひろ 氏	17名
	令和3年3月1日～7日、 3月11日～21日	オンデマンド		98名

5. 地域看護活動に関する事項

1) 看護の日

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和2年5月9日	兵庫県看護協会会館		中止

2) 看護フェア

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和2年11月14日	兵庫県看護協会会館	「健康相談会」 in まちの保健室 (※兵庫県看護協会&ナースセンターの職員で開催)	15名

6. まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備考
拠点における活動	拠点数	11箇所	
	健康相談活動回数	0回	
	子育て支援活動回数	0回	
	活動ボランティア数	132名	
出前隊	出前隊件数	1件	
	活動ボランティア数	2名	

* その他の活動 (まちの保健室における研修会、機関誌発行等の活動)

神戸市立西台中学校の1年生140名を対象に収録による「防煙教室」を開催

7. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
第1回兵庫区医療介護連携推進協議会	兵庫区医師会館	令和2年7月27日	深井功一郎
第2回兵庫区医療介護連携推進協議会	兵庫区医師会館	令和2年9月3日	深井功一郎
令和2年度 兵庫区医療介護連携推進協議会・兵庫区消防署連絡会議	神戸市医師会館	令和2年9月17日	深井功一郎
2020年度第1回神戸回復期リハビリ看護連携会議	神戸リハビリテーション病院	令和2年7月18日	茨木ゆかり
第3回兵庫区医療介護連携推進協議会	兵庫区医師会館	令和2年11月12日	深井功一郎
第2回神戸回復期リハビリ看護連携会	Web会議	令和2年12月25日	茨木ゆかり

8. その他報告内容

- ・地域別看護職員ネットワーク作り事業

令和2年度 支部活動報告

神戸西部 支部

支部代表氏名 大前 薫

1. 支部運営会議（合同会議を含む）

回	開催年月日	主な審議事項（項目のみ）	出席者数
1	令和2年7月9日	理事会報告、役員、委員紹介 教育・まちの保健室・地域連携窓口 各委員会活動	27名
2	令和2年8月13日	役員会のみ開催 理事会報告、感染相談会企画（9, 10, 11月） 委員会活動はコロナ禍のため休止 研修計画中止	10名
3	令和2年9月10日	役員会・まち保委員会開催 9/25西部支部会員会中止を決定 会員施設への郵送書類を検討（代議員選出関連書類） 第1回感染相談会	18名
4	令和2年10月8日	理事会報告、役員会、委員会活動（企画の再検討）教育委員会休 会 11月14日「看護フェア」の白衣の提供依頼 第2回感染相談会	20名
5	令和2年11月12日	理事会報告、役員会、委員会活動 地域連携窓口委員会休 会 今年度の活動計画中間評価 第3回感染相談会	21名
6	令和2年12月10日	理事会報告、役員会、教育委員会活動	11名
7	令和3年1月14日	理事会報告、各委員会活動休 会	中止
8	令和3年2月10日	2月26日会員会 内容検討 役員会のみ 次年度各委員の人選について	5名

2. 支部会員会（施設代表者会・支部事業報告会）

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	令和2年9月25日	兵庫県看護協会会館		中止
2	令和3年2月26日	兵庫県看護協会会館	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県看護協会代議員予備代議 員選挙 ・日本看護協会・兵庫県看護協会 活動報告支部活動報告 	13名

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	3回	11名
2	まちの保健室委員会	4回	12名
3	医療安全委員会	休会	0名
4	地域連携窓口委員会	2回	6名

4. 教育に関する事項

1) 研修会（支部独自研修のみ）

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
施設見学 「見てみよう！退院 後の生活の場」	令和2年10月—日			中止
呼吸のフィジカルア セスメントとポジシ ョニング	令和2年11月29日	神戸市看護大学		中止
診療所カフェ	令和3年—月—日	新長田勤労市民 センター	地域連携窓口委員 会メンバー	中止
第1回 感染相談会	令和2年9月10日	神戸掖済会病院	感染管理認定看護師 田口菊久子 氏	役員7名 6名
第2回 感染相談会	令和2年10月8日	神戸掖済会病院	感染管理認定看護師 新井まゆ子 氏	役員7名 6名
第3回 感染相談会	令和2年11月12日	神戸掖済会病院	感染管理認定看護師 大藤一美 氏	役員5名 3名

5. 地域看護活動に関する事項

1) 看護の日

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和2年5月9日	兵庫県看護協会会館		中止

2) 看護フェア

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和2年11月14日	兵庫県看護協会会館	「健康相談会」 in まちの保健室 (※兵庫県看護協会&ナースセンターの 職員で開催)	15名

6. まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備考
拠点 における 活動	拠点数	12箇所	令和2年度は1拠点のみ活動
	健康支援・物忘れ看護相談・心と身 体の看護相談 回数	8回	神戸市看護大学（7・8・9・10月）
	子育て支援活動回数	0回	
	活動ボランティア数	17名	
出前 隊	出前隊件数	中止	新型コロナウイルス感染症対策のため 中止
	活動ボランティア数	0	

* その他の活動（まちの保健室における研修会、機関誌発行等の活動）

7. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

学校行事参加等もすべて中止

神戸市マラソン協議会のみ電話及び郵送にて参加

令和2年度 支部活動報告

東播 支部

支部代表氏名 堀口 由香里

1. 支部運営会議（合同会議を含む）

回	開催年月日	主な審議事項（項目のみ）	出席者数
1	令和2年4月17日		中止
2	令和2年5月15日		中止
3	令和2年6月27日		中止
4	令和2年7月17日	看護協会定時総会報告、支部会員会の振り返り、支部活動の在り方について、各委員会報告	46名
5	令和2年8月21日		中止
6	令和2年9月18日		中止
7	令和2年10月16日	支部活動の在り方について、支部会員会企画、各委員会報告	46名
8	令和2年11月20日		中止
9	令和2年12月18日	支部会員会開催に向けて企画・準備、各委員会報告	28名
10	令和2年1月15日	支部会員会開催に向けて準備・資料作成	8名
11	令和2年2月19日		中止
12	令和3年3月19日	今年度のまとめ・次年度計画（支部・各委員会）2月会員会報告	46名

2. 支部会員会（施設代表者会・支部事業報告会）

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	令和2年6月27日			中止
2	令和3年2月23日	明石市立市民病院 講義室	東播支部代議員及び予備代議員選出、支部活動報告、施設代表者会	8名

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	3回	10名
2	まちの保健室委員会	4回	17名
3	医療安全委員会	3回	8名
4	災害安全委員	4回	10名

4. 教育に関する事項

1) 研修会

研修会名	開催年月日	講師	参加者数
災害支援における知識を現場に活かす		兵庫県立大学 看護学部 教授 大野かおり 氏	中止
4FDS (Four-Dimensional-Assessment System) を用いた認知症ケアとは?		兵庫県健康福祉課参事 健康局認知症対策室長 柿本達也 氏 加東健康福祉事務所 認知症対策業務委託員 林谷啓美 氏	中止
認知症の人との適切なかかわり方へ認知症とせん妄の見分けるポイントへ		明石医療センター 認知症看護認定看護師 中島昌二 氏	中止
医療安全研修 内服薬管理 在宅へ向けての取り組み		医療安全委員	中止
医療安全研修 医療訴訟について		外山法律事務所 弁護士 外山弘 氏	中止

5. 地域看護活動に関する事項

1) 看護の日

開催年月日	場所	実施内容	参加者数
令和2年5月23日	イオン洲本ショッピングセンター		中止
令和2年5月26日	加古川ニッケパークタウン		中止

2) 看護フェア

開催年月日	場所	実施内容	参加者数
令和2年11月頃	加古川市役所広場		中止
令和2年11月頃	魚住清水小学校		中止
令和2年11月頃	明石王子小学校		中止

6. まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備考
る拠点活動における	拠点数	14箇所	
	健康相談活動回数	回	
	子育て支援活動回数	回	
	活動ボランティア数	222名	

7. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
こころ豊かな美しい東播磨推進会議	加古川総合庁舎	令和2年6月19日	堀口由香里
第1回東播磨圏域健康福祉推進協議会および地域医療構想調整会議	加古川総合庁舎	令和2年8月20日	堀口由香里

第1回淡路圏域健康福祉推進協議会	洲本総合庁舎	令和2年8月24日	濱田啓子
第1回1市2町在宅医療・介護連携支援センター	ウエルネージかこがわ	令和2年9月30日	堀口由香里
こころ豊かな 美しい東播磨推進会議	加古川総合庁舎	令和2年12月5日	小幡紀子
第2回東播圏域健康福祉推進協議会	加古川総合庁舎	令和2年12月11日	堀口由香里
第2回1市2町在宅医療・介護連携支援センター	ウエルネージかこがわ	令和3年2月16日	堀口由香里
第2回淡路圏域地域ケア会議 (医療介護連携部会)	Web 会議	令和3年2月18日	堀口由香里
第3回東播圏域健康福祉推進協議会	加古川総合庁舎	令和3年2月22日	堀口由香里

令和2年度 支部活動報告

北播 支部

支部代表氏名 高田 としみ

1. 支部運営会議（合同会議を含む）

回	開催年月日	主な審議事項（項目のみ）	出席者数
1	令和2年5月21日	理事会・各委員会報告 令和2年度第1回会員会について 令和2年度の活動について	7名
2	令和2年6月19日	理事会・各委員会報告 感染対策について協議	8名
3	令和2年7月16日	役員自己紹介 理事会・各委員会報告 令和2年度第1回合同就職説明会について 令和2年度支部運営会・委員会の日程について 令和2年度施設代表者会・会員会について	8名
4	令和2年9月18日 (Web 会議)	理事会・各委員会報告 令和2年度第1回合同就職説明会の報告 Web化推進に向けた支部および職能（委員会）の環境整備について 10月10日の会員会について 令和2年度会議等日程について	7名
5	令和2年11月19日 (Web 会議)	理事会・各委員会報告 2040年を展望して『兵庫県看護協会活動の今後のあり方』について 2月の会員会について 令和3年度第1回会員会について 令和2年度会議等の日程表、委員会・会議開催予定	6名
6	令和3年1月25日 (Web 会議)	理事会・各委員会報告 2月の会員会について 看護の日のイベントについて 令和3年度第1回会員会について	6名
7	令和3年2月12日 (Web 会議)	各委員会報告 2月の会員会・施設代表者会について	7名
8	令和3年3月18日 (Web 会議)	理事会・各委員会報告 看護の日のイベントについて 4～6月の各委員会と支部運営会の開催について	6名

2. 支部会員会（施設代表者会・支部事業報告会）

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	令和2年6月27日	滝野文化会館	兵庫県看護協会活動報告 令和元年度北播支部活動・各委員会報告 令和2年度北播支部活動計画 令和2年度支部役員紹介	中止
2	令和2年10月10日	北播磨総合医療センター	紙面にて報告	

3	令和3年2月20日	(第1会場) 北播磨総合医療センター (第2会場) 市立西脇病院 (Web会議)	公益社団法人兵庫県看護協会代議員 及び予備代議員選出について 健康危機対策委員会名称変更について 兵庫県看護協会活動報告 令和2年度北播支部・委員会活動報告 令和3年度北播支部活動計画	33名
---	-----------	--	---	-----

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	4回	7名
2	まちの保健室委員会	2回	8名
3	医療安全委員会	4回	6名
4	健康危機対策委員会	4回	7名

4. 教育に関する事項

1) 研修会（支部独自研修のみ）

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
看護研究を基礎から学ぼう①② ～看護研究計画書の作成～	令和2年7月11日	関西国際大学 三木キャンパス	関西国際大学 保健医療学部看護学科教授 高見沢恵美子氏	中止
	令和2年8月1日			中止
アクションカードを作ろう！ ～アクションカードの意義と作成方法～	令和2年9月5日	小野市うるおい 交流館エタラ	姫路聖マリア病院看護部長 沢田洋子氏	中止
暴言・暴力・ハラスメント対策について	令和2年9月26日	小野市うるおい 交流館エタラ	関西医科大学看護学部 看護学研究科 三木明子氏	中止
口腔ケアの再構築	令和2年11月7日	小野市うるおい 交流館エタラ	兵庫県歯科衛生士会 北播磨支部 厨子久美子氏	中止

2) 講演会

研修会名	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
テーマ未定	令和2年6月27日	滝野文化会館	チャプレンカウンセラー 沼野尚美氏	中止

3) 看護研究発表会

発表演題数	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
	令和3年2月27日	小野市うるおい 交流館エタラ	関西国際大学 保健医療学部看護学科教授 高見沢恵美子氏	中止

4) リスクマネージャー交流会／研修会 「KYT (危険予知トレーニング)」

回	開催年月日	場 所	講 師	参加者数
1	令和2年10月7日	北播磨総合医療センター		中止
2	令和3年3月4日	北播磨総合医療センター		中止

5. 地域看護活動に関する事項

1) 看護の日

開催年月日	場所	実施内容	参加者数
令和2年5月10日	やしろ ショッピングパークBio	健康チェックコーナー、防災コーナー 啓発コーナー、体験コーナー	中止

2) 看護フェア・ふれあい看護体験

開催年月日	場所	実施内容	参加者数
令和2年5月～8月	各病院・施設	各施設で実施	中止

6. まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備考
拠点における活動	拠点数	6カ所	白雲谷温泉ゆびか 道の駅三木 アステシア加西 西脇市立西脇病院クローバーの会 やしろショッピングパークBio なごみの里山都
	健康相談活動回数	0回	
	子育て支援活動回数	0回	
	活動ボランティア数	0名	
出前隊	出前隊件数	0カ所	
	活動回数	0回	
	活動ボランティア数	0名	

7. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
令和2年度第1回北播磨圏域健康福祉推進協議会	兵庫県嬉野台生涯教育センター	令和2年7月15日	高田としみ
令和2年度第2回北播磨圏域健康福祉推進協議会 令和2年度第2回北播磨保健医療福祉連絡協議会	小野市うるおい交流館エクラ	令和3年3月3日	高田としみ
令和2年度災害時北播磨地域医療対策会議	小野市うるおい交流館エクラ	令和3年3月12日	高田としみ

8. その他報告内容

1) 北播磨地域看護職合同就職説明会

開催年月日	場所	実施内容	参加者数
令和2年5月30日	小野市うるおい交流館 エクラ	助産師・看護師・准看護師・介護福祉士・ 看護補助員、看護学生を対象に施設の説明	10施設参加 予定 中止
令和2年9月6日	小野市うるおい交流館 エクラ	助産師・看護師・准看護師・介護福祉士・ 看護補助員、看護学生を対象に施設の説明	参加12施設 来場者19名

2) 施設代表者会

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和3年2月20日	(第1会場) 北播磨総合医療センター (第2会場) 市立西脇病院 (Web会議)	令和4年度日本看護協会代議員、予備代議 委員の選出 令和3年度推薦委員・選挙管理委員の選出 令和4年度支部役員・委員施設の選出 令和3年度兵庫県看護協会定期総会議長候補者 と予備要員の選出 令和4年度看護の日のイベント担当地区につ いて合同就職説明会について	25 施設 33 名

令和2年度 支部活動報告

西播 支部

支部代表氏名 藤原 恵子

1. 支部運営会議 (合同会議を含む)

回	開催年月日	主な審議事項 (項目のみ)	出席者数
1	令和2年4月21日	【新型コロナウイルス感染症対策にてメール会議】 ・新型コロナウイルス感染対策に伴う全体計画に見直し ・改選役員の選出及び西播支部次期補佐の確認	—
2	令和2年5月19日	【新型コロナウイルス感染症対策にてメール会議】 ・西播支部委員会活動、支部会員会の開催方法について	—
3	令和2年6月16日	①令和2年度西播支部活動計画の確認 ②メール会議の報告 ③第1回西播支部会員会開催について	6名
4	令和2年7月21日	①新役員・委員紹介 ②令和2年度兵庫県看護協会 理事会報告 ③令和2年度西播支部活動計画の説明	7名
5	令和2年8月18日	①兵庫県看護協会 臨時理事会報告 ②令和2年度看護職員合同就職説明会について	8名
6	令和2年9月15日	①兵庫県看護協会 第5回理事会 (9/12) 報告 ②検討事項 (合同就職説明会・ネットワーク研修会) ③第2回西播支部会員会の開催について	8名
7	令和2年10月20日	①第2回西播支部会員会、令和3年度兵庫県看護協会代議員・予備 代議員の推薦について ②検討事項 (合同就職説明会・ネットワーク研修会)	7名
8	令和2年11月17日	①兵庫県看護協会第6回理事会 (11/7) 報告 ②看護情報提供書に関するヒアリングの報告 ③検討事項 (合同就職説明会・ネットワーク研修会)	7名
9	令和2年12月15日 Web会議	【Web会議に変更】役員及び各委員長参加 ①第7回理事会の報告 ②会員会の開催方法の検討 ③合同就職説明会の打ち合わせ ④看護実践報告会について	7名
10	令和3年1月19日 Web会議	【Web会議に変更】役員及び教育委員・医療安全委員参加 ①令和2年度合同就職説明会in西播の中止報告 ②令和3年度支部活動計画 (案) 及び予算 (案) について ③第3回会員会 (2/13) について	7名
11	令和3年2月16日	①教育委員会: Zoomで開催するにあたり看護実践報告会リハーサル	4名
12	令和3年3月16日	①令和3年度支部運営計画 (案) ②令和3年度第1回会員会の企画について ③合同就職説明会について	8名

2. 支部委員会（施設代表者会・支部事業報告会）

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	令和2年6月27日	姫路市医師会館 【施設代表者に郵送】	①令和元年度 支部活動報告及び会計報告 ②令和2年度 支部活動計画及び予算案 ③西播支部役員分担表	—
2	令和2年10月20日	姫路市商工会議所 【施設代表者に郵送】	①令和2年度支部活動中間報告 ②令和3年度兵庫県看護協会代議員候補者の選出について	—
3	令和3年2月13日	姫路市商工会議所	①令和3年度兵庫県看護協会代議員及び予備代議員の選挙 ②令和2年度支部活動報告 ③令和3年度支部活動計画（案）	42名

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催予定と開催数	委員数
1	教育委員会	10回→9回	8名
2	まちの保健室委員会	12回→3回	11名
3	医療安全委員会	10回→5回	10名
4	健康危機対策委員会	10回→4回	12名
5	地域連携委員会	11回→5回	9名

※新型コロナウイルス感染症対策のため、各委員会の定例会の開催回数は計画よりも減った。

4. 教育に関する事項

1) 研修会

研修会名	開催年月日	場 所	講師	参加人数
フィジカルアセスメント	令和2年5月23日	姫路メディカルシミュレーションセンターひめマリア	岸本博一氏 兵庫県立姫路循環器病センター 集中ケア認定看護師	中止
医療安全における再発防止	令和2年8月1日	姫路・はりま地場産業センター	新村美佐香一氏 菊名記念病院 医療安全管理室 室長・医療安全管理者	中止
慢性心不全の看護	令和2年9月12日	姫路メディカルシミュレーションセンターひめマリア	小國恵子 氏 姫路循環器病センター 慢性心不全看護認定看護師	11名
摂食嚥下アセスメント研修	令和2年10月24日	姫路メディカルシミュレーションセンターひめマリア	永濱育代 氏 有馬高原病院 摂食嚥下障害看護認定看護師	14名
意思決定人生会議	令和2年11月21日	姫路市医師会館	柳生愛一氏 姫路聖マリア病院緩和ケア認定看護師	中止

2) 看護研究発表会

発表演題数	開催年月日	場所	講師	参加人数
18 演題	令和3年2月20日	Web で開催		—

3) 各種交流会

研修会名	開催年月日	場所	講師	参加人数
看・看護連携交流会「診療所の看護師と共に語ろう！」	令和2年6月11日	姫路商工会議所		中止
リスクマネージャー交流会「せん妄患者対応」	令和2年7月4日	姫路商工会議所	清水勇雄 氏 高岡病院医師	44名
災害支援ナース交流会	令和2年10月3日	姫路大学	八瀬和佳恵 氏 姫路日本赤十字病院 感染管理認定看護師 有川敦子 氏 姫路市保健所副所長	34名
リスクマネージャー交流会	令和2年10月31日	姫路商工会議所	4施設	中止
アクションカード研修	令和2年12月5日	姫路大学	西播支部健康危機対策委員	中止

5. 地域看護活動に関する事項

1) 看護フェア

開催年月日	場所	実施内容	参加人数
令和2年5月23日	イオンモール姫路リバーシティ	血管年齢・血圧測定・骨密度測定・体組成測定・結果説明・栄養指導・ナース、ドクターに変身・災害コーナー	中止

6. まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備考
拠点における活動	拠点数	18箇所	
	健康相談活動回数	168回	
	子育て支援活動回数 (まちの子育てひろばを含む)	29回	
	活動ボランティア数	370名	
出前隊	出前隊件数	36件	
	活動ボランティア数	160名	

7. 地域関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
姫路市保健所運営協議会	姫路市総合福祉会館		中止

姫路市社会福祉法人審査委員会	姫路市総合福祉会館	令和2年7月1日	藤原恵子
中播磨地域保健医療対策会議	姫路市医師会館	令和2年9月25日	沢田洋子
令和2年度病院運営懇話会	県立姫路循環器病センター	令和3年1月27日	藤原恵子
播磨姫路圏域地域医療構想調整会議 (中播磨地域)	姫路市医師会館	令和2年7月15日 令和3年2月12日 書面 令和3年3月3日 書面	藤原恵子
中播磨地域健康福祉推進協議会(医療部会)	姫路市医師会館	令和2年7月15日 令和3年3月10日	藤原恵子
中播磨地域健康福祉推進協議会(介護・福祉部会)	姫路市医師会館	令和2年7月15日 令和2年11月25日 令和3年2月12日 ・3月5日書面	藤原恵子
西播磨地域健康福祉推進協議会医療部会 地域医療構想調整会議(西播磨地域)	兵庫県龍野庁舎	令和2年7月22日 令和3年3月5日 (Web会議)	肥塚喜子
播磨姫路圏域地域医療構想調整会議 (全体会議)	姫路市医師会館	令和2年5月19日 (延期:書面) 令和2年10月28日	藤原恵子・ 肥塚喜子
姫路市防災会議及び国民保護協議会	姫路市防災センター	令和2年6月23日 令和2年7月20日 ~28日(書面会議)	藤原恵子
姫路市総合防災訓練・国民保護訓練			中止
姫路市医療介護連携会議	姫路市医師会館	令和2年6月23日 令和3年2月10日 (書面開催) 令和3年3月24日 (Web会議)	藤原恵子
れんけい手帳検証部会	姫路市医師会館	令和2年10月12日 令和2年12月21日	小谷ルツ、 河合初恵
姫路市地域医療連絡会議		令和3年2月10日 (書面開催)	藤原恵子
こころ豊かな美しい中播磨推進会議	姫路職員福利センター	令和2年6月17日	藤原恵子
こころ豊かな美しい西播磨推進会議	西播磨総合庁舎		中止
姫路市保健所運営会議	姫路市総合福祉会館		中止
西播磨圏域リハビリテーション連絡協議会	龍野庁舎本館		中止
健康ひょうご21 県民運動中播磨会議		令和3年2月8日 (書面開催)	
姫路市社会福祉審議会			中止

8. その他の報告内容

1) 地域別看護職員ネットワーク事業研修

新型コロナウイルス感染症対策のためオンラインで開催

開催日：令和2年11月28日

テーマ：コロナ禍の今、私たちにできること

2) 令和2年度 看護師合同就職説明会 in 西播

開催日：~~令和3年1月17日(日) 12:00～16:00~~ 中止

場 所：~~姫路イーグレ あいメッセホール~~

3) 看護情報提供書についてのヒアリング

実施日：令和2年11月9日

日本看護協会から診療報酬に関する政策提言を目的に、地域連携委員会が作成した看護情報提供書についてヒアリングを受けた。

令和2年度 支部活動報告

但馬 支部

支部代表氏名 出口 里美

1. 支部運営会議（合同会議を含む）

回	開催年月日	主な審議事項（項目のみ）	出席者数
1	令和2年6月11日	理事会報告、新旧引継ぎ会、予定研修会について、会員会について	13名
2	令和2年9月10日	理事会報告、令和2年度会議・委員会について・代議員選出について・地域別看護職員ネットワークづくり事業について	7名
3	令和2年10月8日	理事会報告、代議員選出について、次年度役員について、中間報告について	8名
4	令和2年11月12日	理事会報告、代議員選出の准看護師について、次年度活動計画について、施設代表者会議の意見について	7名
6	令和2年12月10日	理事会報告、2月会員会について、次年度役員について、次年度活動計画について、まち保表彰について	7名
7	令和3年1月14日	理事会報告、支部活動報告、支部活動計画、令和3年度予算、2月会員会について	7名
8	令和3年3月11日	理事会報告、次年度支部研修会について、次年度会議・委員会について、オンライン研修について、地域別看護職員ネットワーク事業について	7名

2. 支部会員会（施設代表者会・支部事業報告会）

回	開催年月日	場 所	報告・審議事項（項目のみ）	参加者数
1	令和2年7月28日		第1回委員会は閲覧方式にして兵庫県看護協会ホームページに記載と配布資料として各施設に書面で報告した	(書面報告)
2	令和3年2月13日	但馬長寿の郷 (新型コロナウイルス感染症対策のため施設代表者のみ)	県看護協会報告、代議員・予備代議員選出選挙、事業報告、事業計画	8名
3	令和2年11月12日	豊岡病院	施設代表者会議 理事会報告、令和3年度支部役員選出について、意見交換・協会への要望	12名

3. 委員会開催状況

回	委員会名	委員会開催数	委員数
1	教育委員会	5回	10名
2	まちの保健室委員会	5回	13名
3	医療安全委員会	7回	6名
4	地域連携（健康危機）	4回	4名

4. 教育に関する事項

1) 研修会

研修会名	開催年月日	場 所	参加者数
これならできる！認知症の人とのコミュニケーション	令和2年7月4日	豊岡病院	中止
倫理と医療安全	令和2年8月29日	豊岡病院	中止
みて・きいて・感じるフィジカルアセスメント	令和2年9月26日	豊岡病院	中止
はじめよう！フットケア	令和2年10月31日	豊岡病院	中止
耐性菌と感染予防対策	令和3年1月30日	但馬長寿の郷	中止

2) 看護研究発表会

発表演題数	開催年月日	場 所		参加者数
9 題			中止して冊子を配布した	中止

5. 地域看護活動に関する事項

1) 看護の日 中止

2) 看護フェア

開催年月日	場 所	実施内容	参加者数
令和2年5月16日	アイティ豊岡		中止

6. まちの保健室事業に関する事項

	活動内容等	回数等	備考
活動拠点における	拠点数	15箇所	
	健康相談活動回数	0回	
	子育て支援活動回数	5回	
	活動ボランティア数	11名	
出前隊	出前隊件数	1件	
	活動ボランティア数	2名	

* その他の活動（まちの保健室における研修会、機関誌発行等の活動）

11月2日の委員会で、今年度のまちの保健室活動について検討した。3密を避けるためには資材など活動拠点地と検討していく必要があるため、今年度の活動は中止して今後の活動方法を検討していた。2月から委員会再開。

7. 地域の関連機関との連携及び会議等出席に関する事項

会議名	会議場所	会議開催年月日	出席者氏名
但馬圏域健康福祉推進協議会	公立豊岡病院	令和2年7月30日	出口里美
但馬長寿の郷づくり協議会	書面開催	令和2年7月15日	出口里美
但馬圏域健康福祉推進協議会	公立豊岡病院	令和3年1月21日	出口里美